

# 第6回

## 学生生活実態調査報告書



平成21年度

国立大学法人東京農工大学

# 目 次

## まえがき

序章	調査の概要	1
第Ⅰ章	基本的事項	3
第Ⅱ章	経済的状況	
	6. 平均収入	7
	7. 平均支出	8
	8. 授業料支払者	9
	9. アルバイトの有無	10
	10. アルバイトの目的・理由	12
	11. アルバイトの職種	13
	12. アルバイトの時間	14
	13. 学業継続困難の有無	15
	14. 経済的困難の解決策	16
第Ⅲ章	住居	
	15. 現在の住居形態	17
	16. 単身生活の学生の住居タイプ	17
	17. 同居相手	18
	18. 学生寮の満足度	18
	19. 学生寮への入居希望	19
	20. 国際交流会館への入居希望	19
	21. 国際交流会館の満足度	20
	22. アパート等への入居	20
	23. 連帯保証人の必要性	21
	24. 連帯保証人	21
第Ⅳ章	通学	
	25. 通学手段・方法	22
	26. 通学の所要時間	22
第Ⅴ章	学業	
	27. 本学満足度	23
	28. カリキュラム満足度	25
	29. 教養科目選択の動機	27
	30. 授業時間外の学習	28
	31. 授業時間外の学習に必要な施設等	30
	32. 授業の疑問等の対処法	32
	33. 成績評価への疑問の有無	33
	34. 講義室、実験室の満足度	34
	35. 実験、実習時の危険体験	35
	36. 図書館の利用頻度	36

37.	図書館の主な用途	37
38.	図書館の程度満足度	38
39.	在学中の海外活動経験	39
40.	海外活動希望の有無	40
41.	海外活動の目的・内容	41
42.	語学研修制度等への興味	42
<b>第VI章 課外活動</b>		
43.	サークル加入の有無	43
44.	加入しているサークル	46
45.	サークル平均活動時間／週	47
46.	課外活動施設の不満の有無	48
47.	課外活動の不満の内容	49
48.	課外活動施設等の満足度	51
49.	部室等の使用心得の満足度	52
50.	学生活動支援センターの認知度	53
51.	学生活動支援センター活用の有無	54
52.	施設等の課外活動支援希望	55
<b>第VII章 ボランティア活動</b>		
53.	入学後、ボランティア経験の有無	56
54.	ボランティア活動の内容	57
55.	ボランティア活動の頻度	59
56.	ボランティア活動への支援希望の有無	60
57.	ボランティア参加希望の有無	61
<b>第VIII章 学生生活</b>		
58.	学生生活上の悩み	62
59.	対人関係の悩みの相手	65
60.	教員をめぐる悩み	67
61.	大学生活で困ったことの有無	69
62 (1).	相談相手	71
62 (2).	困ったときの相談先 (学内)	73
63.	教員との対話	75
64.	学生相談室の認知度	77
65.	保健管理センターカウンセラーの認知度	79
66.	飲み会・コンパなどでの経験	81
67.	ハラスメント相談室	82
68.	セクシャル・ハラスメントを受けた経験	84
69.	セクシャル・ハラスメントを受けた相手	86
70.	セクハラ以外のハラスメントを受けた経験	88
71.	セクハラ以外のハラスメントを受けた相手	90
72.	喫煙の有無	92
73.	受動喫煙 (副流煙) について	94
74.	キャンパス内の分煙について	95

75.	キャンパス内のマナー満足度	95
76.	農学部福利厚生センター及び工学部総合会館の利用状況	96
77.	食堂・喫茶室の満足度	99
78.	売店の満足度	100
79.	キャンパスの施設・設備環境改善希望（講義室を除く）	101
80.	館山荘の認知度	103
81.	館山荘の満足度	104
82.	大学祭への参加	105
83.	使用しているメールアドレス	106
84.	生活情報の入手先（外国人留学生）	107
<b>第Ⅸ章</b>	<b>進路（就職・進学）</b>	
85.	将来の希望進路	108
86.	進路に関する情報入手手段	109
87.	将来の希望職種	110
88.	大学への就職支援希望	111
89.	希望する進路支援の内容	112
<b>第Ⅹ章</b>	<b>要望・意見等</b>	
90.	学生から多く寄せられた、大学に対する意見・要望等	113
<b>巻末資料</b>		
1.	委員会等の構成メンバー	115
2.	調査票	116

# ま え が き

本学では、平成6年度より3年に1回、「学生生活実態調査」を実施し、学生の学業、課外活動、生活全般にわたるデータを収集し、教育内容、教育環境の整備および大学運営に生かすための基礎資料としてきました。今回は平成18年度に受けた大学評価・学位授与機構による大学認証評価の根拠資料とするため1年前倒しで平成17年度に行いました。従って、今回は4年後にあたる平成21年度に実施したものです。このほど、本調査の集計結果がまとまり、分析結果と合わせて報告書としてまとめました。

今回の回収率は前回より10%前後低下したが、53.3%で5割を超え1~4回までと比較してかなり増加しました。この調査の趣旨を理解し、積極的に参加して頂いた学生の皆さんに感謝するとともに、アンケートの配布や回収の促進にご努力いただいた教職員各位に心より御礼申し上げます。

全体として、大学への満足度は約88%と非常に高く、また、カリキュラムや教育設備に対する満足度も約80%で高いようです。しかし、一方、図書館の開館時間の延長や授業時間外の学習スペースの要求など課外時間の施設・設備の充実の要求が多く寄せられています。

この調査結果で集約された貴重な意見、要望に対し、可能な限り大学運営に生かしていきたいと考えています。

最後になりましたが、アンケート項目の策定や集計結果の分析等に関わっていただいた学生生活実態調査ワーキンググループの委員および学生支援チームの事務職員の皆様に感謝申し上げます。

理事（教育担当副学長） 笹尾 彰

# 序章 調査の概要

## 1. 調査の目的

この調査は、東京農工大学の学生の生活実態を把握し、今後の学生のための厚生施策の充実、教育・研究環境の改善及びサービスの向上等に役立たせるための資料を得ることを目的として実施した。

## 2. 調査の実施及び組織

学生へのより良いサービス向上等に資するため平成21年7月28日開催の学生生活委員会において、第6回学生生活実態調査を実施することが承認され、ワーキンググループが設置された。ワーキンググループでは、過去の実態調査の反省点を精査しつつ、調査内容の企画立案、調査票の作成、調査結果の分析を実施し、ここに報告書を作成した。

## 3. 調査の対象

平成21年11月1日現在で本学に在籍している全学生（連合獣医学研究科で本学配置の学生を含む）を対象とした。

ただし、連合農学研究科の他大学配置学生、休学者、研究生、科目等履修生及び留学中の学生は除いた。

## 4. 調査の時期

平成21年11月2日（月）～11月20日（金）

## 5. 調査の方法

学科ごとに必修科目の授業や研究室で配布し、対象者自身が記入する（自記式）方式とした。

## 6. 調査の内容（ ）は担当教員名

I. 基本的事項（金子敬一） II. 経済的状況（金子敬一） III. 住居（仁藤修） IV. 通学（仁藤修） V. 学業、学習環境（調麻佐志） VI. 課外活動（高橋信弘） VII. ボランティア活動（高橋信弘） VIII. 学生生活（早川東作） IX. 進路（就職・進学）（高柳正夫） X. 要望・意見等（服部順昭、津川若子）

## 7. 当報告書中の図及び表の見方

- ① 資料中、農学系とは、農学部、農学府修士課程、連合農学研究科博士課程、連合獣医学研究科博士課程をまとめたものであり、工学系とは、工学部、工学府、生物システム応用科学府の博士前期課程および博士後期課程並びに技術経営研究科専門職学位課程をまとめたものである。
- ② 資料中、数値の小数点第二位は四捨五入した
- ③ 調査結果の各章の項目番号は質問事項の番号に準ずる。

# 第 I 章 基本的事項

## 1～3. 回収率等

対象学生 5,845 人に対して、3,138 人からの回答を得た。このうち所属および性別を回答したものは、3,113 人であった。回収率は、全体で 53.3%であり、残念ながら前回調査時の 63.7%より低下してしまった。しかしながら、第 1 回の 26.3%、第 2 回の 24.4%、第 3 回の 21.4%、第 4 回の 49.8%に比べれば、かなり高水準である。回収率が 5 割を超えていることから、調査結果は、東京農工大学の学生生活の実態を十分に反映しているものと思われる。

性別では、男子生徒が 53.0%(2,333 件)、女子生徒が 54.0%(780 件)であり、ほぼ同じ割合であった。学部生の回収率は、56.0%(2,247 件)であり、大学院生の 47.3%(866 件)に比べて高かった。学部別では、農学部が 46.0%(683 件)であったのに対して、工学部が 61.8%(1,564 件)であり、工学部の方が高かった。また、大学院では、BASE 博士後期課程が 16.4%(12 件)であり、他と比較して極端に低く、逆に、工学府博士前期課程は 61.1%(450 件)と最も高かった。以上の傾向は、前回調査と同様であった。

なお、以下本報告書において、有効回答数が少なく、統計的に有意とならない区分については、特に断らずに他の区分と統合したり、省略したりしている場合がある。

### 回収率(学科・専攻別)

部局、学科、専攻名		対象学生数(人)			回収数(人)			回収率(%)			
		全体	男子	女子	全体	男子	女子	全体	男子	女子	
学 部	農 学 部	生 物 生 産 学 科	264	156	108	158	82	76	59.8	52.6	70.4
		( 1 年 生 )	66	38	28	51	29	22	77.3	76.3	78.6
		( 2 年 生 )	58	32	26	43	19	24	74.1	59.4	92.3
		( 3 年 生 )	66	36	30	30	17	13	45.5	47.2	43.3
		( 4 年 生 )	74	50	24	33	17	16	44.6	34.0	66.7
		そ の 他				1		1			
		応 用 生 物 科 学 科	321	173	148	98	50	48	30.5	28.9	32.4
		( 1 年 生 )	84	43	41	7	2	5	8.3	4.7	12.2
		( 2 年 生 )	80	45	35	49	30	19	61.3	66.7	54.3
		( 3 年 生 )	84	43	41	11	3	8	13.1	7.0	19.5
		( 4 年 生 )	73	42	31	31	15	16	42.5	35.7	51.6
		そ の 他									
		環 境 資 源 科 学 科	298	193	105	47	27	20	15.8	14.0	19.0
		( 1 年 生 )	69	45	24	10	7	3	14.5	15.6	12.5
		( 2 年 生 )	73	48	25	9	4	5	12.3	8.3	20.0
		( 3 年 生 )	71	49	22	1	1	0	1.4	2.0	0.0
		( 4 年 生 )	85	51	34	27	15	12	31.8	29.4	35.3
		そ の 他									
		地 域 生 態 シ ス テ ム 学 科	359	192	167	196	96	100	54.6	50.0	59.9
		( 1 年 生 )	85	40	45	61	28	33	71.8	70.0	73.3
		( 2 年 生 )	93	50	43	63	30	33	67.7	60.0	76.7
		( 3 年 生 )	83	50	33	31	17	14	37.3	34.0	42.4
		( 4 年 生 )	98	52	46	41	21	20	41.8	40.4	43.5
		そ の 他									
		獣 医 学 科	244	156	88	184	115	69	75.4	73.7	78.4
		( 1 年 生 )	39	31	8	31	25	6	79.5	80.6	75.0
		( 2 年 生 )	39	27	12	28	19	9	71.8	70.4	75.0
		( 3 年 生 )	39	28	11	35	24	11	89.7	85.7	100.0
		( 4 年 生 )	41	19	22	33	17	16	80.5	89.5	72.7
		( 5 年 生 )	41	22	19	22	10	12	53.7	45.5	63.2
		( 6 年 生 )	45	29	16	32	20	12	71.1	69.0	75.0
		そ の 他				3		3			
農 学 部 計	1486	870	616	683	370	313	46.0	42.5	50.8		

工学部	生 命 工 学 科	354	235	119	212	123	89	59.9	52.3	74.8
	( 1 年 生 )	84	50	34	38	17	21	45.2	34.0	61.8
	( 2 年 生 )	80	48	32	47	18	29	58.8	37.5	90.6
	( 3 年 生 )	91	61	30	68	47	21	74.7	77.0	70.0
	( 4 年 生 )	99	76	23	51	36	15	51.5	47.4	65.2
	そ の 他				8	5	3			
	応 用 分 子 化 学 科	222	171	51	155	117	38	69.8	68.4	74.5
	( 1 年 生 )	50	38	12	48	36	12	96.0	94.7	100.0
	( 2 年 生 )	52	42	10	37	29	8	71.2	69.0	80.0
	( 3 年 生 )	58	47	11	13	10	3	22.4	21.3	27.3
	( 4 年 生 )	62	44	18	53	39	14	85.5	88.6	77.8
	そ の 他				4	3	1			
	有 機 材 料 化 学 科	191	146	45	160	121	39	83.8	82.9	86.7
	( 1 年 生 )	43	31	12	40	29	11	93.0	93.5	91.7
	( 2 年 生 )	46	31	15	42	27	15	91.3	87.1	100.0
	( 3 年 生 )	46	36	10	41	33	8	89.1	91.7	80.0
	( 4 年 生 )	56	48	8	36	31	5	64.3	64.6	62.5
	そ の 他				1	1				
	化 学 シ ス テ ム 工 学 科	171	114	57	136	82	54	79.5	71.9	94.7
	( 1 年 生 )	41	32	9	37	29	8	90.2	90.6	88.9
	( 2 年 生 )	40	19	21	37	16	21	92.5	84.2	100.0
	( 3 年 生 )	42	28	14	25	14	11	59.5	50.0	78.6
	( 4 年 生 )	48	35	13	35	23	12	72.9	65.7	92.3
	そ の 他				2		2			
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	544	513	31	360	335	25	66.2	65.3	80.6
	( 1 年 生 )	125	118	7	93	86	7	74.4	72.9	100.0
	( 2 年 生 )	120	114	6	81	75	6	67.5	65.8	100.0
	( 3 年 生 )	131	125	6	106	100	6	80.9	80.0	100.0
	( 4 年 生 )	168	156	12	77	71	6	45.8	45.5	50.0
	そ の 他				3	3				
	物 理 シ ス テ ム 工 学 科	263	242	21	167	157	10	63.5	64.9	47.6
	( 1 年 生 )	64	60	4	48	45	3	75.0	75.0	75.0
	( 2 年 生 )	63	59	4	33	33	0	52.4	55.9	0.0
	( 3 年 生 )	60	54	6	30	28	2	50.0	51.9	33.3
	( 4 年 生 )	76	69	7	52	47	5	68.4	68.1	71.4
	そ の 他				4	4				
	電 気 電 子 工 学 科	464	435	29	251	234	17	54.1	53.8	58.6
	( 1 年 生 )	93	84	9	35	32	3	37.6	38.1	33.3
	( 2 年 生 )	116	108	8	64	58	6	55.2	53.7	75.0
	( 3 年 生 )	131	128	3	65	64	1	49.6	50.0	33.3
	( 4 年 生 )	124	115	9	80	73	7	64.5	63.5	77.8
	そ の 他				7	7				
情 報 工 学 科	297	256	41	108	94	14	36.4	36.7	34.1	
( 1 年 生 )	70	59	11	11	9	2	15.7	15.3	18.2	
( 2 年 生 )	67	58	9	15	11	4	22.4	19.0	44.4	
( 3 年 生 )	81	69	12	33	28	5	40.7	40.6	41.7	
( 4 年 生 )	79	70	9	47	44	3	59.5	62.9	33.3	
そ の 他				2	2					
情 報 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 工 学 科	24	21	3	11	9	2	45.8	42.9	66.7	
( 4 年 生 )	24	21	3	11	9	2	45.8	42.9	66.7	
工 学 部 計	2530	2133	397	1560	1272	288	61.7	59.6	72.5	
学 部 合 計	4016	3003	1013	2243	1642	601	55.9	54.7	59.3	



大 学 院	農 学 府	修	生 物 生 産 科 学 専 攻	56	40	16	19	15	4	33.9	37.5	25.0
			( 1 年 生 )	25	17	8	10	8	2	40.0	47.1	25.0
			( 2 年 生 )	31	23	8	8	6	2	25.8	26.1	25.0
		そ の 他				1	1					
		共 生 持 続 社 会 学 専 攻	39	18	21	14	10	4	35.9	55.6	19.0	
		( 1 年 生 )	18	10	8	5	4	1	27.8	40.0	12.5	
		( 2 年 生 )	21	8	13	8	6	2	38.1	75.0	15.4	
		そ の 他				1	1					
		応 用 生 命 化 学 専 攻	70	44	26	28	17	11	40.0	38.6	42.3	
		( 1 年 生 )	36	25	11	15	11	4	41.7	44.0	36.4	
		( 2 年 生 )	34	19	15	12	6	6	35.3	31.6	40.0	
		そ の 他				1	1					
		生 物 制 御 科 学 専 攻	51	34	17	15	10	5	29.4	29.4	29.4	
		( 1 年 生 )	24	15	9	6	3	3	25.0	20.0	33.3	
		( 2 年 生 )	27	19	8	9	7	2	33.3	36.8	25.0	
		そ の 他										
		環 境 資 源 物 質 科 学 専 攻	23	16	7	11	7	4	47.8	43.8	57.1	
		( 1 年 生 )	12	6	6	5	1	4	41.7	16.7	66.7	
		( 2 年 生 )	11	10	1	5	5	0	45.5	50.0	0.0	
		そ の 他				1	1					
		物 質 循 環 環 境 科 学 専 攻	43	21	22	16	9	7	37.2	42.9	31.8	
	( 1 年 生 )	21	8	13	9	4	5	42.9	50.0	38.5		
	( 2 年 生 )	22	13	9	7	5	2	31.8	38.5	22.2		
	そ の 他											
	自 然 環 境 保 全 学 専 攻	49	26	23	17	9	8	34.7	34.6	34.8		
	( 1 年 生 )	26	12	14	7	1	6	26.9	8.3	42.9		
	( 2 年 生 )	23	14	9	8	6	2	34.8	42.9	22.2		
	そ の 他				2	2						
	農 業 環 境 工 学 専 攻	22	12	10	10	5	5	45.5	41.7	50.0		
	( 1 年 生 )	10	6	4	4	2	2	40.0	33.3	50.0		
	( 2 年 生 )	12	6	6	5	2	3	41.7	33.3	50.0		
	そ の 他				1	1						
	国 際 環 境 農 学 専 攻	66	42	24	21	15	6	31.8	35.7	25.0		
	( 1 年 生 )	32	21	11	7	5	2	21.9	23.8	18.2		
	( 2 年 生 )	34	21	13	13	9	4	38.2	42.9	30.8		
	そ の 他				1	1						
	農 学 府 計	419	253	166	151	97	54	36.0	38.3	32.5		
	工 学 府	前 期 課 程	生 命 工 学 専 攻	130	80	50	67	41	26	51.5	51.3	52.0
			( 1 年 生 )	67	40	27	33	21	12	49.3	52.5	44.4
			( 2 年 生 )	63	40	23	33	19	14	52.4	47.5	60.9
			そ の 他				1	1				
			応 用 化 学 専 攻	152	115	37	118	91	27	77.6	79.1	73.0
( 1 年 生 )			80	56	24	65	47	18	81.3	83.9	75.0	
( 2 年 生 )			72	59	13	52	43	9	72.2	72.9	69.2	
そ の 他						1	1					
機 械 シ ス テ ム 工 学 専 攻			124	117	7	73	66	7	58.9	56.4	100.0	
( 1 年 生 )			60	57	3	33	30	3	55.0	52.6	100.0	
( 2 年 生 )			64	60	4	37	34	3	57.8	56.7	75.0	
そ の 他						3	2	1				
物 理 シ ス テ ム 工 学 専 攻			53	45	8	43	36	7	81.1	80.0	87.5	
( 1 年 生 )			29	26	3	24	21	3	82.8	80.8	100.0	
( 2 年 生 )			24	19	5	17	14	3	70.8	73.7	60.0	
そ の 他					2	1	1					
電 気 電 子 工 学 専 攻		165	153	12	79	74	5	47.9	48.4	41.7		
( 1 年 生 )		75	71	4	37	36	1	49.3	50.7	25.0		
( 2 年 生 )		90	82	8	39	35	4	43.3	42.7	50.0		
そ の 他					3	3						
情 報 工 学 専 攻		113	105	8	68	66	2	60.2	62.9	25.0		
( 1 年 生 )	50	45	5	27	26	1	54.0	57.8	20.0			
( 2 年 生 )	63	60	3	39	38	1	61.9	63.3	33.3			
そ の 他				2	2							
前 期 課 程 計	737	615	122	448	374	74	60.8	60.8	60.7			
後 期 課 程	生 命 工 学 専 攻	59	35	24	13	10	3	22.0	28.6	12.5		
	( 1 年 生 )	16	7	9	2	1	1	12.5	14.3	11.1		
	( 2 年 生 )	19	14	5	3	2	1	15.8	14.3	20.0		
	( 3 年 生 )	24	14	10	6	5	1	25.0	35.7	10.0		
	そ の 他				2	2						
	応 用 化 学 専 攻	58	51	7	32	26	6	55.2	51.0	85.7		
	( 1 年 生 )	18	17	1	8	7	1	44.4	41.2	100.0		
	( 2 年 生 )	13	12	1	6	5	1	46.2	41.7	100.0		
	( 3 年 生 )	27	22	5	8	7	1	29.6	31.8	20.0		
	そ の 他				10	7	3					
	機 械 シ ス テ ム 工 学 専 攻	35	33	2	11	9	2	31.4	27.3	100.0		
	( 1 年 生 )	9	7	2	2	0	2	22.2	0.0	100.0		
	( 2 年 生 )	12	12	0	2	2	0	16.7	16.7	0.0		
	( 3 年 生 )	14	14	0	2	2	0	14.3	14.3	0.0		
	そ の 他				5	5						
電 子 情 報 工 学 専 攻	55	46	9	14	14	0	25.5	30.4	0.0			
( 1 年 生 )	13	11	2	4	4	0	30.8	36.4	0.0			
( 2 年 生 )	20	16	4	3	3	0	15.0	18.8	0.0			
( 3 年 生 )	22	19	3	6	6	0	27.3	31.6	0.0			
そ の 他				1	1							
後 期 課 程 計	207	165	42	70	59	11	33.8	35.8	26.2			
工 学 府 計	944	780	164	518	433	85	54.9	55.5	51.8			

一連 本 合 学 農 配 学 置 研 学 究 生 一 科	生 物 生 産 科 学 専 攻	36	26	10	10	8	2	27.8	30.8	20.0
	( 1 年 生 )	14	9	5	3	2	1	21.4	22.2	20.0
	( 2 年 生 )	15	11	4	5	4	1	33.3	36.4	25.0
	( 3 年 生 )	7	6	1	1	1		14.3	16.7	0.0
	そ の 他				1	1				
	応 用 生 命 科 学 専 攻	16	12	4	3	2	1	18.8	16.7	25.0
	( 1 年 生 )	6	5	1	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	( 2 年 生 )	6	3	3	1	1	0	16.7	33.3	0.0
	( 3 年 生 )	4	4	0	1	1	0	25.0	25.0	0.0
	そ の 他				1		1			
	環 境 資 源 共 生 科 学 専 攻	31	19	12	11	5	6	35.5	26.3	50.0
	( 1 年 生 )	13	7	6	4	3	1	30.8	42.9	16.7
	( 2 年 生 )	11	6	5	4	2	2	36.4	33.3	40.0
	( 3 年 生 )	7	6	1	1		1	14.3	0.0	100.0
	そ の 他				2		2			
	農 業 環 境 工 学 専 攻	9	8	1	6	6	0	66.7	75.0	0.0
	( 1 年 生 )	2	2	0	1	1	0	50.0	50.0	0.0
	( 2 年 生 )	4	4	0	1	1	0	25.0	25.0	0.0
	( 3 年 生 )	3	2	1	2	2	0	66.7	100.0	0.0
	そ の 他				2	2				
	農 林 共 生 社 会 科 学 専 攻	24	16	8	9	7	2	37.5	43.8	25.0
( 1 年 生 )	7	4	3	2	2		28.6	50.0	0.0	
( 2 年 生 )	6	6	0	1	1		16.7	16.7	0.0	
( 3 年 生 )	11	6	5	5	3	2	45.5	50.0	40.0	
そ の 他				1	1					
生 物 生 産 学 専 攻	16	12	4	1	1	0	6.3	8.3	0.0	
( 1 年 生 )										
( 2 年 生 )										
( 3 年 生 )	16	12	4	1	1	0	6.3	8.3	0.0	
そ の 他										
生 物 工 学 専 攻	2	1	1	0	0	0	0.0	0.0	0.0	
( 1 年 生 )										
( 2 年 生 )										
( 3 年 生 )	2	1	1	0	0	0	0.0	0.0	0.0	
そ の 他										
資 源 ・ 環 境 学 専 攻	5	4	1	2	1	1	40.0	25.0	100.0	
( 1 年 生 )										
( 2 年 生 )										
( 3 年 生 )	5	4	1	2	1	1	40.0	25.0	100.0	
そ の 他										
一 科	連 合 農 学 研 究 科 計	139	98	41	42	30	12	30.2	30.6	29.3
技 術 経 営 研 究 科	技 術 リ ス ク マ ネ ジ メ ン ト 専 攻	83	78	5	43	42	1	51.8	53.8	20.0
	( 1 年 生 )	41	37	4	22	21	1	53.7	56.8	25.0
	( 2 年 生 )	42	41	1	19	19	0	45.2	46.3	0.0
	そ の 他				2	2				
	技 術 経 営 研 究 科 計	83	78	5	43	42	1	51.8	53.8	20.0
連 合 獣 医 学 研 究 科 ( 本 学 配 置 学 生 )	獣 医 学 専 攻	33	18	15	19	9	10	57.6	50.0	66.7
	( 1 年 生 )	11	6	5	3	0	3	27.3	0.0	60.0
	( 2 年 生 )	9	4	5	6	2	4	66.7	50.0	80.0
	( 3 年 生 )	7	5	2	7	5	2	100.0	100.0	100.0
	( 4 年 生 )	6	3	3	0	0	0	0.0	0.0	0.0
そ の 他				3	2	1				
大 学 院 合 計		1829	1398	431	864	687	177	47.2	49.1	41.1
総 計		5845	4401	1444	3107	2329	778	53.2	52.9	53.9

#### 4. 既婚の有無

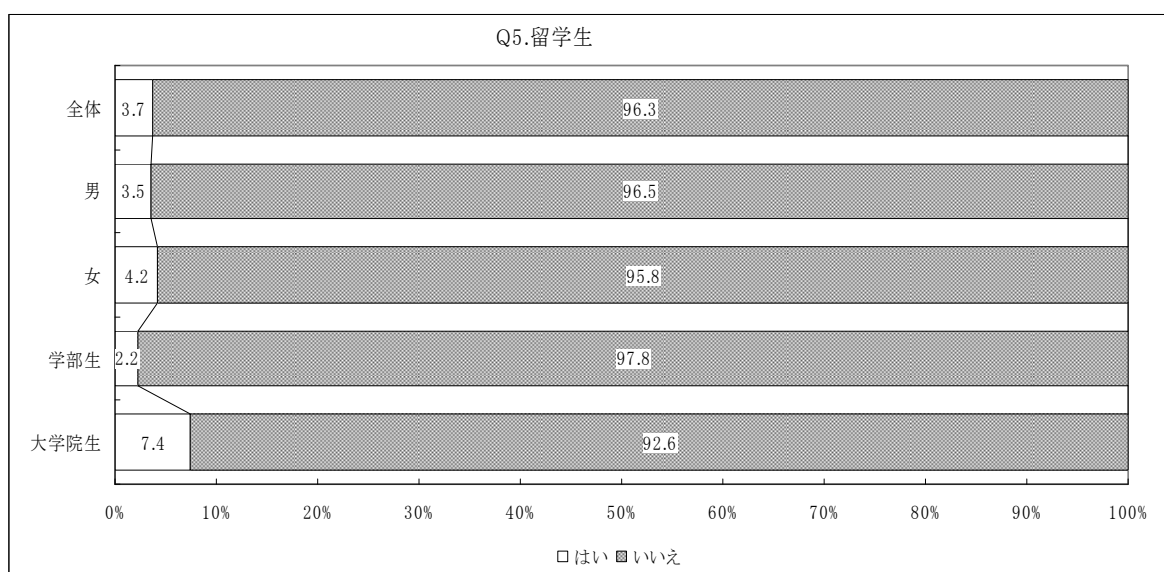
有効回答数 3,118 のうち既婚者は 84 人(2.7%)、未婚者は 3,113 人(97.3%)であった。前回調査時の既婚率 3.6%、未婚率 94.7%と比べて、既婚率がやや下がった。男子の既婚率 2.8%、女子の既婚率 2.4%と、大きな違いはなかった。また、学部生の既婚率は 0.8%と低い一方、大学院生の既婚率は 7.6%であり、およそ 13 人に 1 人は既婚者である。

Q4.既婚の有無

	合計	既婚	未婚
全体	3118	84	3034
(%)	100.0	2.7	97.3
男	2332	65	2267
(%)	100.0	2.8	97.2
女	782	19	763
(%)	100.0	2.4	97.6
学部生	2250	17	2233
(%)	100.0	0.8	99.2
大学院生	866	66	800
(%)	100.0	7.6	92.4

#### 5. 留学生の数

有効回答数 3,117 に対して、留学生と答えたものが 115 件(3.7%)であった。



## 第Ⅱ章 経済的状况

### 6. 平均収入

有効回答数 2,893 による全体の平均収入は、99.8 千円であり、前回調査の 153.8 千円と比べて、54.0 千円も減少した。学部、修士、博士のすべての区分で減少している中、特に学部学生の平均収入は、82.8 千円と前回調査の 134.0 千円より 51.2 千円減少した。このため、学部と修士の間の差が開いた。博士課程の学生に対する家庭からの額は、前回調査時の 19.7 千円より大きく増加し、学部、修士、博士の間に差はなくなっている。その他としては、預貯金の切り崩しという内容が多かった。男女別では、女子が 4.3 千円多いだけであり、前回調査時の差 22.9 千円と比べて、大幅に差が縮小した。博士課程の学生は、アルバイトによる収入が少ない。また、学業継続困難と感じた者（設問 1 3 参照）の平均収入は、全体平均よりも高い。しかしながら、彼らが奨学金に頼る割合は高い。学部学生とともに何らかの対応が必要である。

Q6. 平均収入

区分 / (千円)	平均収入	家庭	奨学金	TA・RA	アルバイト	その他
全体	99.8	42.4	32.3	3.1	26.7	8.1
学部	82.8	40.2	23.5	0.6	28.8	2.3
修士	138.2	48.8	46.9	6.4	21.4	15.1
博士	175.8	44.7	87.2	23.1	12.2	66.3
男	98.9	43.4	32.8	3.2	26.6	9.5
女	103.2	38.9	30.8	2.6	26.8	4.0
学業継続困難と感じた者	122.5	31.2	54.4	5.4	30.5	10.3

区分 / (%)	家庭	奨学金	TA・RA	アルバイト	その他
全体	37.7	28.7	2.7	23.7	7.2
学部	42.1	24.7	0.6	30.2	2.4
修士	35.2	33.8	4.6	15.5	10.9
博士	19.2	37.3	9.9	5.2	28.4
男	37.6	28.4	2.8	23.0	8.2
女	37.7	29.9	2.5	26.0	3.8
学業継続困難と感じた者	23.7	41.3	4.1	23.2	7.8

## 7. 平均支出

有効回答数 2,626 による全体の平均支出については、前回調査時の 94.8 千円より、かなり減少している。特に学部学生が 69.5 千円と前回調査の 80.8 千円よりも 11.3 千円も減少しているのに対して、博士学生は、前回調査の 107.1 千円よりも大幅に増加している。学業継続困難と感じた者（設問 13 参照）については、他の学生と大きな違いはなかった。支出の内訳でその他の回答では、交際費、趣味というものが多かった。

Q7. 平均支出

区分 / (千円)	平均支出	住居費	食費	光熱水費	研究・勉学・書籍費	通学費	その他
全体	78.3	33.5	24.3	8.4	6.7	4.9	15.0
学部	69.5	29.9	21.5	7.3	5.6	4.5	13.9
修士	91.8	39.2	28.6	9.3	7.0	5.5	15.8
博士	155.7	53.1	44.0	17.7	21.1	6.2	29.3
男	82.0	34.7	25.9	8.6	7.0	5.0	14.4
女	66.8	28.8	19.1	7.6	6.1	4.4	16.8
学業継続困難と感じた者	92.0	36.3	26.8	10.8	9.4	5.3	18.4

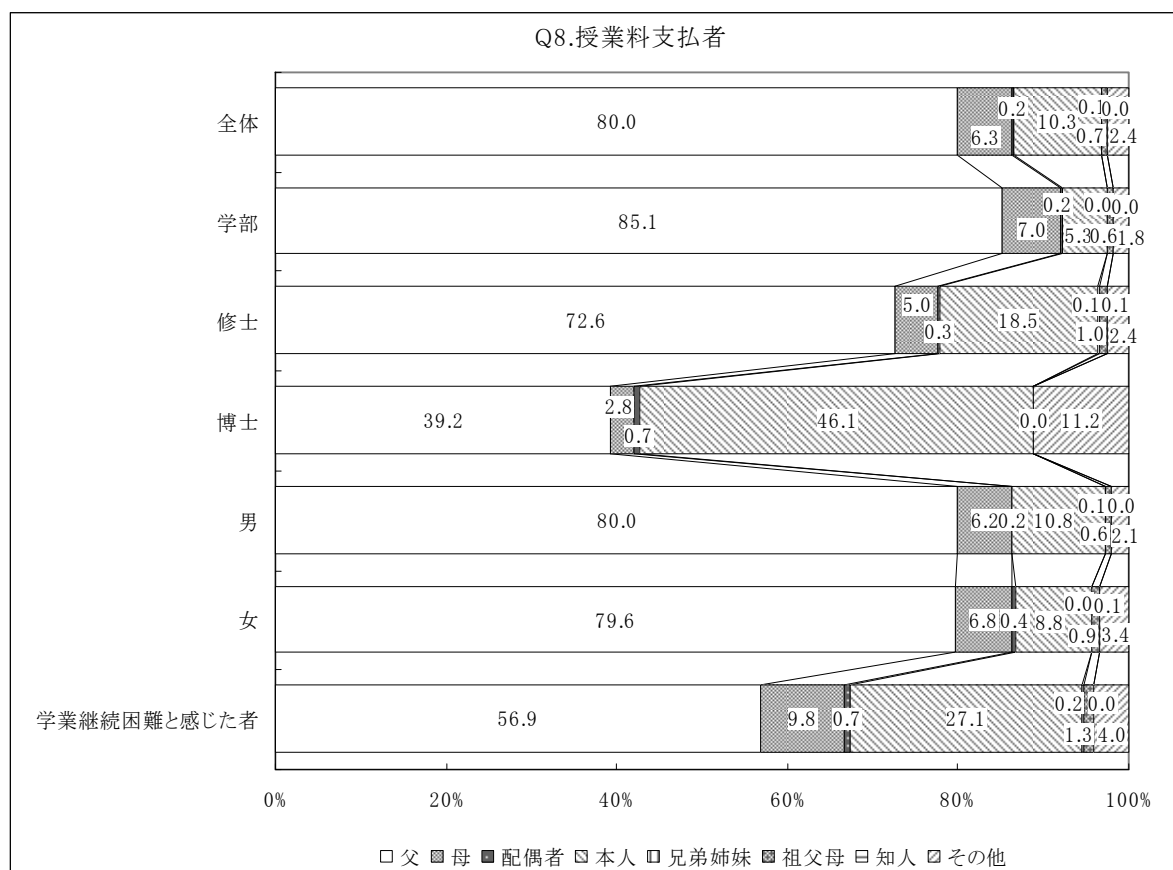
区分 / (%)	住居費	食費	光熱水費	研究・勉学・書籍費	通学費	その他
全体	36.1	26.2	9.0	7.3	5.2	16.2
学部	36.1	26.0	8.9	6.7	5.5	16.8
修士	37.2	27.2	8.8	6.6	5.2	15.0
博士	31.0	25.7	10.3	12.3	3.6	17.1
男	36.3	27.1	9.0	7.3	5.3	15.1
女	34.8	23.1	9.1	7.4	5.3	20.3
学業継続困難と感じた者	33.9	25.0	10.1	8.8	4.9	17.2

## 8. 授業料支払者

有効回答数は、3,109であった。学部、修士では、父母のいずれかが支払者となる場合がほとんどである。博士では、39.2%が父母、46.1%が本人であった。これらの数値には、前回調査と比較して大きな変化はなかった。また、男女別のクロス集計では、大きな差はなかった。学業継続困難と感じた者（設問13参照）については、父母いずれかが支払者となる場合が66.7%と低く、本人が授業料を支払っている場合も27.1%あった。

Q8.授業料支払者

区分 / (%)	父	母	配偶者	本人	兄弟姉妹	祖父母	知人	その他
全体	80.0	6.3	0.2	10.3	0.1	0.7	0.0	2.4
学部	85.1	7.0	0.2	5.3	0.0	0.6	0.0	1.8
修士	72.6	5.0	0.3	18.5	0.1	1.0	0.1	2.4
博士	39.2	2.8	0.7	46.1	0.0	0.0	0.0	11.2
男	80.0	6.2	0.2	10.8	0.1	0.6	0.0	2.1
女	79.6	6.8	0.4	8.8	0.0	0.9	0.1	3.4
学業継続困難と感じた者	56.9	9.8	0.7	27.1	0.2	1.3	0.0	4.0



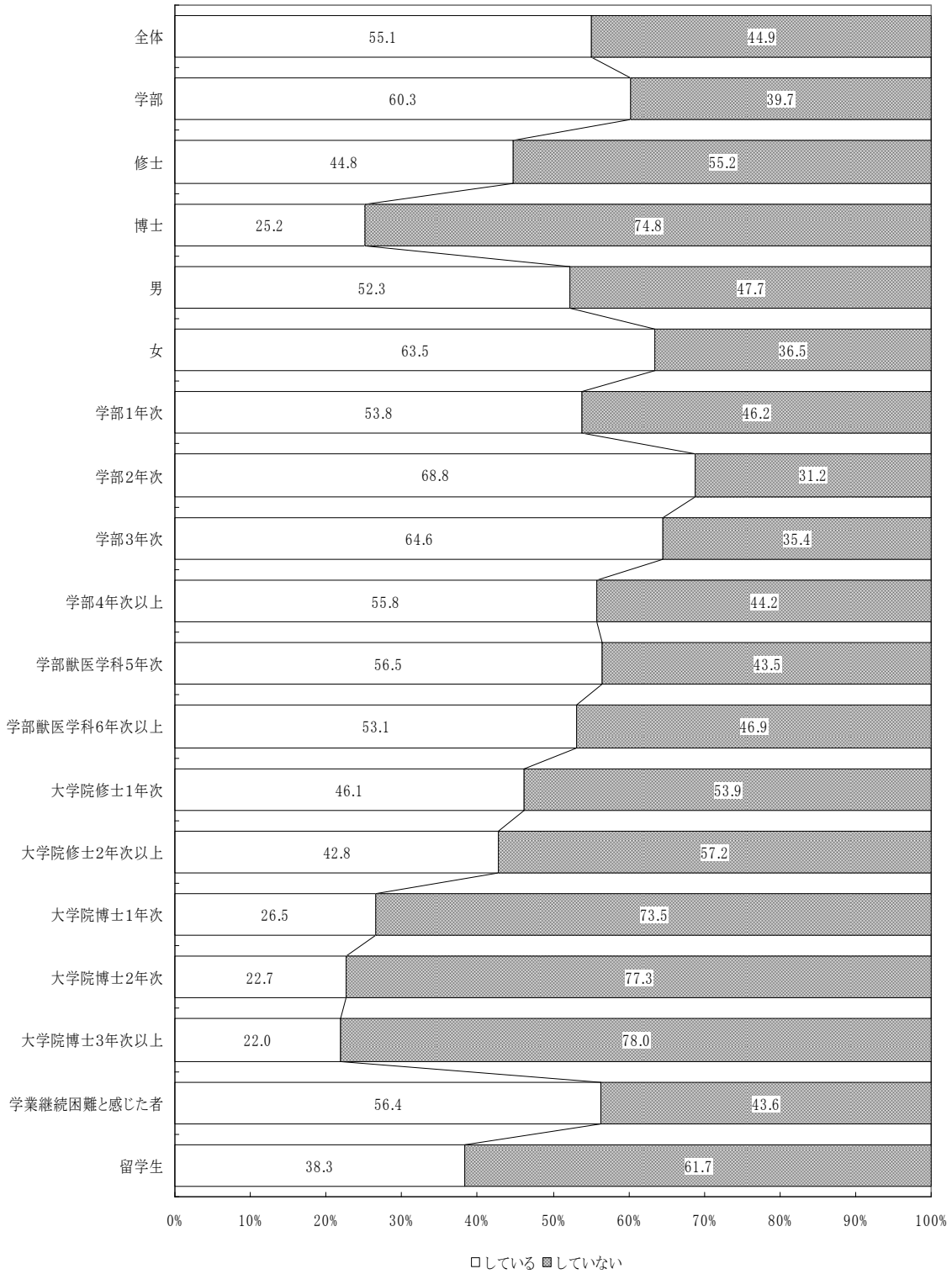
## 9. アルバイトの有無

有効回答数は、3,119であった。全体、学部、修士、博士における結果は、前回調査から大きな変化はなかった。男女別については、男子が11.0ポイント減少し、女子が23.9ポイント増加した結果、比率が逆転した。クロス集計の結果では、おおよそ学部2年をピークとして、学年が進行するにしたがって、アルバイトを行う学生が減少している。学業継続困難と感じた者（設問13参照）の56.4%がアルバイトを行っている。また、留学生の38.3%がアルバイトを行っている一方、アルバイトをしていない留学生が6割以上いることに注目したい。

Q9.アルバイトの有無

区分 / (%)	している	していない
全体	55.1	44.9
学部	60.3	39.7
修士	44.8	55.2
博士	25.2	74.8
男	52.3	47.7
女	63.5	36.5
学部1年次	53.8	46.2
学部2年次	68.8	31.2
学部3年次	64.6	35.4
学部4年次以上	55.8	44.2
学部獣医学科5年次	56.5	43.5
学部獣医学科6年次以上	53.1	46.9
大学院修士1年次	46.1	53.9
大学院修士2年次以上	42.8	57.2
大学院博士1年次	26.5	73.5
大学院博士2年次	22.7	77.3
大学院博士3年次以上	22.0	78.0
学業継続困難と感じた者	56.4	43.6
留学生	38.3	61.7

Q9.アルバイトの有無



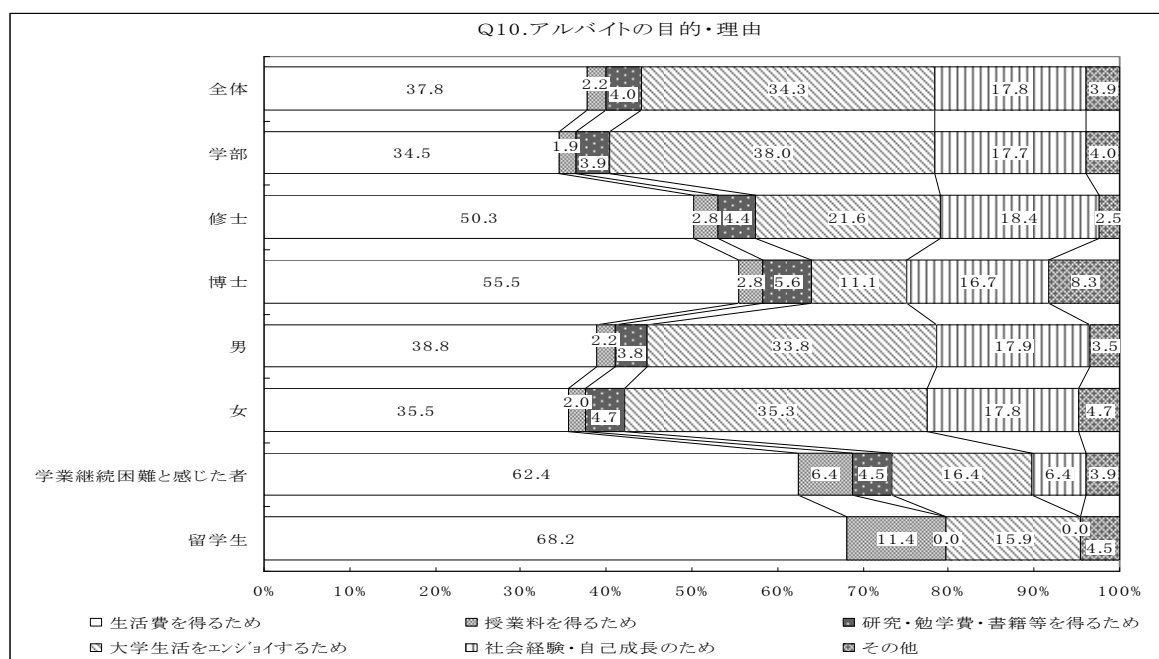


## 10. アルバイトの目的・理由

有効回答1,711件によると、全体、学部、修士、博士、男女ともほとんどの数値に対して、前回調査から大きな変化はなかった。ただし、ドクター支援リサーチ・アシスタント（DSRA）や研究奨励金「JIRITSU（自立）」などの制度による博士学生支援策の影響もあってか、博士学生のうち、授業料を得るためとした学生の割合が、前回調査の12.8%から2.8%に減少した。また、学業継続困難と感じた者（設問13参照）と留学生については、おおよそ3人に2人が生活費を得るためと回答し、大学生活をエンジョイするためと答えている割合が少ないことも目立っている。特に留学生は、研究・勉学費・書籍を得るため、および社会経験・自己成長のためとする回答はなかった。設問9で6割以上の留学生がアルバイトせずに生活できている一方、アルバイトをしている留学生の生活状況の厳しさを表している。

Q10.アルバイトの目的・理由

区分 / (%)	生活費を得るため	授業料を得るため	研究・勉学費・書籍等を得るため	大学生活をエンジョイするため	社会経験・自己成長のため	その他
全体	37.8	2.2	4.0	34.3	17.8	3.9
学部	34.5	1.9	3.9	38.0	17.7	4.0
修士	50.3	2.8	4.4	21.6	18.4	2.5
博士	55.5	2.8	5.6	11.1	16.7	8.3
男	38.8	2.2	3.8	33.8	17.9	3.5
女	35.5	2.0	4.7	35.3	17.8	4.7
学業継続困難と感じた者	62.4	6.4	4.5	16.4	6.4	3.9
留学生	68.2	11.4	0.0	15.9	0.0	4.5

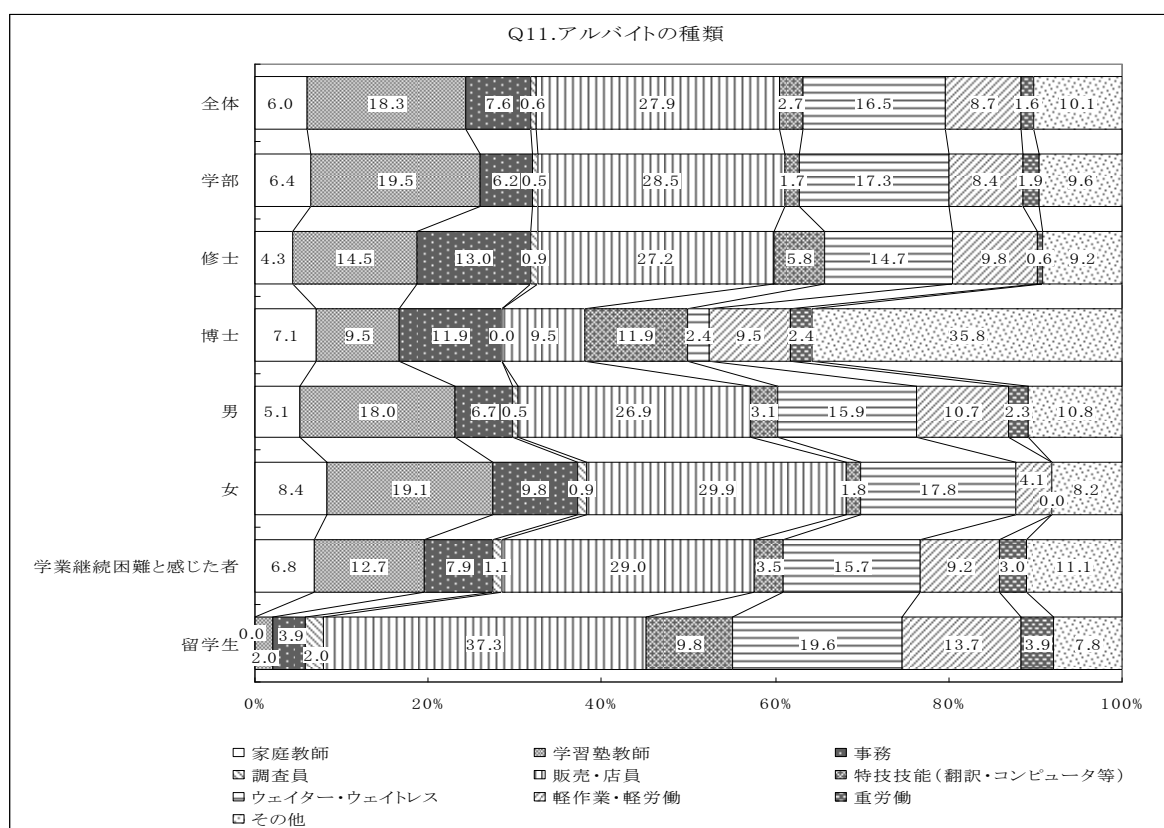


## 11. アルバイトの職種

のべ1,892件の有効回答があった。全体、学部、修士、博士、男女とも前回調査結果と比べて大きな変化はなかった。その他の回答では、調理というものが多かった。学業継続困難と感じた者（設問13参照）については、全体の傾向との差はなかった。しかし、留学生は、言葉の関係で、家庭教師、学習塾教師としてアルバイトをすることは困難なようである。

Q11.アルバイトの種類

区分 / (%)	家庭教師	学習塾教師	事務	調査員	販売・店員	特技技能 (翻訳・コンピュータ等)	ウェイトレス ・ウェイトレス	軽作業・軽労働	重労働	その他
全体	6.0	18.3	7.6	0.6	27.9	2.7	16.5	8.7	1.6	10.1
学部	6.4	19.5	6.2	0.5	28.5	1.7	17.3	8.4	1.9	9.6
修士	4.3	14.5	13.0	0.9	27.2	5.8	14.7	9.8	0.6	9.2
博士	7.1	9.5	11.9	0.0	9.5	11.9	2.4	9.5	2.4	35.8
男	5.1	18.0	6.7	0.5	26.9	3.1	15.9	10.7	2.3	10.8
女	8.4	19.1	9.8	0.9	29.9	1.8	17.8	4.1	0.0	8.2
学業継続困難と感じた者	6.8	12.7	7.9	1.1	29.0	3.5	15.7	9.2	3.0	11.1
留学生	0.0	2.0	3.9	2.0	37.3	9.8	19.6	13.7	3.9	7.8

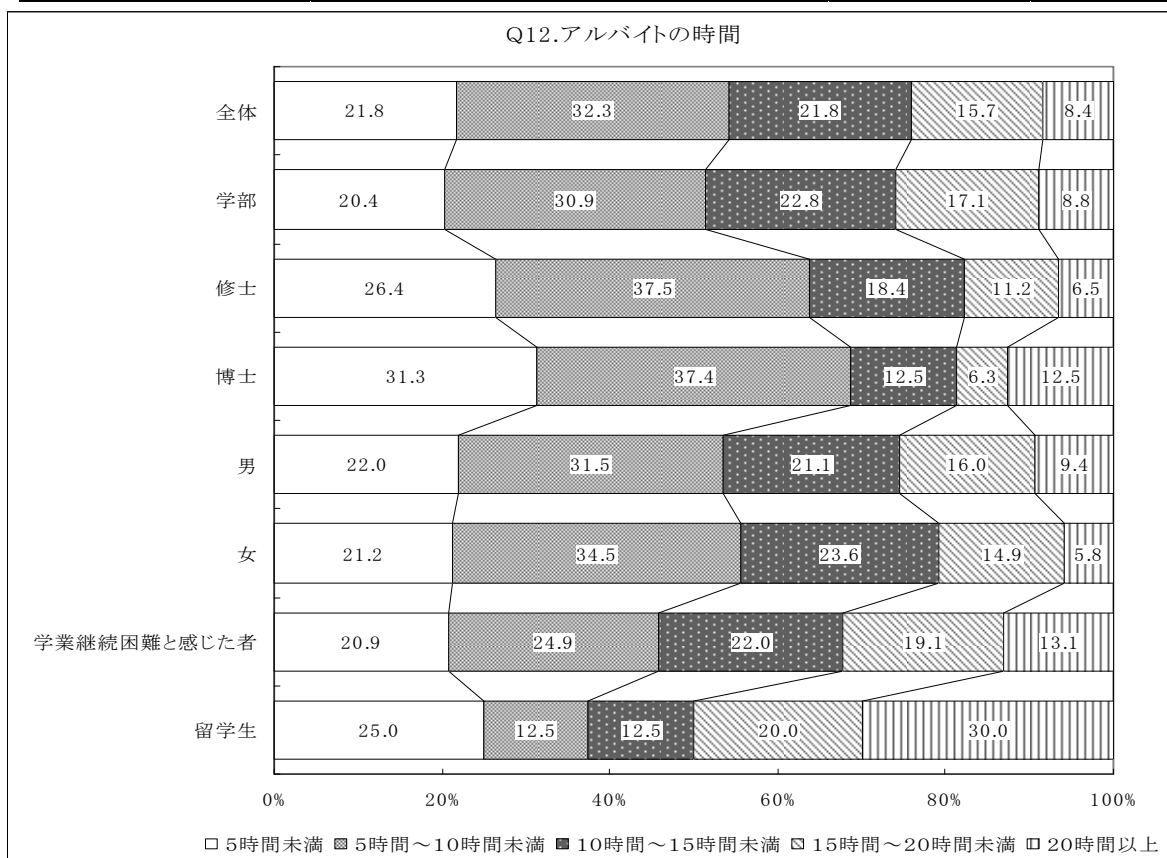


## 12. アルバイトの時間

1,517件の有効回答があった。全体、学部、修士、博士、男女とも前回調査から大きな変化はなかった。学業継続困難と感じた者（設問13参照）については、全体の傾向との差はなかった。しかし、アルバイトをしている留学生のうち、週15時間以上20時間未満働いている者が2割、20時間以上働いている者が3割おり、厳しい状況を示している。

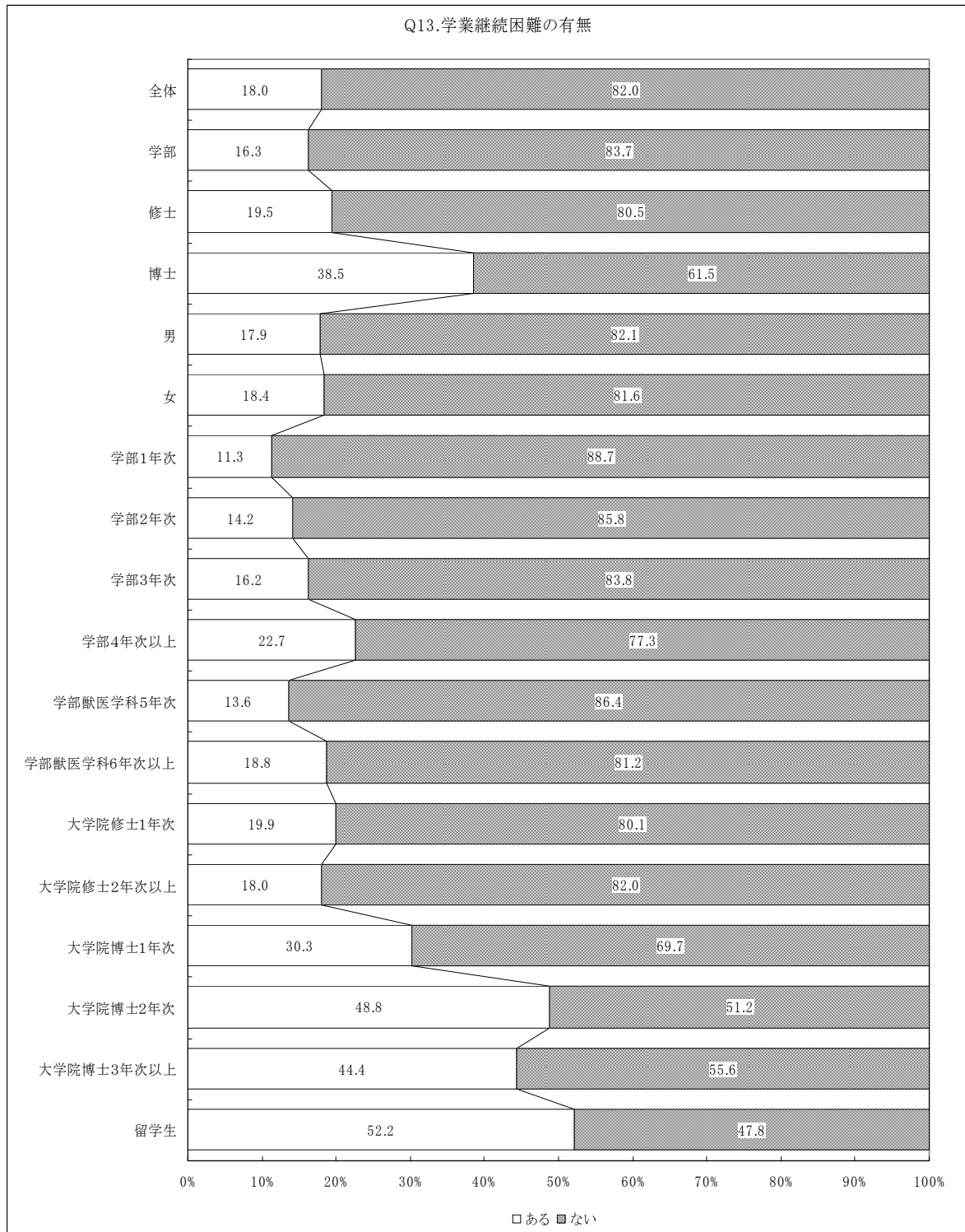
Q12.アルバイトの時間

区分 / (%)	5時間未満	5時間～10時間未満	10時間～15時間未満	15時間～20時間未満	20時間以上
全体	21.8	32.3	21.8	15.7	8.4
学部	20.4	30.9	22.8	17.1	8.8
修士	26.4	37.5	18.4	11.2	6.5
博士	31.3	37.4	12.5	6.3	12.5
男	22.0	31.5	21.1	16.0	9.4
女	21.2	34.5	23.6	14.9	5.8
学業継続困難と感じた者	20.9	24.9	22.0	19.1	13.1
留学生	25.0	12.5	12.5	20.0	30.0



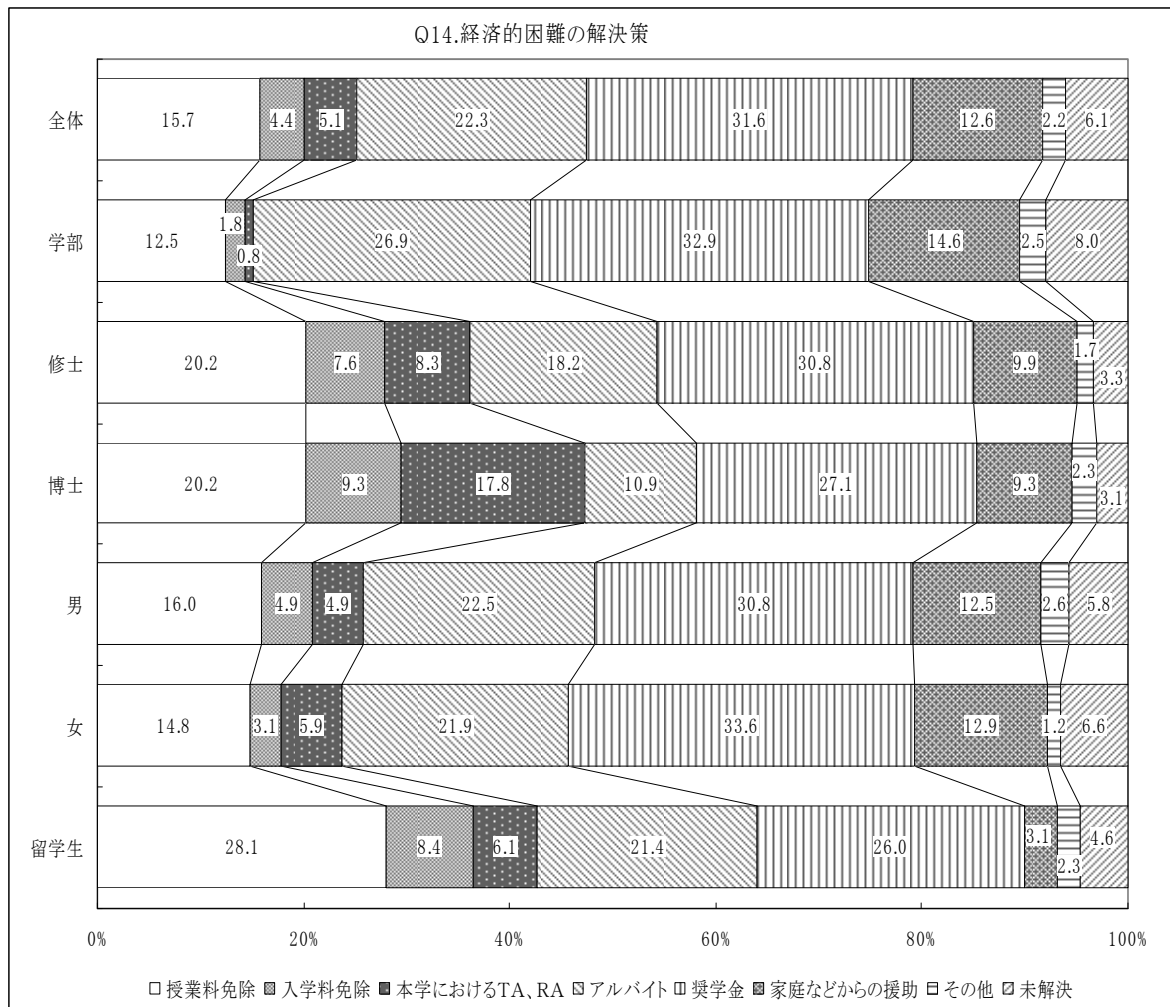
### 13. 学業継続困難の有無

今回の調査から新たに追加した項目である。3,080件の有効回答のうち、全体として2割弱の学生が学業継続に困難を感じたことがあり、特に博士学生および留学生にその割合が多く、何らかの支援が必要である。



## 14. 経済的困難の解決策

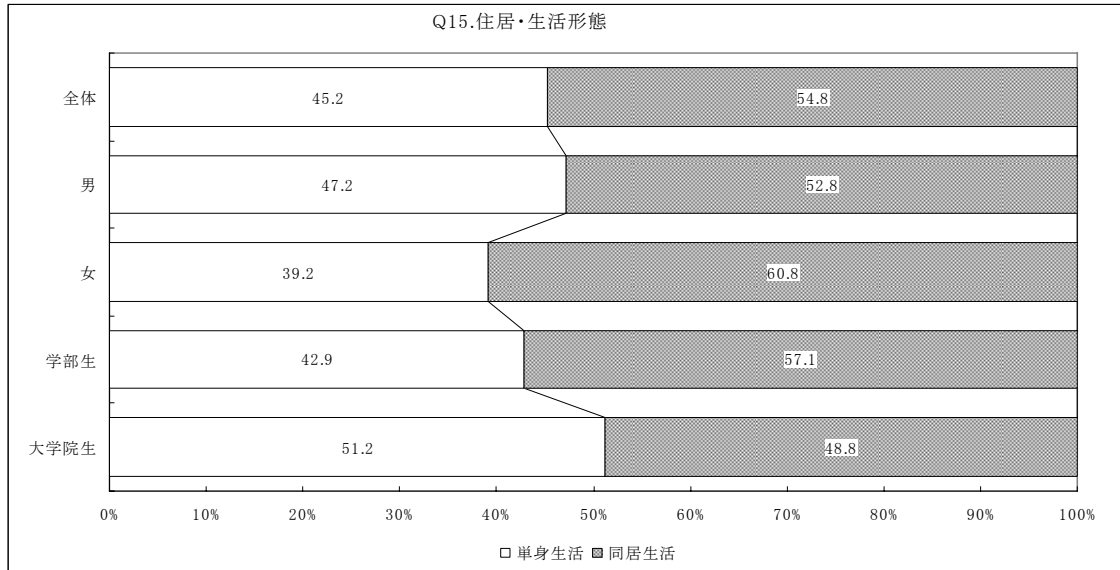
前項目と同様、これも今回の調査から新たに追加した項目である。のべ1,034件の有効回答のうち、奨学金が最も多く31.6%(326件)で、次いでアルバイトが22.3%(231件)となった。未解決の者が6.1%(63件)おり、何らかの対策が必要である。



# 第Ⅲ章 住居

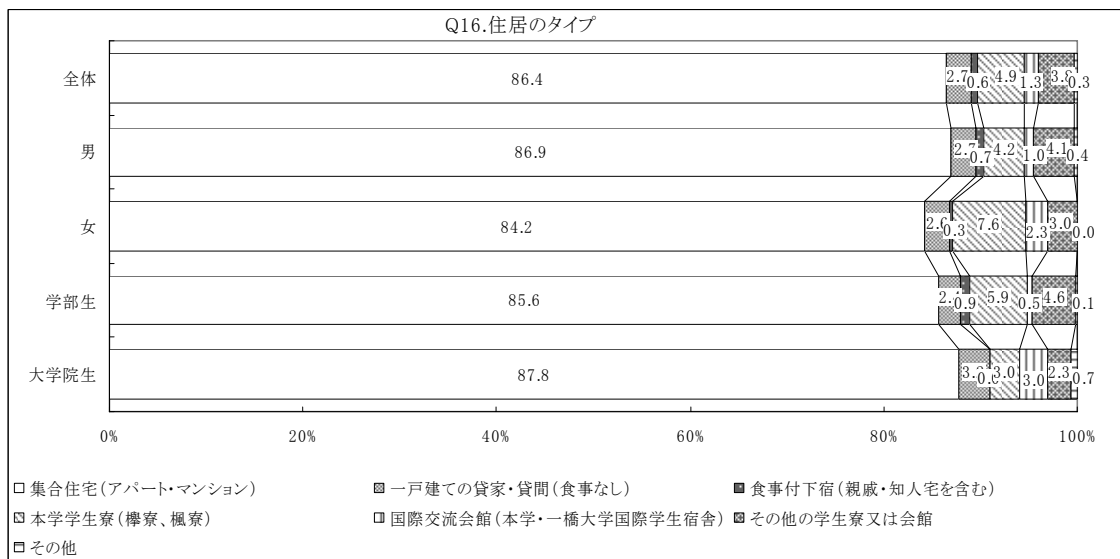
## 15. 現在の住居形態

回答者全体 3,119 人のうち 1,409 人(45.2%)が単身で生活している。前回に比べて男子学生の単身生活者は 48.6%から 47.2%、女子学生は 37.9%から 39.2%とその差が縮まる傾向にある。学年が上がるるとともに単身生活者が増え、学部生は 42.9%だが、大学院生は 51.2%と半数を超える。



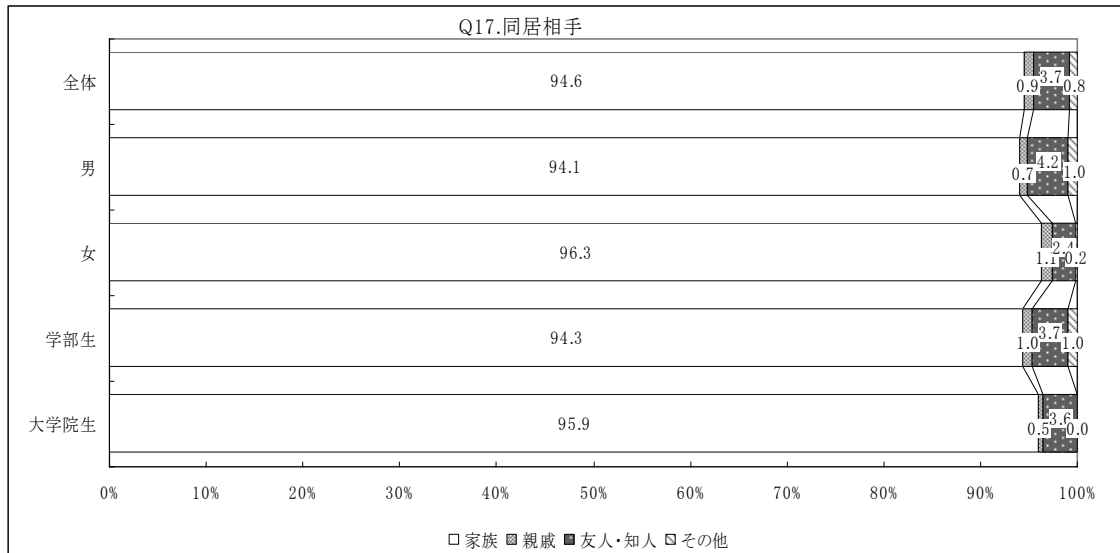
## 16. 単身生活の学生の住居のタイプ

単身生活 1,403 人の学生の住居は、集合住宅が 1,211 人(86.4%)で、前回の 78.1%よりも増えている。一方、貸家、貸間は 7.4%から 2.7%と半分以下に減っており、男子寮は募集を停止していたので 7.8%から 4.2%に減った。



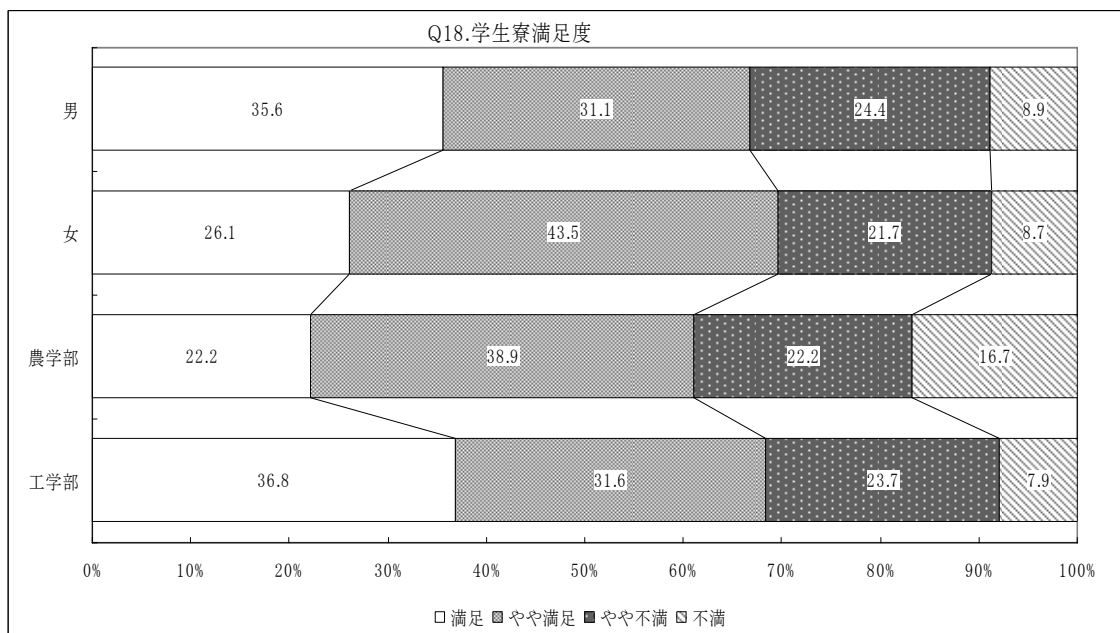
## 17. 同居相手

同居学生 1,681 人の同居相手は、前回同様、家族が 1,591 人とほとんどであり、男子、女子とも前回調査よりさらに増えている。



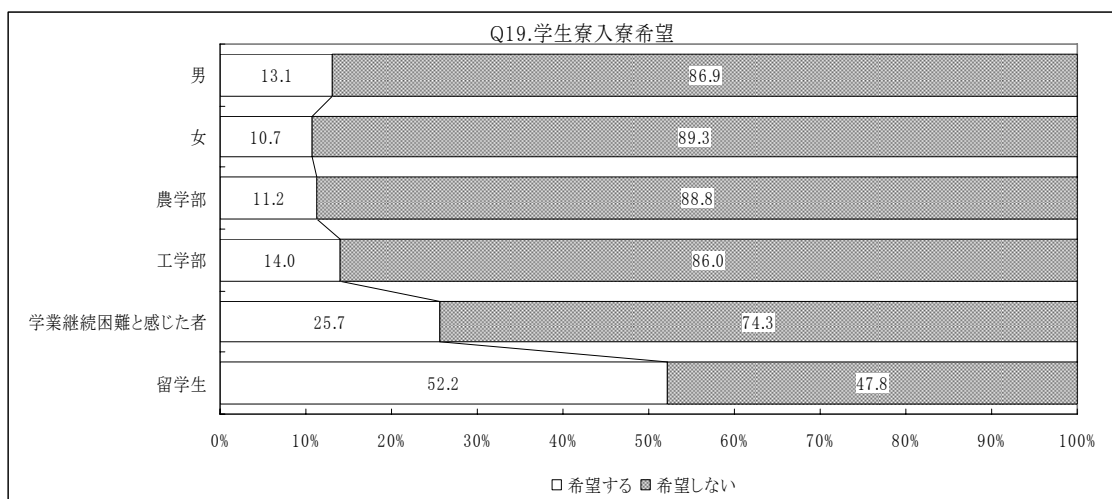
## 18. 学生寮の満足度

男子寮の一期改修工事が終わり、入寮者全員が新個室に移ったため、男子 45 人中「満足」「やや満足」としたものが 7 割近くになった。女子 23 人は「やや満足」とする学生が一番多いが、満足度は男子より高い。



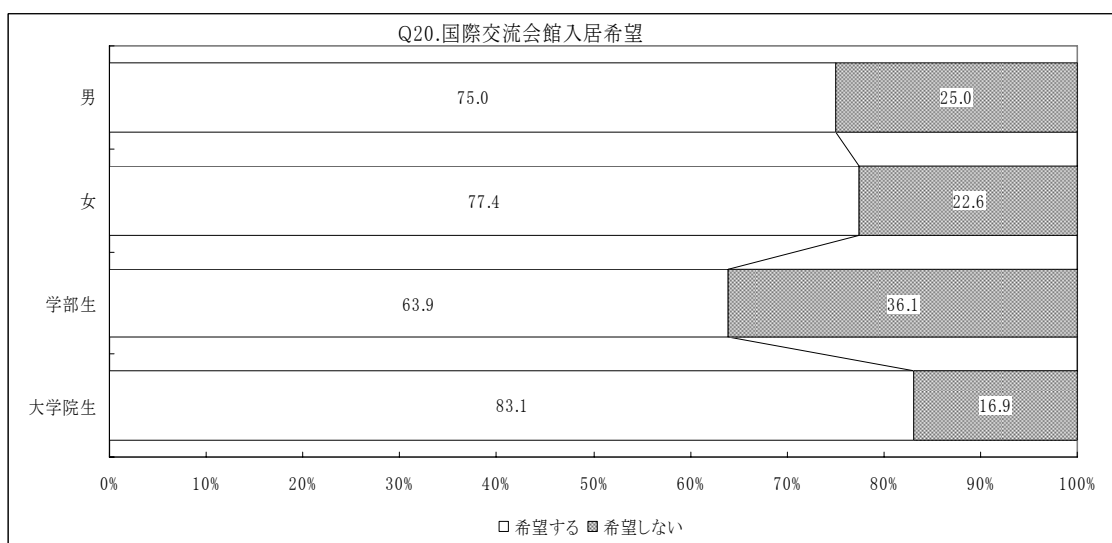
## 19. 学生寮への入居希望

回答者 1,128 人中 143 人(12.7%)が入寮を希望している。男子寮の改修が終わり入居者募集が再開されたため、男子寮入居希望者は前回の 4.3%から 13.1%へ 3 倍増となった。小金井地区に新女子寮ができることもあり、女子の入居希望者も 9.2%から 10.7%へ増えている。また、経済的理由から学業継続困難と感じたことがある学生ではその 25.7%が、留学生は 52.2%が入寮を希望している。



## 20. 国際交流会館への入居希望

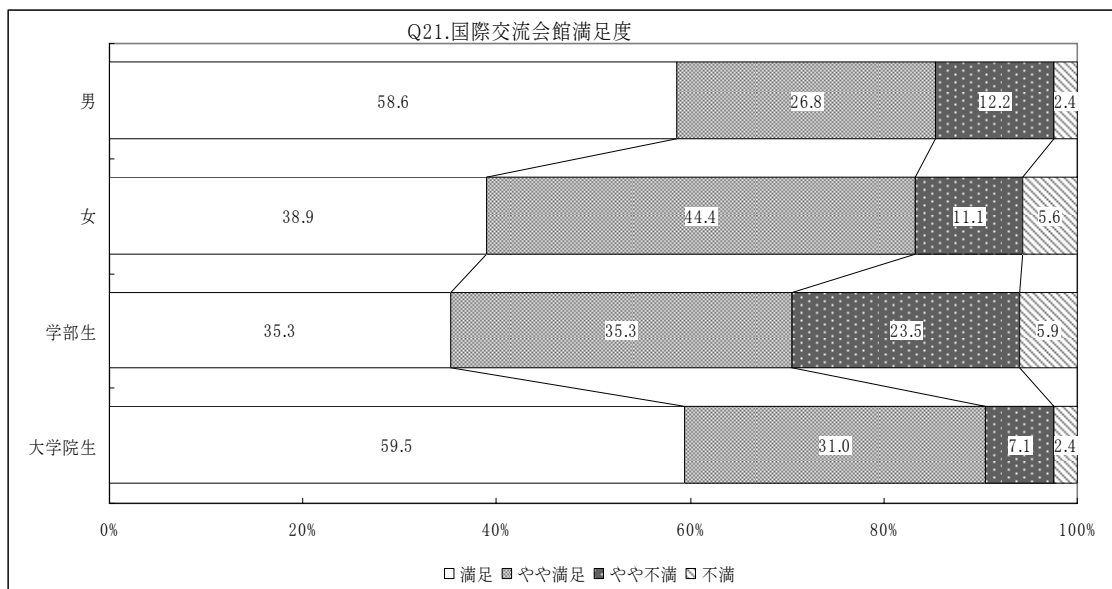
外国人留学生のうち、4人に3人が国際交流会館への入居を希望している。この割合は前回の80%より減っているが、学部学生より大学院生の方が割合が高くなっていて、国際交流会館や学生寮への入居を希望する留学生はたいへん多い。





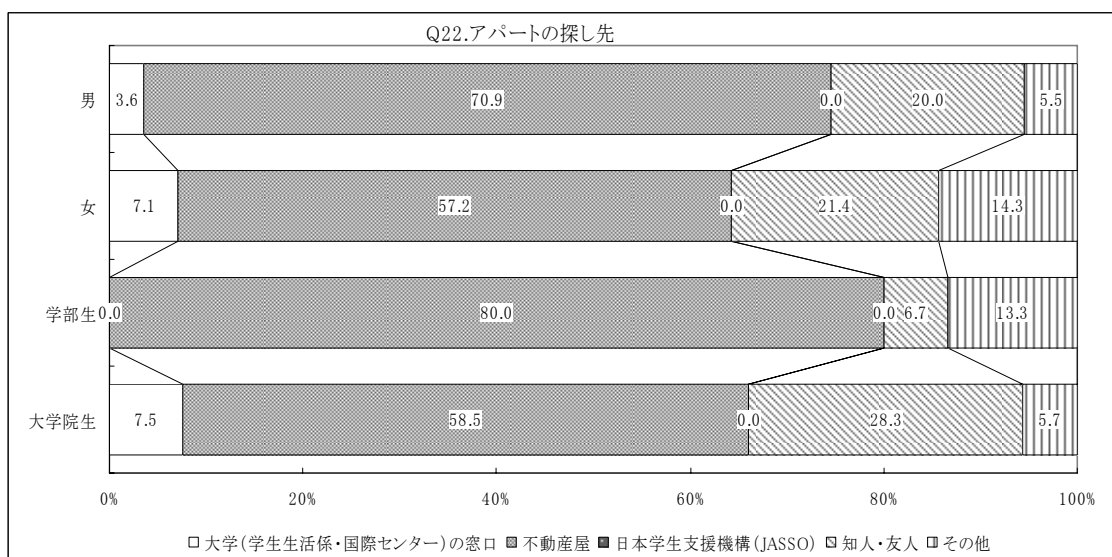
## 2 1. 国際交流会館の満足度

国際交流会館に入居しているまたは入居したことがある留学生は、全体の 85%近くが「満足」「やや満足」としている。



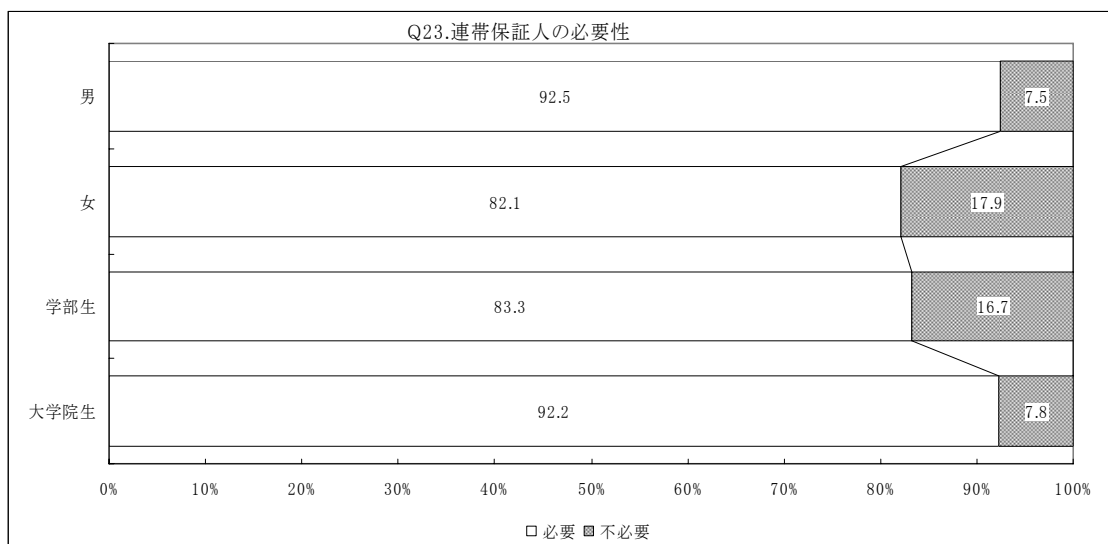
## 2 2. アパート等への入居

外国人留学生がアパート等をどこで探したか、という設問には、「不動産屋」が3分の2を占め、5人に1人は「知人・友人」としている。大学の窓口とした留学生は少なく、日本学生支援機構を利用した者はいなかった。



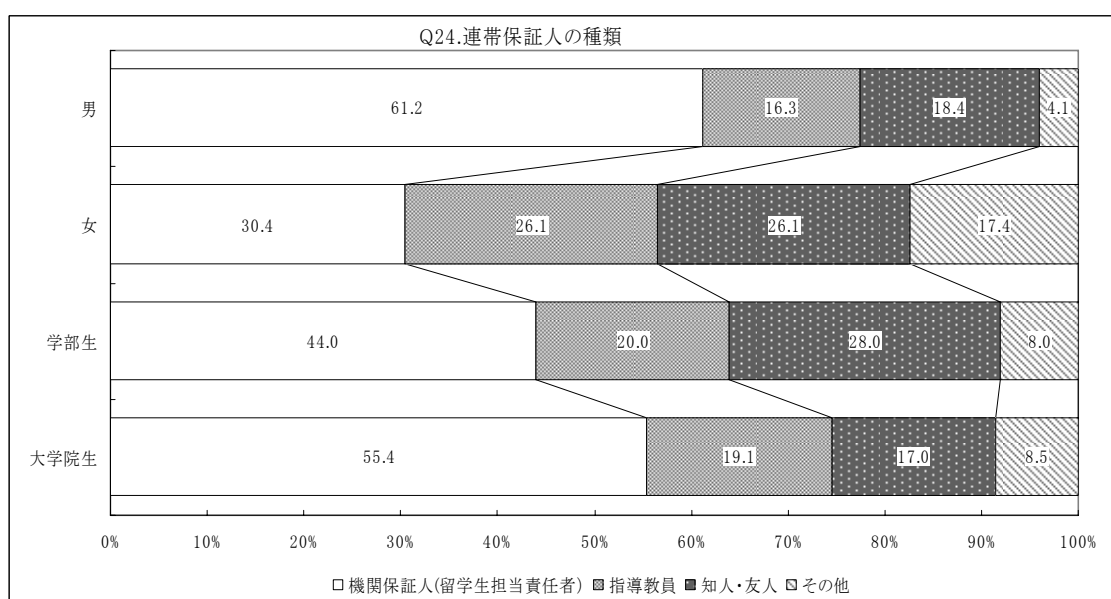
### 23. 連帯保証人の必要性

外国人留学生がアパート等へ入居に際し、連帯保証人が必要であったか、には、必要とした留学生は男子の92%、女子の82%で、前回調査より増えていて、「不必要」の方がまれである。



### 24. 連帯保証人

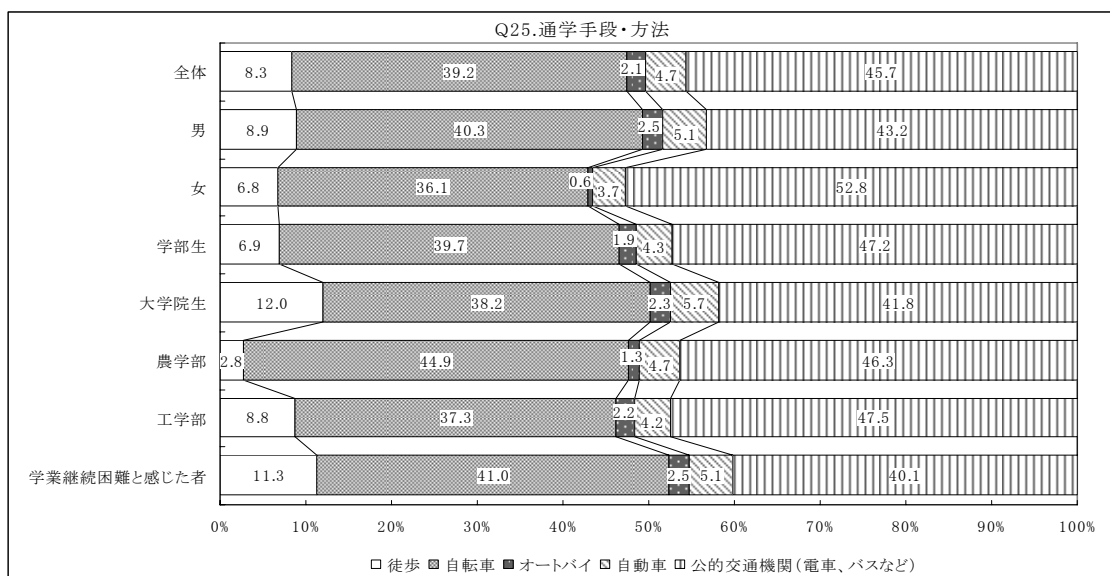
連帯保証人が必要とされる場合に誰に依頼したか、という設問には、「機関保証人（留学生担当責任者）」が男子で61%と前回の41%から増えているが、一方、女子は54%から30%に減っていて「指導教員」「知人・友人」が増えている。機関保証人制度が始まって減った教員の負担は、今回全体としては変わらなかった。



## 第IV章 通学

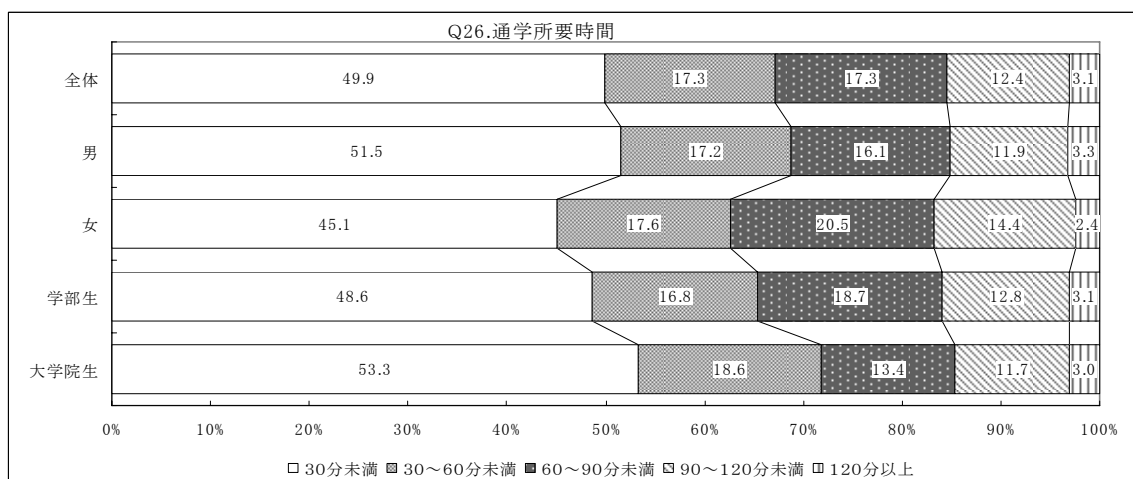
### 25. 通学手段・方法

学生の主な通学手段・方法は、全体で「徒歩」「自転車」「公共交通機関」の割合は前回とほとんど変わっていない。人数は少ないが、「オートバイ」は前回の4.1%から2.1%へ半減してバイク離れの傾向が目立つ。一方、男子の「自動車」は4.1%から5.1%へ微増している。



### 26. 通学の所要時間

通学の片道所要時間は30分未満が前回の50.2%から49.9%、30～60分未満が16.3%から17.3%となっており、全体の3分の2の学生は1時間未満で通学していて大きくは変わっていない。1時間以上を要する学生は33.5%から32.8%と減っているが、このうち、女子学生の1～2時間は33.0%から34.9%と逆に増えているのが目につく。一方、2時間以上を要する遠距離通学の学生は4.2%から3.1%、特に女子は4.1%から2.4%へ減少している。



## 第V章 学業

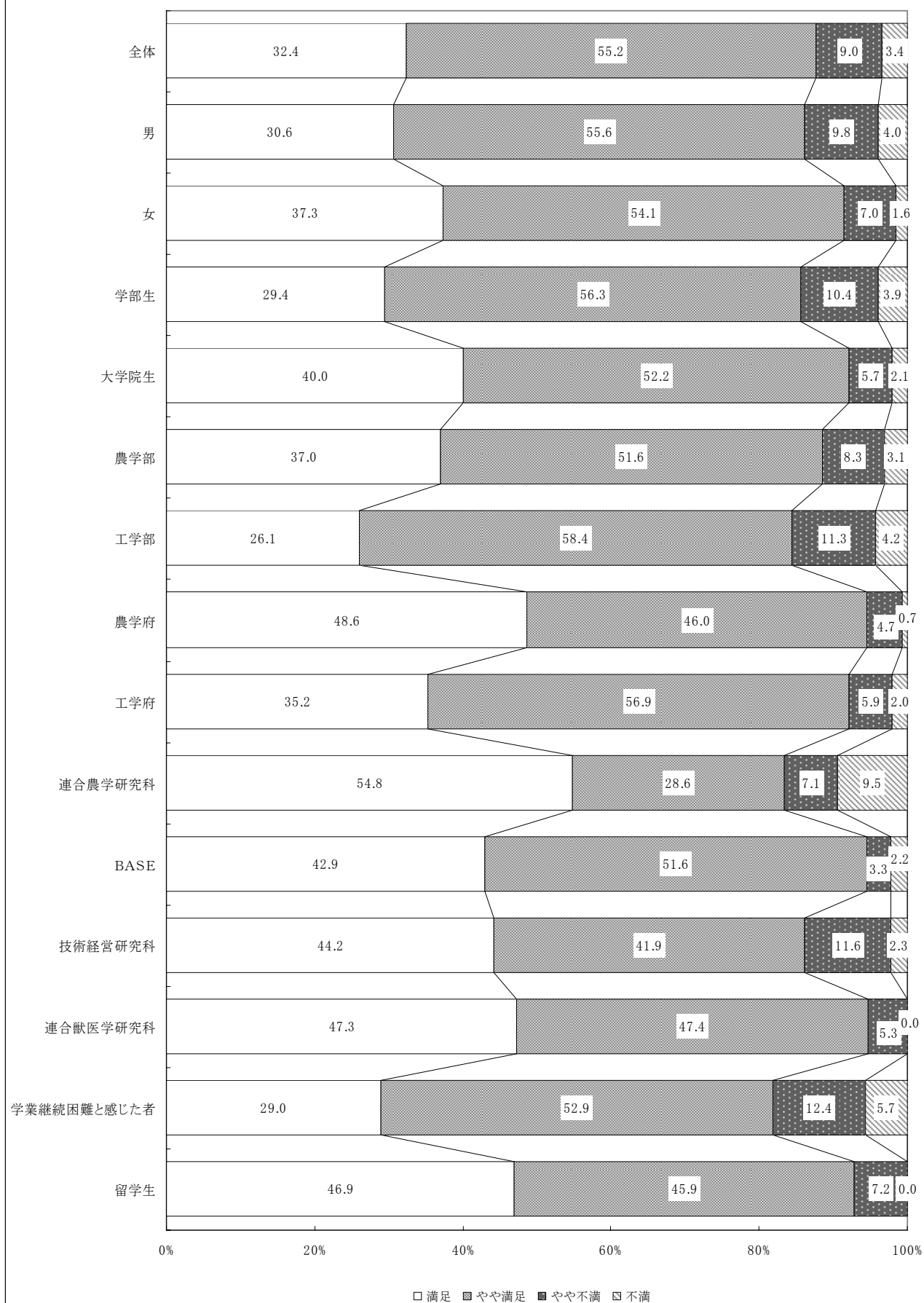
### 27. 本学満足度

本学に入学したことに対する満足度は、大学全体で「満足」+「やや満足」が 2,714 件 (87.6%) と非常に高い。前回とは選択肢が異なるため直接比較できないものの、傾向はほとんど変わらないことが推測される。男女別では女性の満足度が高く、学部大学院の別では大学院生の満足度が高い。学部別では工学部が農学部よりも不満が多い。これらの傾向は前回と同様である。なお、経済的な理由から学業継続の困難を感じた学生においては、同じ数字が 81.9% (699 件) と下がっており、何らかの対策が望まれる。

Q27.本学満足度

	合計	満足	やや満足	やや不満	不満
全体	3098	1004	1710	280	104
男	2302	705	1280	225	92
女	774	289	419	54	12
学部生	2221	653	1252	230	86
大学院生	857	343	447	49	18
農学部	675	250	348	56	21
工学部	1546	403	904	174	65
農学府	150	73	69	7	1
工学府	512	180	292	30	10
連合農学研究科	42	23	12	3	4
BASE	91	39	47	3	2
技術経営研究科	43	19	18	5	1
連合獣医学研究科	19	9	9	1	0
学業継続困難と感じた者	542	157	287	67	31
留学生	111	52	51	8	0

Q27.本学満足度



## 28. カリキュラム満足度

全体では「満足」＋「やや満足」が2,378件（79.0%）と満足度はかなり高い。前項と同様に前回とは選択肢が異なるため比較は困難であるものの、傾向はほとんど変わっていないと推測される。男女別では女子学生の満足度が高いものの大きな差はなく、学部と大学院では大学院生の満足度が高い。これらも前回と同様である。前回調査時に工学部が農学部を逆転した学部別の満足度については、その傾向が継続しており、農学部では「満足」＋「やや満足」が71.6%（472件）であるのに対し、工学部では80.7%（1,211件）となっている。なお、農学府では同じ数字が79.6%（117件）、工学府では82.5%（411件）と、あまり差がない。さらに学科等単位で見ると、獣医学科においては「満足」＋「やや満足」が54.4%（91件）ととくに低いことには注意が必要である。経済的な理由から学業継続の困難を感じた学生においては、この数字がやはり71.6%（379件）と低い。

Q28.カリキュラム満足度

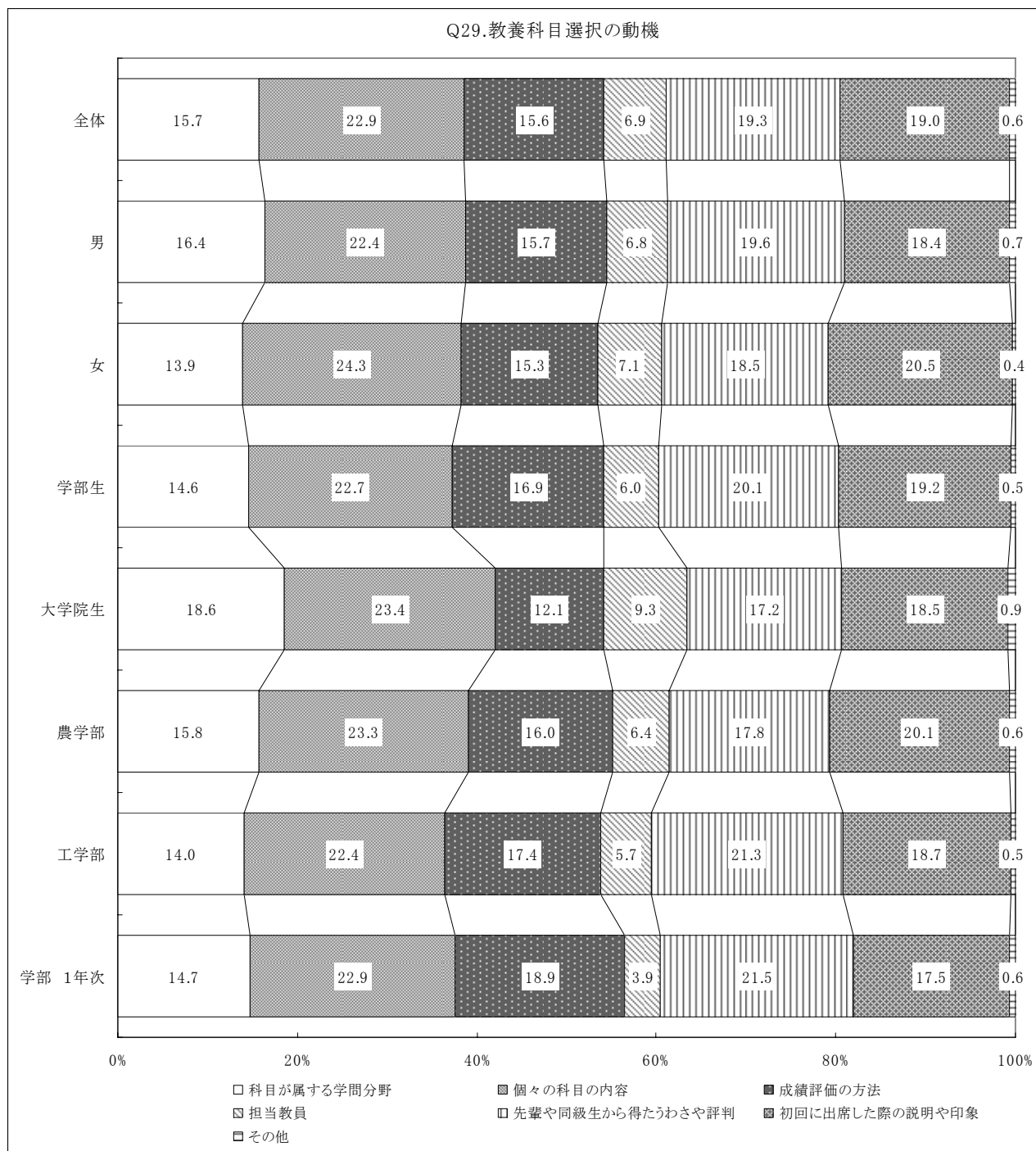
	合計	満足	やや満足	やや不満	不満
全体	3009	514	1864	502	129
(%)	100.0	17.1	61.9	16.7	4.3
男	2232	374	1373	376	109
(%)	100.0	16.8	61.5	16.8	4.9
女	755	135	479	124	17
(%)	100.0	17.9	63.4	16.4	2.3
学部生	2159	318	1365	371	105
(%)	100.0	14.7	63.2	17.2	4.9
大学院生	830	190	490	129	21
(%)	100.0	22.9	59.1	15.5	2.5
農学部	659	92	380	148	39
(%)	100.0	14.0	57.6	22.5	5.9
工学部	1500	226	985	223	66
(%)	100.0	15.1	65.6	14.9	4.4
農学府	147	33	84	28	2
(%)	100.0	22.4	57.2	19.0	1.4
工学府	498	102	309	73	14
(%)	100.0	20.5	62.0	14.7	2.8
連合農学研究科	40	13	19	6	2
(%)	100.0	32.5	47.5	15.0	5.0
BASE	87	26	48	12	1
(%)	100.0	29.9	55.2	13.8	1.1
技術経営研究科	40	12	17	9	2
(%)	100.0	30.0	42.5	22.5	5.0

連合獣医学 研究科	18	4	13	1	0
(%)	100.0	22.2	72.2	5.6	0.0
学業継続困 難と感じた者	530	87	292	120	31
(%)	100.0	16.4	55.2	22.6	5.8
留学生	105	41	49	13	2
(%)	100.0	39.0	46.7	12.4	1.9

	合計	満足	やや満足	やや不満	不満
生物生産学科	153	19	97	29	8
(%)	100.0	12.4	63.4	19.0	5.2
応用生物科学科	98	26	60	11	1
(%)	100.0	26.5	61.3	11.2	1.0
環境資源科学科	47	4	31	11	1
(%)	100.0	8.5	66.0	23.4	2.1
地域生態システム学科	194	24	120	43	7
(%)	100.0	12.4	61.8	22.2	3.6
獣医学科	167	19	72	54	22
(%)	100.0	11.4	43.1	32.3	13.2
生命工学科	208	28	148	27	5
(%)	100.0	13.5	71.1	13.0	2.4
応用分子化学科	144	24	93	21	6
(%)	100.0	16.7	64.5	14.6	4.2
有機材料化学科	155	23	98	28	6
(%)	100.0	14.8	63.2	18.1	3.9
化学システム工学科	130	15	74	35	6
(%)	100.0	11.5	57.0	26.9	4.6
機械システム工学科	348	60	234	39	15
(%)	100.0	17.2	67.3	11.2	4.3
物理システム工学科	158	35	96	18	9
(%)	100.0	22.2	60.7	11.4	5.7
電気電子工学科	243	30	171	35	7
(%)	100.0	12.3	70.4	14.4	2.9
情報工学科	102	8	64	18	12
(%)	100.0	7.8	62.8	17.6	11.8
情報コミュニケーション工学科	12	3	7	2	0
(%)	100.0	25.0	58.3	16.7	0.0

## 29. 教養科目選択の動機

今回調査より新たに加わった項目である。本項目の主たる調査対象集団は1年次生であるが、その回答傾向と学生全体のそれとの間に大きな違いはない。1年次生は「個々の科目の内容」(313件(22.9%))および「先輩や同級生から得たうわさや評判」(294件(21.5%))をはじめとするいくつかの材料を大きな偏りなく活用して科目選択を行っている。ただし、「担当教員」だけはあまり科目選択の手がかりとして用いられてはいない。





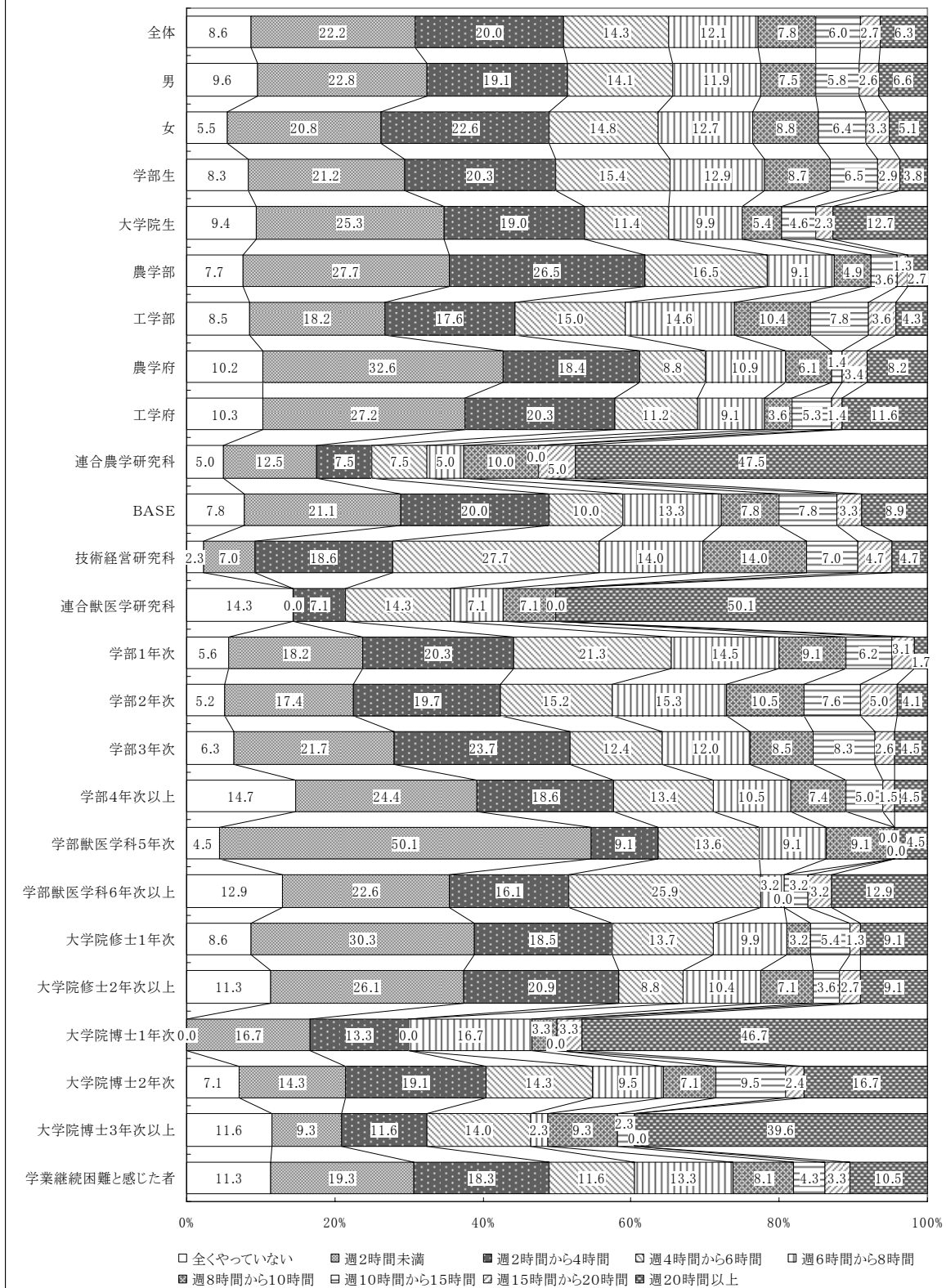
### 30. 授業時間外の学習

前回より新たに加わった調査項目である。全体では、時間外学習に割く時間が週6時間未満の割合が2,003件(65.1%)と高く、前回の56.5%からさらに悪化しており、十分な授業時間外学習を確保していない学生が大変多い。男女差はさほど大きくはないが、女子学生がより多くの時間を時間外学習に割いている。学部生と比べて、大学院生では両極が増え二極化している。農学部では工学部より週6時間未満の割合が19ポイント高く、由々しき差がある。一方、農学府と工学府とでは前回10ポイント近くの違いがあったものが、ほぼ同水準となっている。経済的な理由から学業継続の困難を感じた学生においては、週6時間未満と回答した割合が全体よりも5ポイント低い。

Q30.授業時間外の学習

	合計	全くや っていない	週2時 間未 満	週2時 間から 4時間	週4時 間から 6時間	週6時 間から 8時間	週8時 間から 10時 間	週10 時間か ら15時 間	週15 時間か ら20時 間	週20 時間以 上
全体	3076	264	684	614	441	372	239	185	84	193
男	2292	221	521	438	324	272	171	134	59	152
女	763	42	159	172	113	97	67	49	25	39
学部生	2216	184	467	450	342	286	193	145	65	84
大学院生	841	79	213	160	96	83	45	39	19	107
農学部	671	52	185	178	111	61	33	24	9	18
工学部	1545	132	282	272	231	225	160	121	56	66
農学府	147	15	48	27	13	16	9	2	5	12
工学府	507	52	138	103	57	46	18	27	7	59
連合農学研 究科	40	2	5	3	3	2	4	0	2	19
BASE	90	7	19	18	9	12	7	7	3	8
技術経営研 究科	43	1	3	8	12	6	6	3	2	2
連合獣医学 研究科	14	2	0	1	2	1	1	0	0	7
学業継続困 難と感じた者	541	61	104	99	63	72	44	23	18	57

Q30.授業時間外の学習



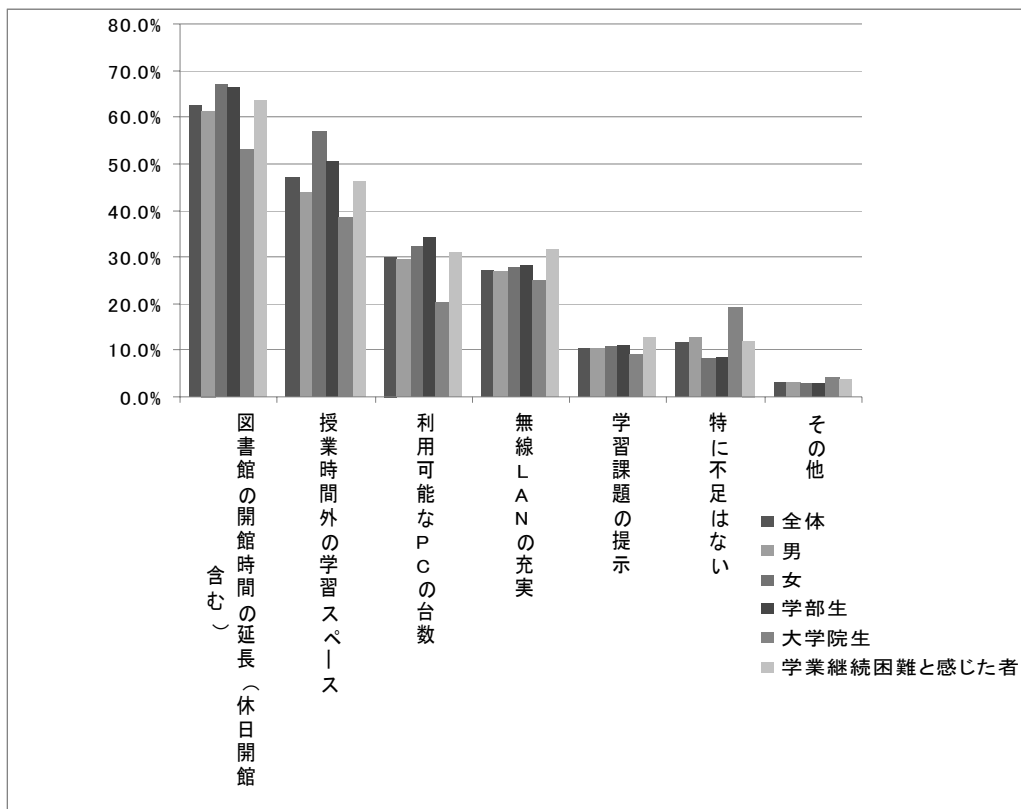
### 3 1. 授業時間外学習に必要な施設等

全体では、「図書館の開館時間の延長」が1,962件（62.5%（前回67.0%））と最多であり、開館時間を延長したにもかかわらず、若干の改善はありながらも未だに高い割合でこの対策の重要性が指摘されている。ついで「授業時間外の学習スペース」が1,483件（47.3%（前回44.9%））、「利用可能なPCの台数」が947件（30.2%（前回29.4%））と続いている。男女別では、女子学生がより前記上位三項目の必要性を指摘する比率が高く、特に学習スペースの不足を訴える女子学生が多い。学部生と大学院生では、研究室に所属している大学院生の方が上位三項目の必要性を指摘する比率が少なくなっている。

なお、経済的な理由から学業継続の困難を感じた学生の回答傾向は全体のそれとほとんど変わらない。

Q31.授業時間外学習に必要な施設等

	合計	図書館の開館時間の延長(休日開館含む)	授業時間外の学習スペース	利用可能なPCの台数	無線LANの充実	学習課題の提示	特に不足はない	その他
全体	6038	1962	1483	947	849	330	366	101
男	4386	1431	1027	685	627	245	296	75
女	1612	523	445	253	218	85	65	23
学部生	4539	1494	1141	766	630	251	195	62
大学院生	1467	461	334	175	216	79	166	36
農学部	1420	454	400	194	218	82	49	23
工学部	3119	1040	741	572	412	169	146	39
農学府	247	81	53	21	39	12	31	10
工学府	887	277	217	112	121	52	91	17
連合農学研究科	83	26	16	12	15	3	8	3
BASE	139	44	26	17	14	9	24	5
技術経営研究科	79	18	17	11	18	3	11	1
連合獣医学研究科	32	15	5	2	9	0	1	0
学業継続困難と感じた者	1110	351	256	172	174	70	66	21



### 3 2. 授業の疑問等の対処法

今回調査より新たに加わった項目である。全体では、「自分で調べる」学生が最も多く 2,477 件 (38.8%) であり、ついで「先輩や同級生に質問・相談する」割合が 2,099 件 (32.9%) で続いており、最後に授業時間の内外に「担当教員に質問・相談する」学生が 1,617 件 (26.4%) である。とくに授業時間中に質問等する学生の割合が 560 件 (8.8%) と低く、効果的/効率的に教員や授業時間が活用されていないことが示唆される。大学院生になると「担当教員に相談・質問する」割合が増えるものの、それでも 31.3% (563 件) に留まっている。

Q32.授業の疑問等の対処法

	合計	担当教員に 授業中に質 問等をする	担当教員に授 業時間外に質 問等をする	先輩や同級 生に相談や 質問等をする	自分で調 べる	その他の 対処	何もしない
全体	6378	560	1057	2099	2477	30	155
男	4604	427	707	1512	1822	24	112
女	1735	130	345	573	640	6	41
学部生	4542	327	719	1581	1767	21	127
大学院生	1803	230	333	505	699	9	27
農学部	1436	115	275	454	543	9	40
工学部	3106	212	444	1127	1224	12	87
農学府	334	46	79	83	119	0	7
工学府	1058	112	174	329	424	5	14
連合農学研究科	92	16	20	18	36	2	0
BASE	187	24	30	56	71	1	5
技術経営研究科	89	25	18	10	35	1	0
連合獣医学研究科	43	7	12	9	14	0	1

### 33. 成績評価への疑問の有無

成績評価への疑問を持った経験がある比率は 1,704 件 (55.1%) と過半を超えるほど高く、前回の 54.4%を若干ながら上回っている。男女別では男子学生で、学部・大学院の別では学部生で各々疑問を持ったことがあるという回答が多く、この傾向は前回と変わらない。前回、農学府(農学教育部)では他の部局と比べて著しく疑問を持った経験ないという回答が多かったが、今回調査でその割合は工学府とほぼ同程度になっている。また、農学部と工学部の間では大きな違いはない。

Q33.成績評価への疑問の有無

	合計	ある	ない
全体	3093	1704	1389
(%)	100.0	55.1	44.9
男	2296	1311	985
(%)	100.0	57.1	42.9
女	775	380	395
(%)	100.0	49.0	51.0
学部生	2221	1310	911
(%)	100.0	59.0	41.0
大学院生	852	383	469
(%)	100.0	45.0	55.0
農学部	675	385	290
(%)	100.0	57.0	43.0
工学部	1546	925	621
(%)	100.0	59.8	40.2
農学府	148	66	82
(%)	100.0	44.6	55.4
工学府	511	238	273
(%)	100.0	46.6	53.4
連合農学研究科	41	12	29
(%)	100.0	29.3	70.7
BASE	92	41	51
(%)	100.0	44.6	55.4
技術経営研究科	43	21	22
(%)	100.0	48.8	51.2
連合獣医学研究科	17	5	12
(%)	100.0	29.4	70.6

### 34. 講義室、実験室の満足度

前回まで類似の質問項目があったものの、質問内容および選択肢が大幅に改定されている。全体では、「満足」+「やや満足」と答えた学生が 2,476 件 (80.6%) であり、満足度は十分高い。男女では男子学生、学部・大学院では大学院生が満足していると答えた比率が高く、前回の類似項目と同様の傾向を示している。一方、農学部では工学部と比べて「満足」+「やや満足」の割合が 12 ポイント低く、農学府のそれも工学府より 14 ポイント低いので、府中キャンパスと小金井キャンパスの間に存在する設備等の格差が解消されていない。また、BASE および MOT でも満足度は工学府と同様に高い。

Q34.講義室、実験室の満足度

	合計	満足	やや満足	やや不満	不満
全体	3070	716	1760	454	140
(%)	100.0	23.3	57.3	14.8	4.6
男	2280	578	1281	315	106
(%)	100.0	25.4	56.2	13.8	4.6
女	768	131	469	137	31
(%)	100.0	17.1	61.1	17.8	4.0
学部生	2208	426	1318	362	102
(%)	100.0	19.3	59.7	16.4	4.6
大学院生	842	284	431	91	36
(%)	100.0	33.7	51.2	10.8	4.3
農学部	672	93	383	150	46
(%)	100.0	13.8	57.1	22.3	6.8
工学部	1536	333	935	212	56
(%)	100.0	21.7	60.9	13.8	3.6
農学府	145	36	71	26	12
(%)	100.0	24.8	49.0	17.9	8.3
工学府	507	164	281	48	14
(%)	100.0	32.3	55.4	9.5	2.8
連合農学研究科	41	14	18	5	4
(%)	100.0	34.1	43.9	12.2	9.8
BASE	92	45	39	5	3
(%)	100.0	48.9	42.4	5.4	3.3
技術経営研究科	41	19	17	4	1
(%)	100.0	46.3	41.5	9.8	2.4
連合獣医学研究科	16	6	5	3	2
(%)	100.0	37.4	31.3	18.8	12.5

### 35. 実験・実習時の危険体験

全体では「実験・実習で危険を感じたことがあった」が276件(9.0%)であり、前回(12.5%)と比べて減少している。学部、男女別等についても全体と同様に各々微減している。特に、女子学生および大学院生の間で相対的に危険を感じた経験が多く、大学院生の安全教育徹底が今後も重要であると考えられる。

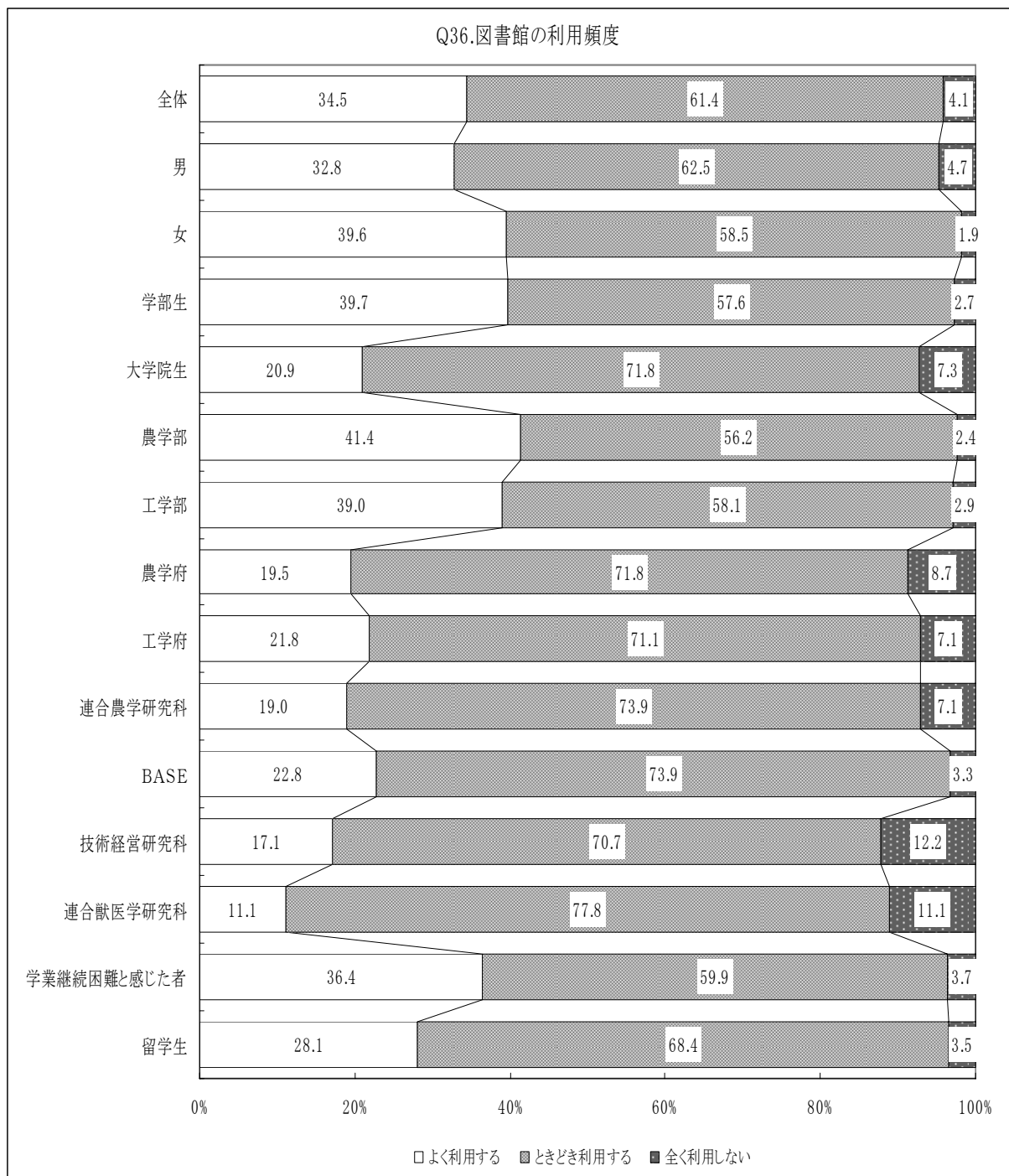
Q35.実験・実習時の危険体験

	合計	なかった	あった
全体	3081	2805	276
(%)	100.0	91.0	9.0
男	2285	2095	190
(%)	100.0	91.7	8.3
女	774	690	84
(%)	100.0	89.1	10.9
学部生	2214	2039	175
(%)	100.0	92.1	7.9
大学院生	847	748	99
(%)	100.0	88.3	11.7
農学部	672	603	69
(%)	100.0	89.7	10.3
工学部	1542	1436	106
(%)	100.0	93.1	6.9
農学府	149	130	19
(%)	100.0	87.2	12.8
工学府	510	454	56
(%)	100.0	89.0	11.0
連合農学研究科	41	38	3
(%)	100.0	92.7	7.3
BASE	91	77	14
(%)	100.0	84.6	15.4
技術経営研究科	38	35	3
(%)	100.0	92.1	7.9
連合獣医学研究科	18	14	4
(%)	100.0	77.8	22.2



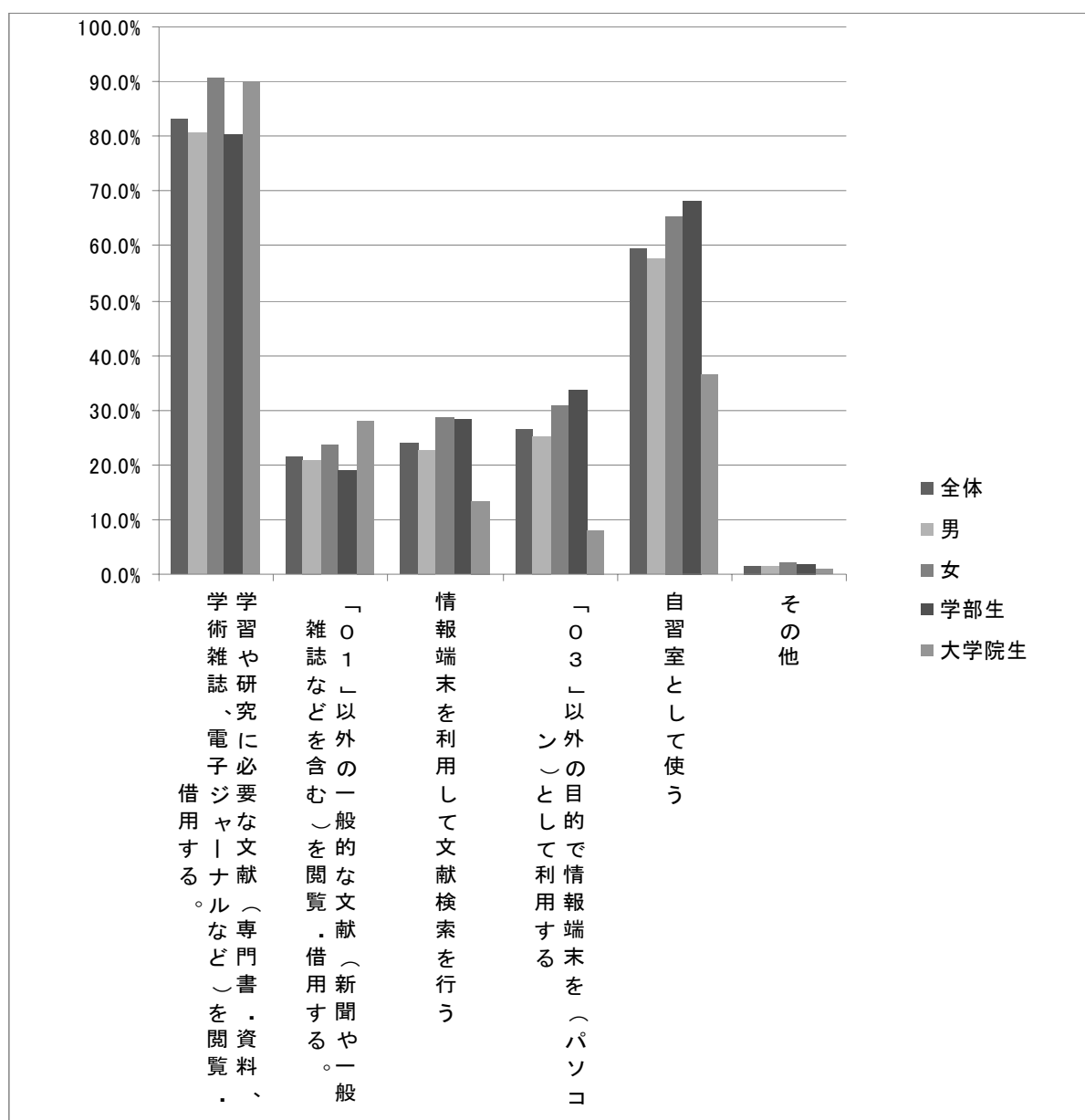
### 36. 図書館の利用頻度

「よく利用する」1,068件(34.5%(前回34.5%))、「ときどき利用する」1,903件(61.4%(前回61.6%))、「全く利用しない」126件(4.1%(前回3.9%))とほとんど変化しておらず、前回調査時に減少した「よく利用する」割合が回復していない。男子学生(32.8%)より女子学生(39.6%)の方が「よく利用する」割合が高い。経済的な理由から学業継続の困難を感じた学生においては、「よく利用する」割合は36.4%(32件)であり、経済的な問題は図書館の利用頻度に影響を与えてはいない。



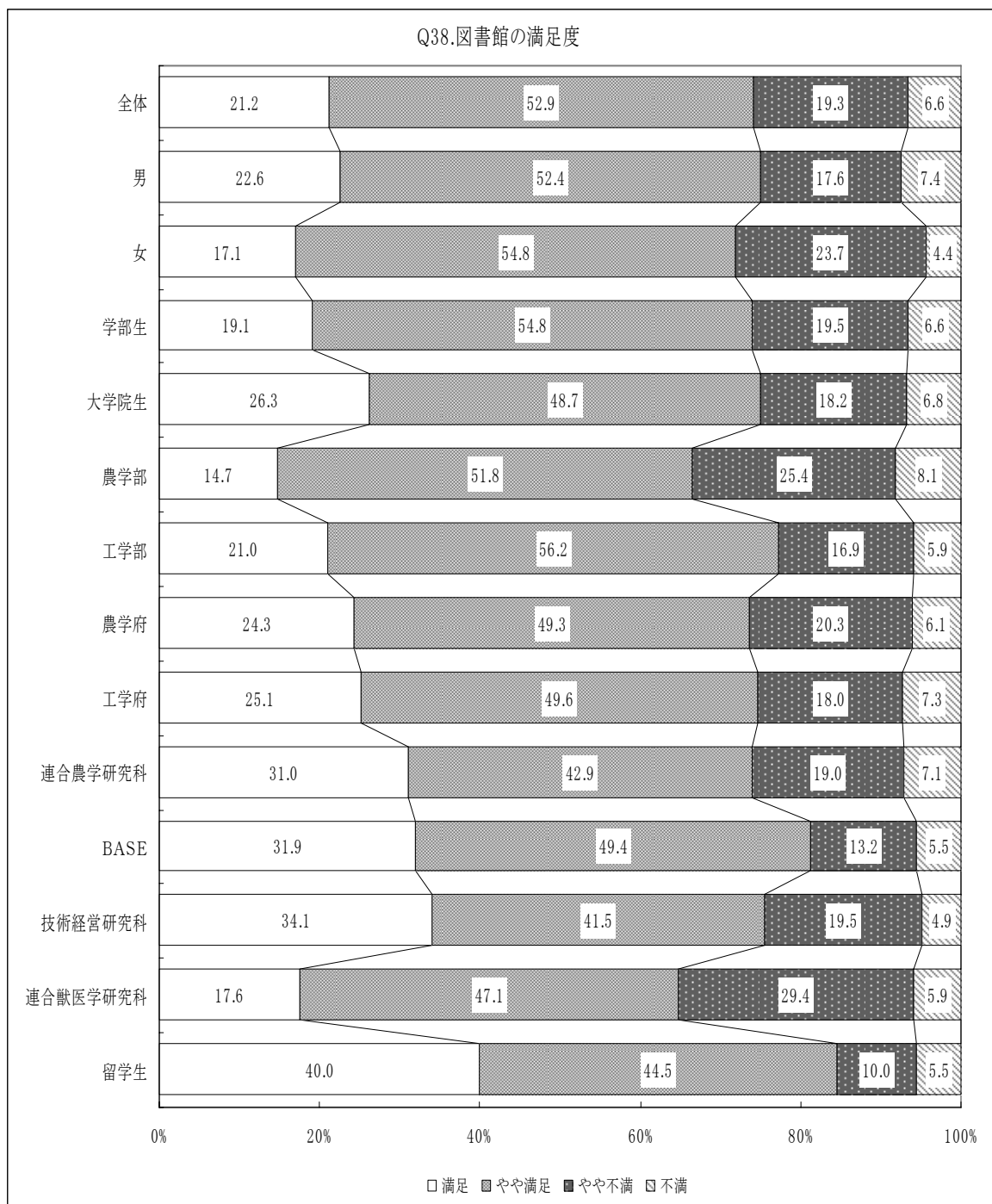
### 37. 図書館の主な用途

今回調査より新たに加わった項目である。全体では、「学習・研究に必要な文献の閲覧・借用」が最も多く 2,607 件 (83.1%) であり、ついで「自習室として利用する」割合が 1,865 件 (59.4%) で続いており、「一般的な文献の閲覧・借用」、「文献検索」、「一般的な PC の利用」が各 20% 代である。前項からも推測されるように女子学生が各用途とも積極的に図書館を活用している。したがって、31 に示されている女子学生からの「学習スペース不足」の意見はとくに重視されるべきである。大学院生になると文献の閲覧・借用の割合が増えるものの、研究室で済ませられる情報端末の利用や自習室としての利用は減少する。



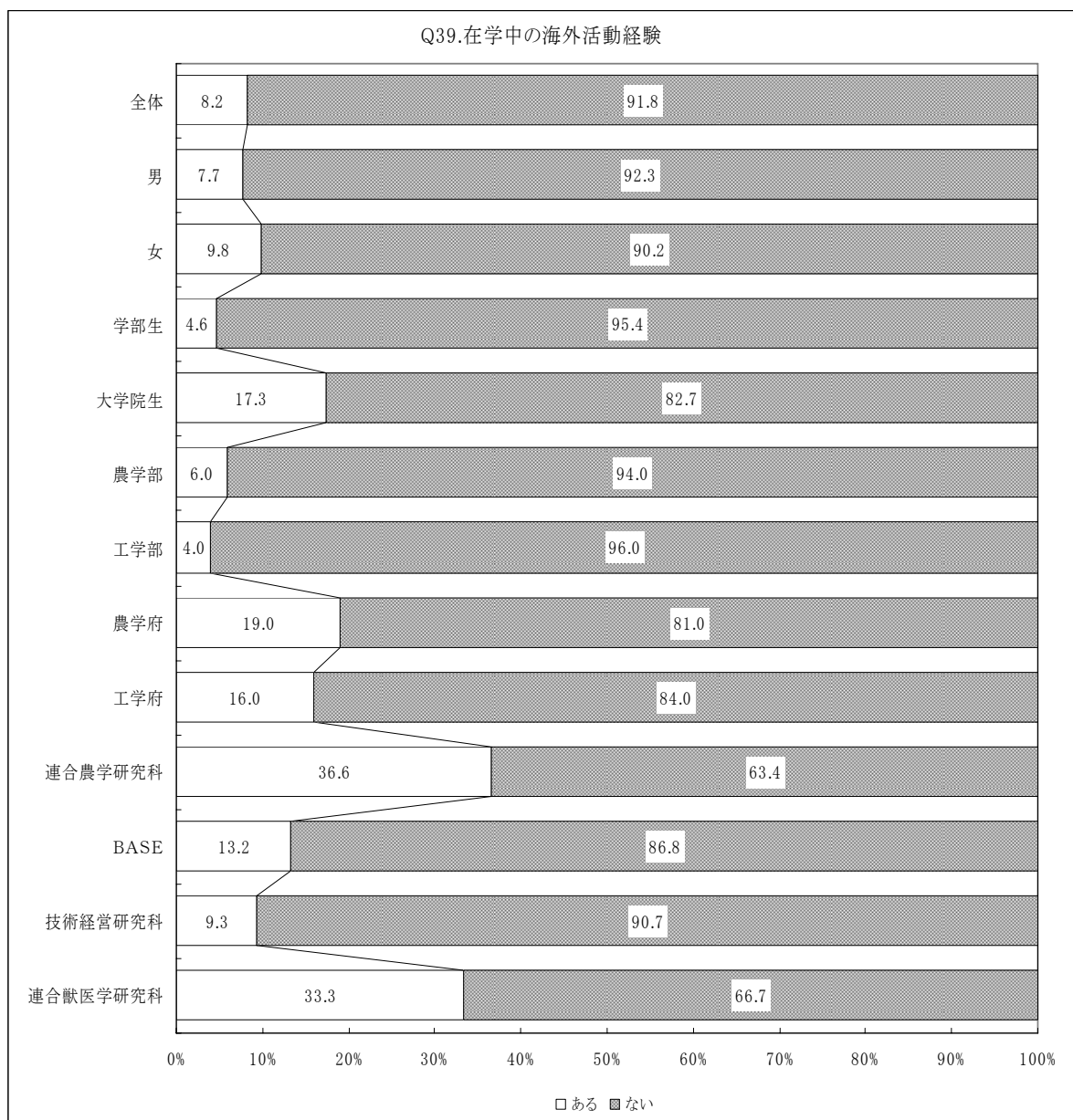
### 38. 図書館の満足度

今回調査より新たに加わった項目である。全体では、「満足」+「やや満足」が 2,276 件 (74.1%) あり、図書館に対する満足度は高い。男女あるいは学部生・大学院生の間にはほとんど違いはない。しかし、農学部学生の「満足」+「やや満足」と回答した割合は工学部学生よりも 11 ポイント低く、府中キャンパスの図書館の状況については注意が必要である。



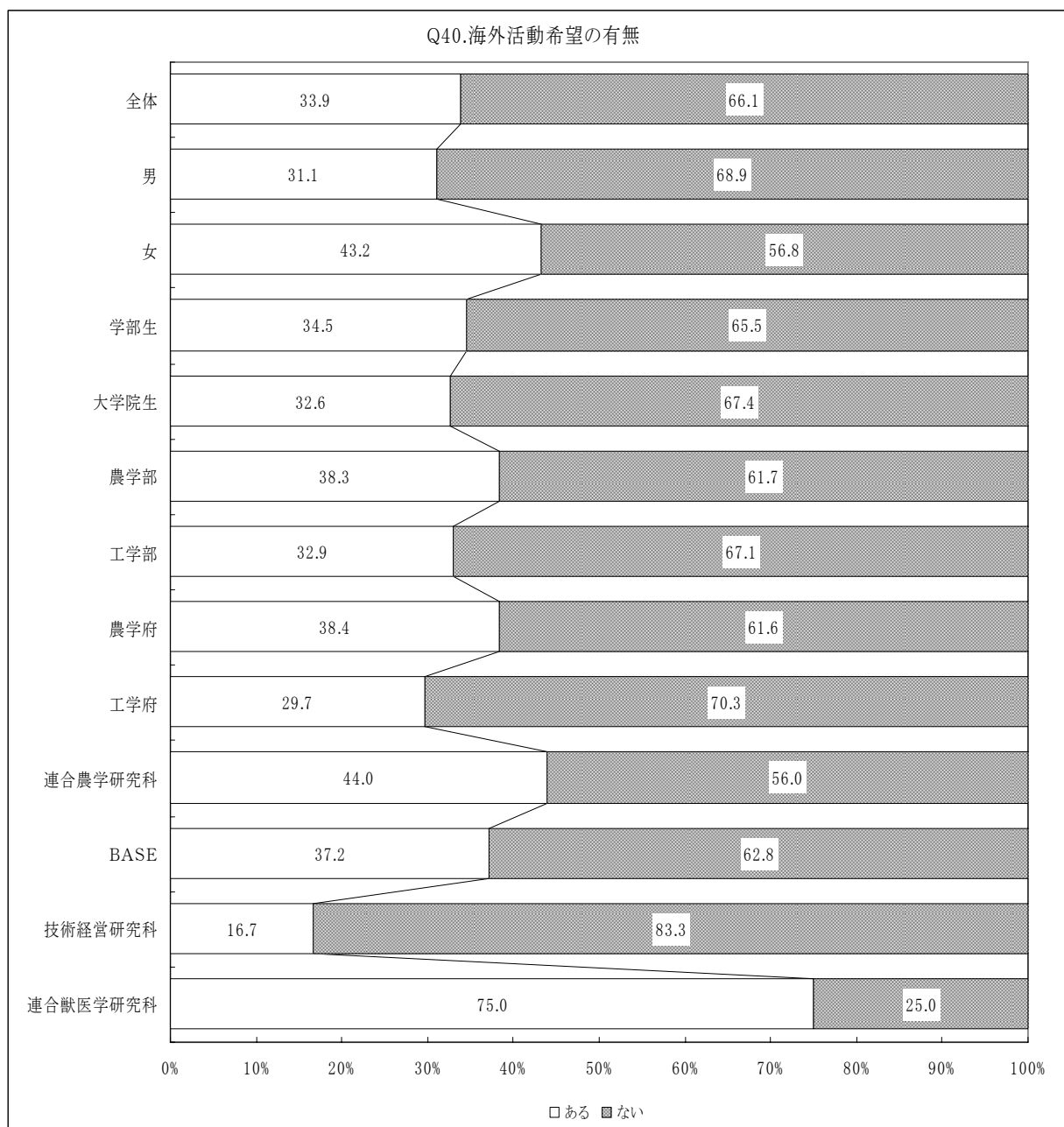
### 39. 在学中の海外活動経験

全体の 247 件 (8.2%) の学生が海外で活動した経験があると答えており、前回の 8.6% から微減している。内訳をみると、学部学生では海外活動経験がある割合が前回の 6.9% から 4.6% (99 件) へと減少しているのに対して、大学院生においては逆に 13.1% から 17.3% (146 件) へと増加している。



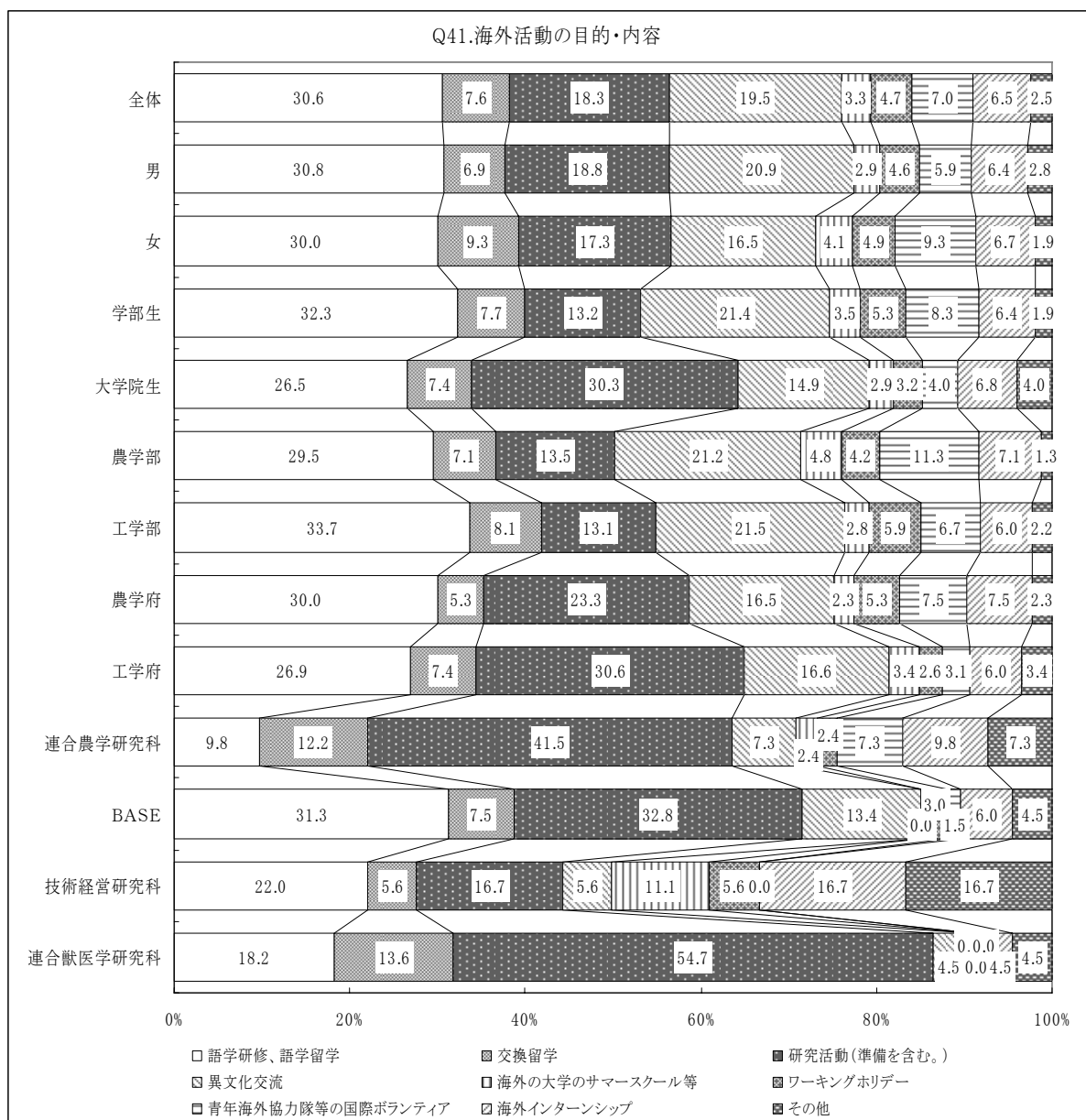
#### 40. 海外活動希望の有無

前項で海外活動の経験がないと答えた回答者に対してその希望を問う項目である。全体では海外活動を希望する割合は882件(33.9%)であるが、男女に違いがあり、男子学生(31.1%(607件))は女子学生(43.2%(272件))よりも海外活動を希望する割合が低く、男女で積極性に差があることが示されている。学部生と大学院生との間では違いはあまりないが、女子学生の多い農学部・農学府の方が、工学部・工学府よりも海外活動を希望する学生の割合が高い。



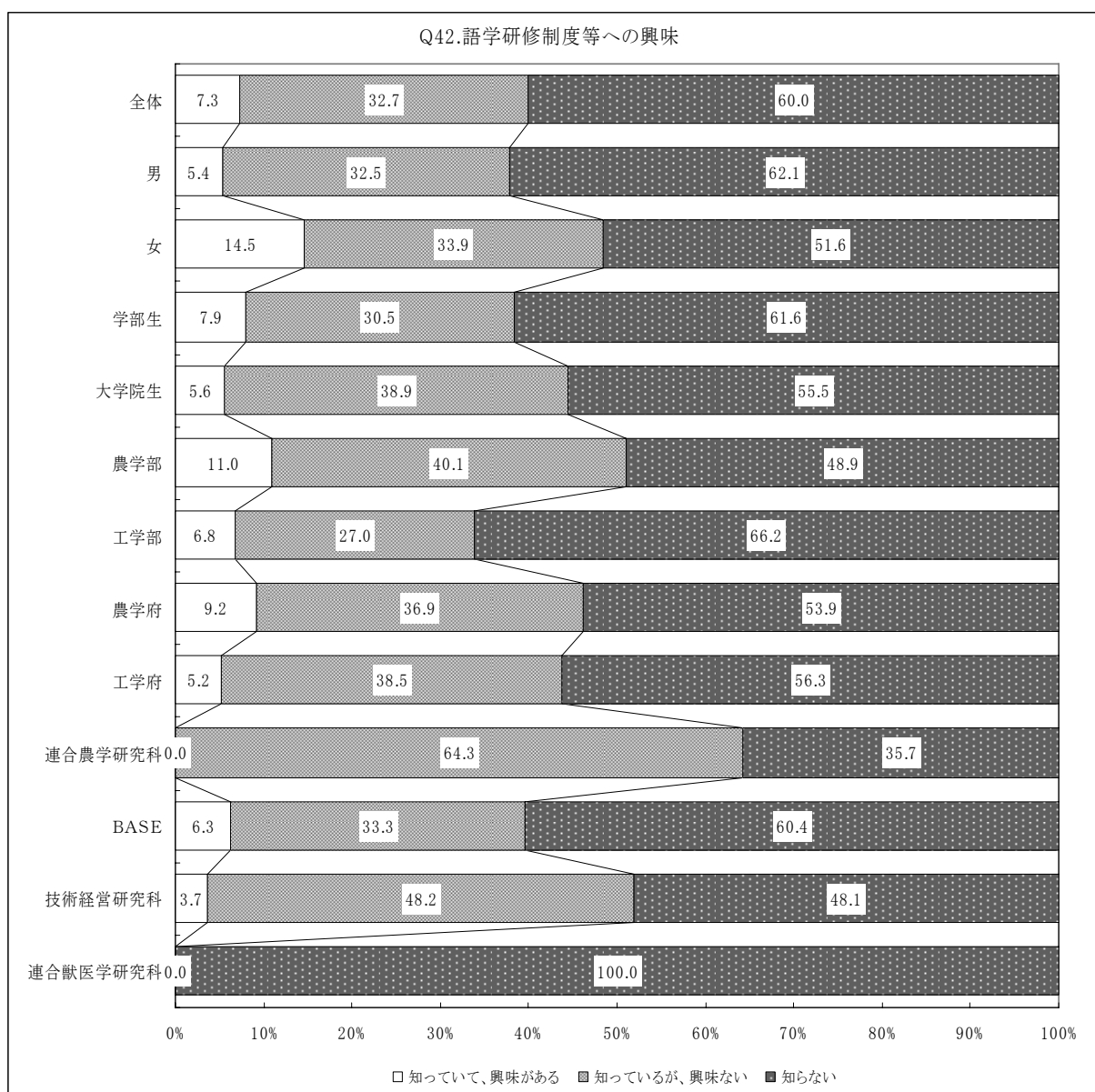
## 4 1. 海外活動の目的・内容

前回は海外活動を経験した学生にのみを対象としていたが、今回は活動希望者も含めて回答している。全体では語学研修・語学留学を希望するものが最も多く 662 件であり、異文化交流が 422 件で続き、第三位が研究活動で 395 件となっている。しかし、大学院生になると研究活動が 192 件で最上位となっている。



## 4 2. 語学研修制度等への興味

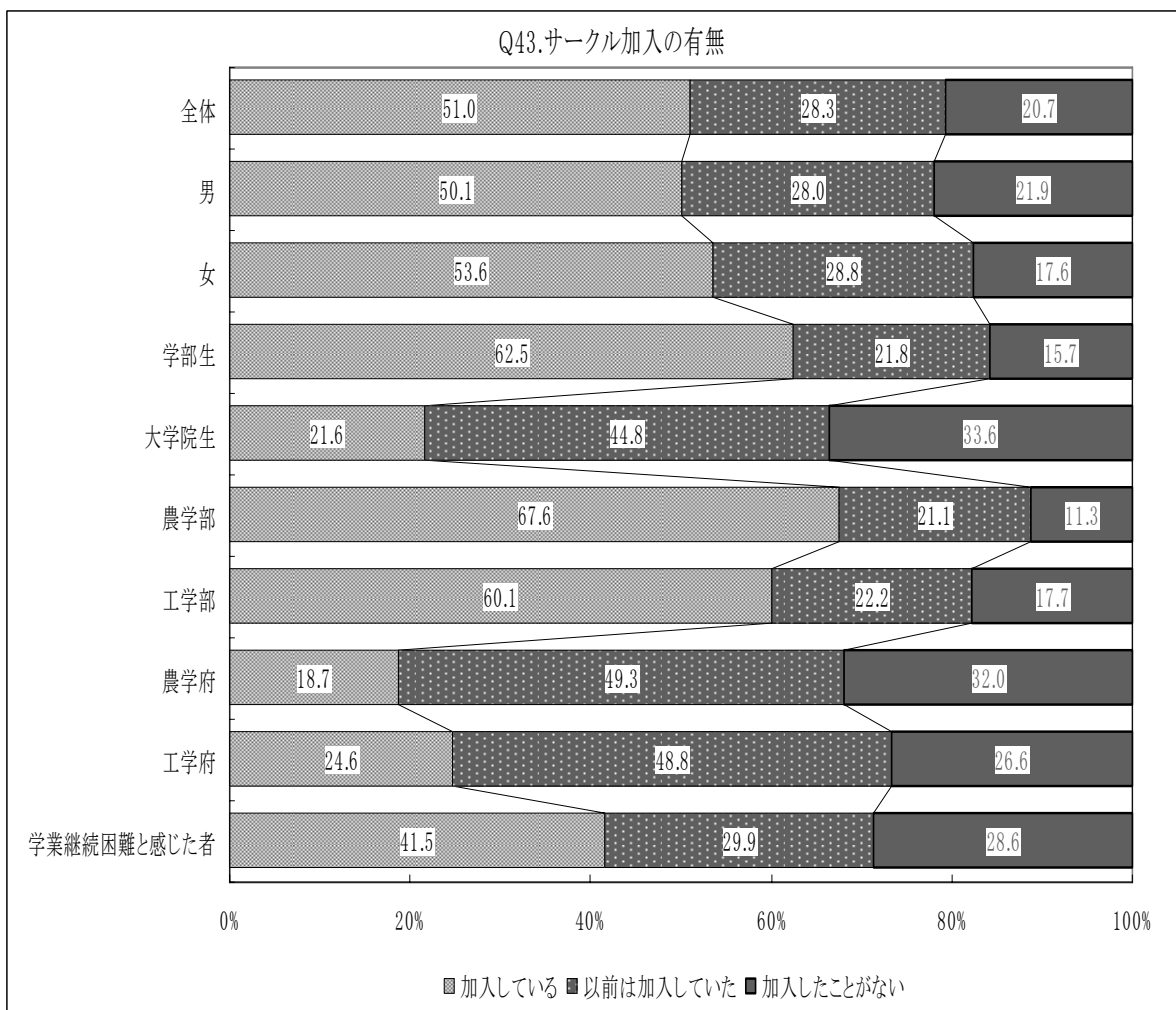
前回は全員を対象として類似の質問をしていたが、今回調査では海外活動を希望しない学生のみを対象としている。海外活動を希望しない学生が対象なので当然ながら、制度そのものを知らない学生が 958 件 (60.0%) と最も多く、ついで制度は知っているものの興味がない学生が 523 件 (32.7%) であり、制度を知っていてかつ興味がある学生はわずか 116 件 (7.3%) にしか過ぎない。すなわち、海外活動を希望しない学生に対しては研修・留学制度の設置は当然ながら効果がないと考えられる (制度自体は希望学生を対象とするので設置意義は当然ある)。男女では、女子学生の興味を示す割合が 10 ポイント近く男子学生のそれより高く、一方、学部学生と大学院学生との間にはほとんど差がない。



## 第VI章 課外活動

### 4 3. サークル加入の有無

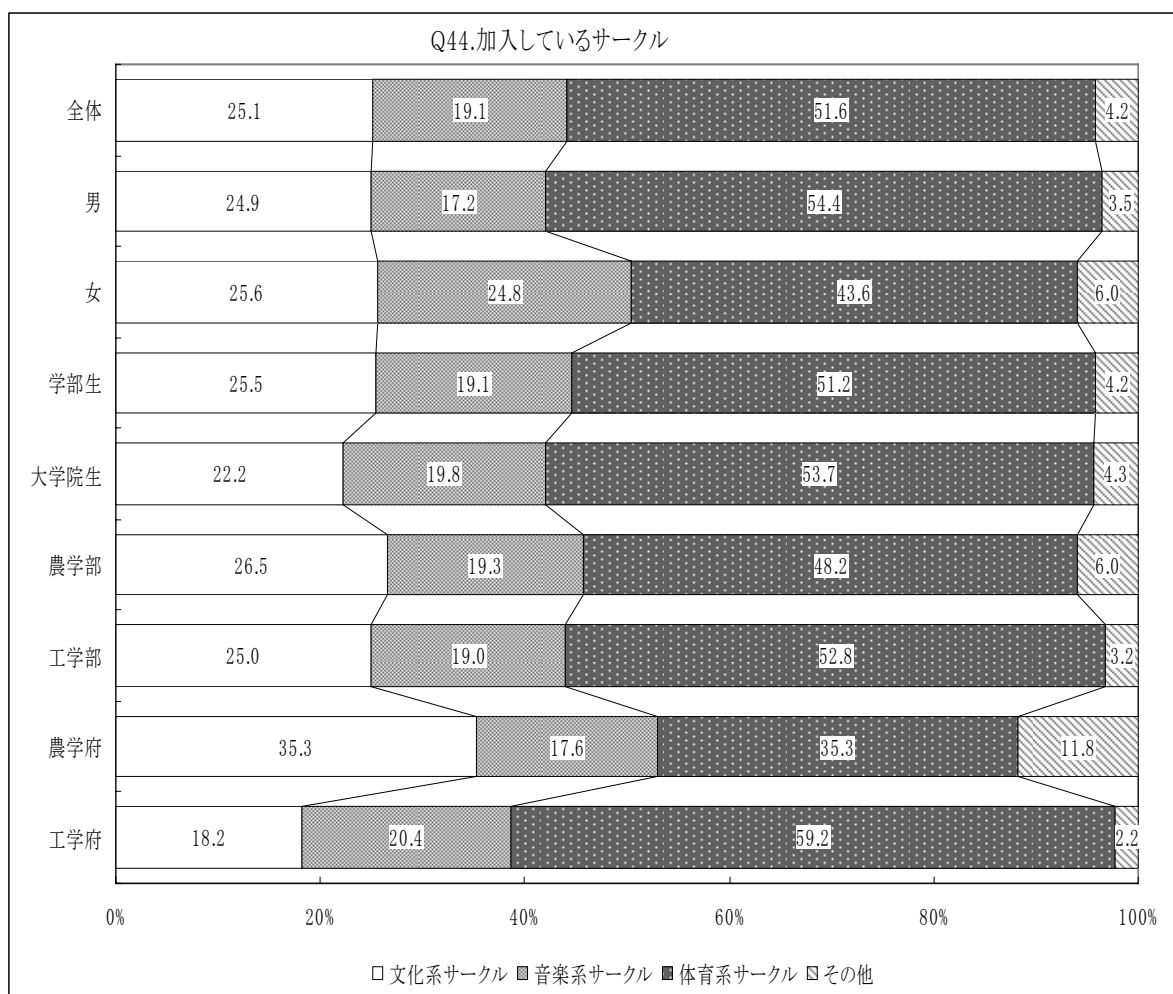
全回答数は 3,098 件で、その内訳は、加入している 1,579 件 (51%)、以前加入していた 877 件 (28.3%)、加入したことがない 642 件 (20.7%) であった。全体では半数の学生がサークルに加入しており、以前活動していたものも加えると 5 人に 4 人がサークル活動に参与している。前回第 5 回調査に比べると、5 ポイント程度サークル活動加入者割合が増加している。この傾向は、学部・学府・男女を問わず同様に見られている。博士課程学生の状況を見ると、学部・修士に比べサークル加入者の割合は、連合農学研究科、技術経営研究科、連合獣医学研究科で 5～10%程度と低いが、BASE は 26%を超え、学府の加入割合に近い。今回の調査で興味深い結果は、サークル活動加入者、以前は加入していた者、加入したことがない者の中で学業継続困難と感じている者の割合が、それぞれ 14.4%、18.7%、24.5%となっているとの結果である。この結果は、サークル活動は学業継続の妨げではなく、むしろその逆であることを示している。この Q43 から Q57 の質問において、MOT・博士課程学生に関しては、回答数が少なく統計的な有意性が認められず回答結果をグラフに示していない。





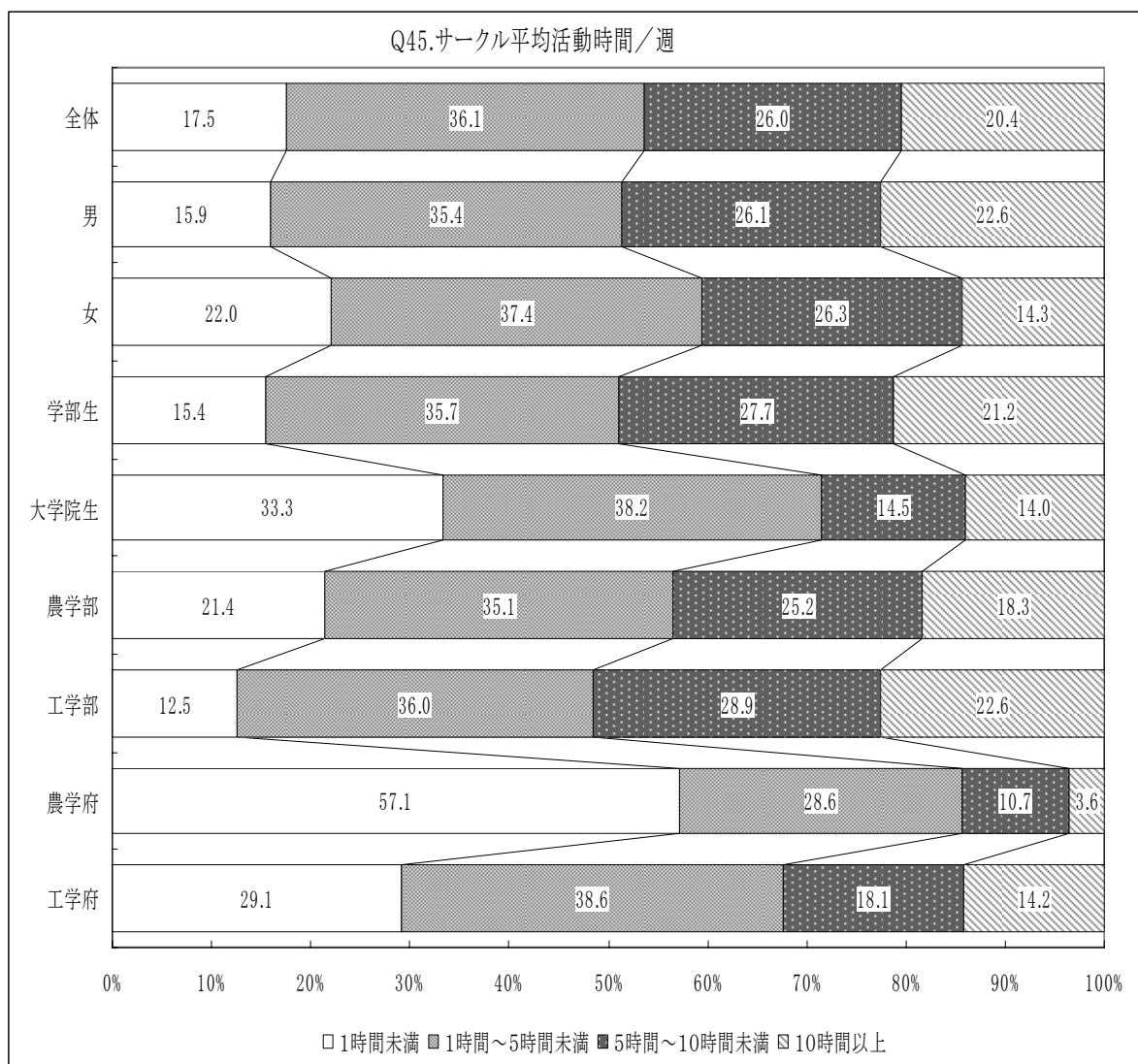
#### 4.4. 加入しているサークル

全回答数は 1,790 件で、その内訳は、文化系サークル 450 件 (25%)、音楽系サークル 342 件 (19.1%)、体育会系サークル 923 件 (51.6%)、その他 75 件 (4.2%) であった。前回第 5 回調査と比べると、体育会系サークルが 3 ポイント減少し、その分が文化系と音楽系にほぼ同じ割合での増加分となっている。体育会系サークルへの加入者が依然として半分以上を締めているが、僅かながら文化・音楽系サークルへの加入者が増加しつつある兆候にも思われる。博士課程学生に関しては、比較的回答数が多かった BASE における割合を見ると学部・学府の分布と似通った傾向にある。



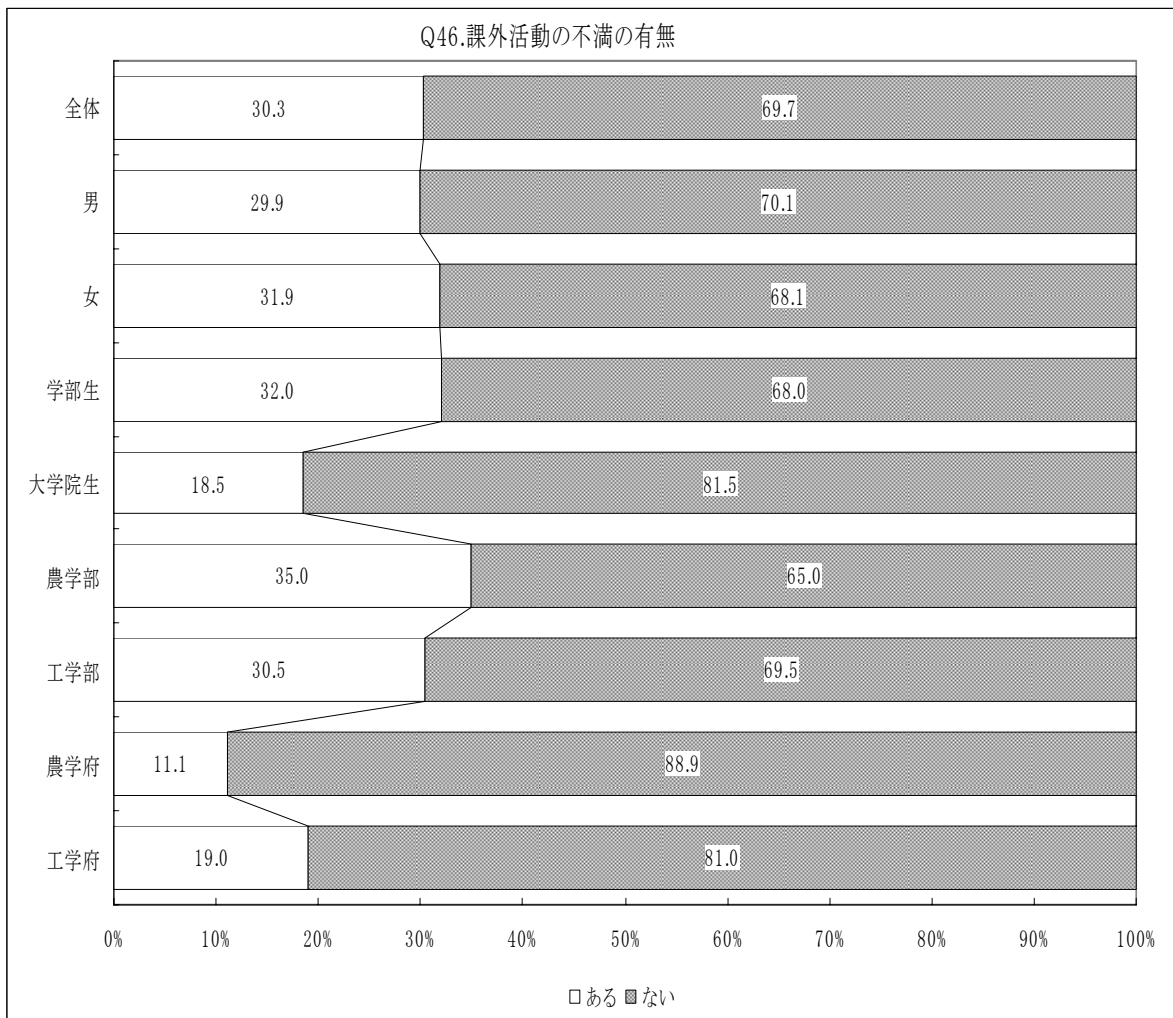
#### 45. サークル平均活動時間/週

全回答数は1,571件で、1時間未満275件(17.5%)、1時間～5時間未満566件(36.1%)、5時間～10時間未満409件(26.0%)、10時間以上321件(20.4%)であった。この結果は、前回第5回の調査結果とほぼ同じであった。学部・学府・男女における割合分布においても前回の結果を再現するものであった。



#### 4 6. 課外活動の不満の有無

全回答数は1,569件で、課外活動全般に対する不満がある476件(30.3%)、不満がない1093件(69.7%)であった。不満の有無の割合は、男(29.9%)女(31.9%)間でほとんど変わらない。しかし、学部生(32%)は大学院生(18.5%)より不満を持つ割合が高い。

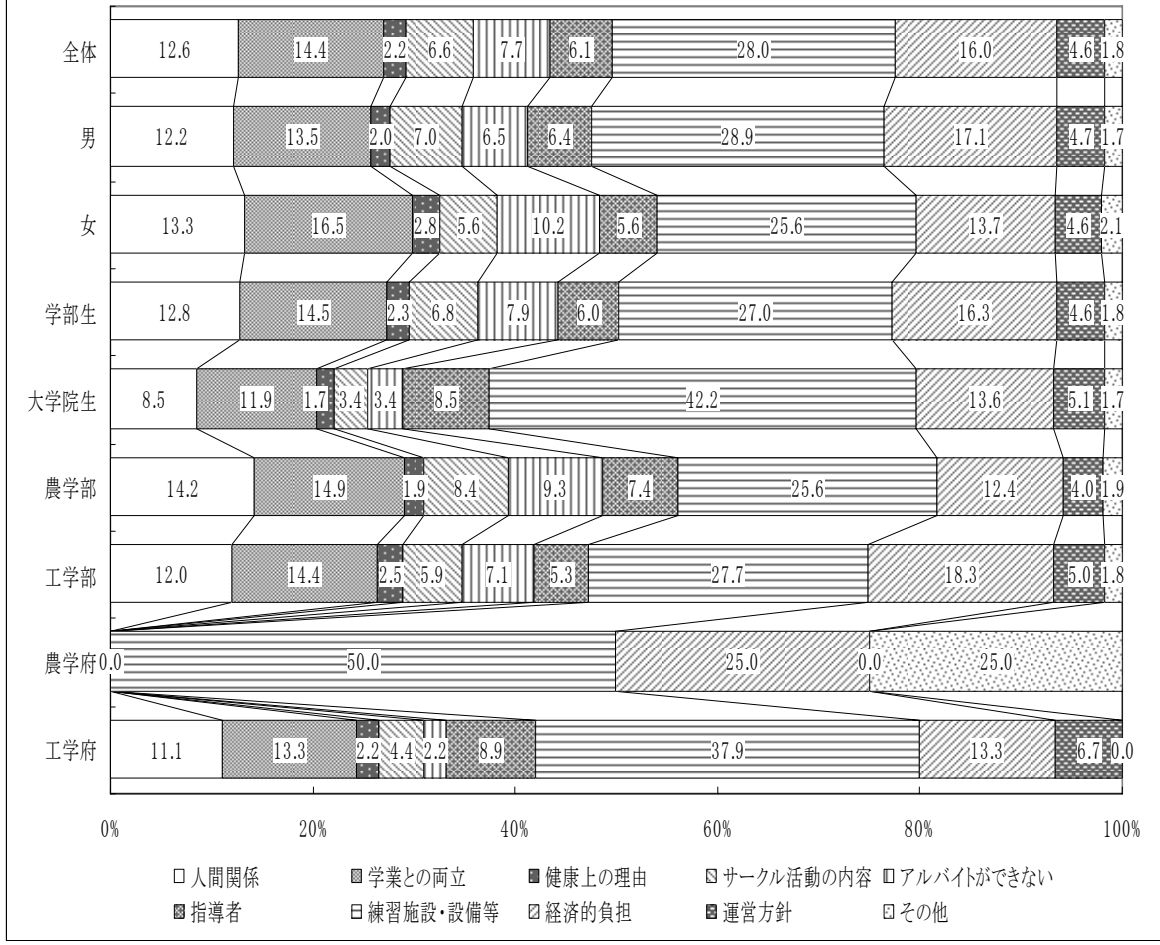


## 4.7. 課外活動の不満の内容

課外活動における不満の内容としては、人間関係 125 件(12.6%)、学業との両立 143 件(14.4%)、健康上の理由 22 件(2.2%)、サークル活動の内容 65 件(6.6%)、アルバイトができない 76 件(7.7%)、指導者 81 件(6.1%)、練習施設設備等 277 件(28%)、経済的負担 159 件(16%)、運営方針 46 件(4.6%)、その他 18 件(1.8%)であった。不満内容の総件数(992 件)が、Q46 で不満と回答した 476 件より多いのは、この設問では複数回答可としたためである。平均すると、一人当たり 2 つの内容に不満があると回答していることになる。不満内容の回答件数のトップ 3 は、多い方から練習施設設備等、経済的負担、学業との両立の順である。これは、前回第 5 回の調査と同じ順位である。前回の調査と比べ、練習施設設備等と人間関係における不満がそれぞれ 1.7 ポイント、2.6 ポイント微増している。逆に、経済的負担と学業との両立に関しては、それぞれ 4.1 ポイント、3.6 ポイント減少している。特に人間関係に関する不満は、前々回と比べた前回の調査報告でも増加傾向にあることが指摘されており、今回の調査でも同じ傾向のままであった。人間関係に関する不満の増加傾向は、男女・学部大学院を問わず見られるが、特に、女性と大学院生における人間関係における不満が増加しているように思われる(前回に比べ女性は 1.60 倍、学府は 1.67 倍)。

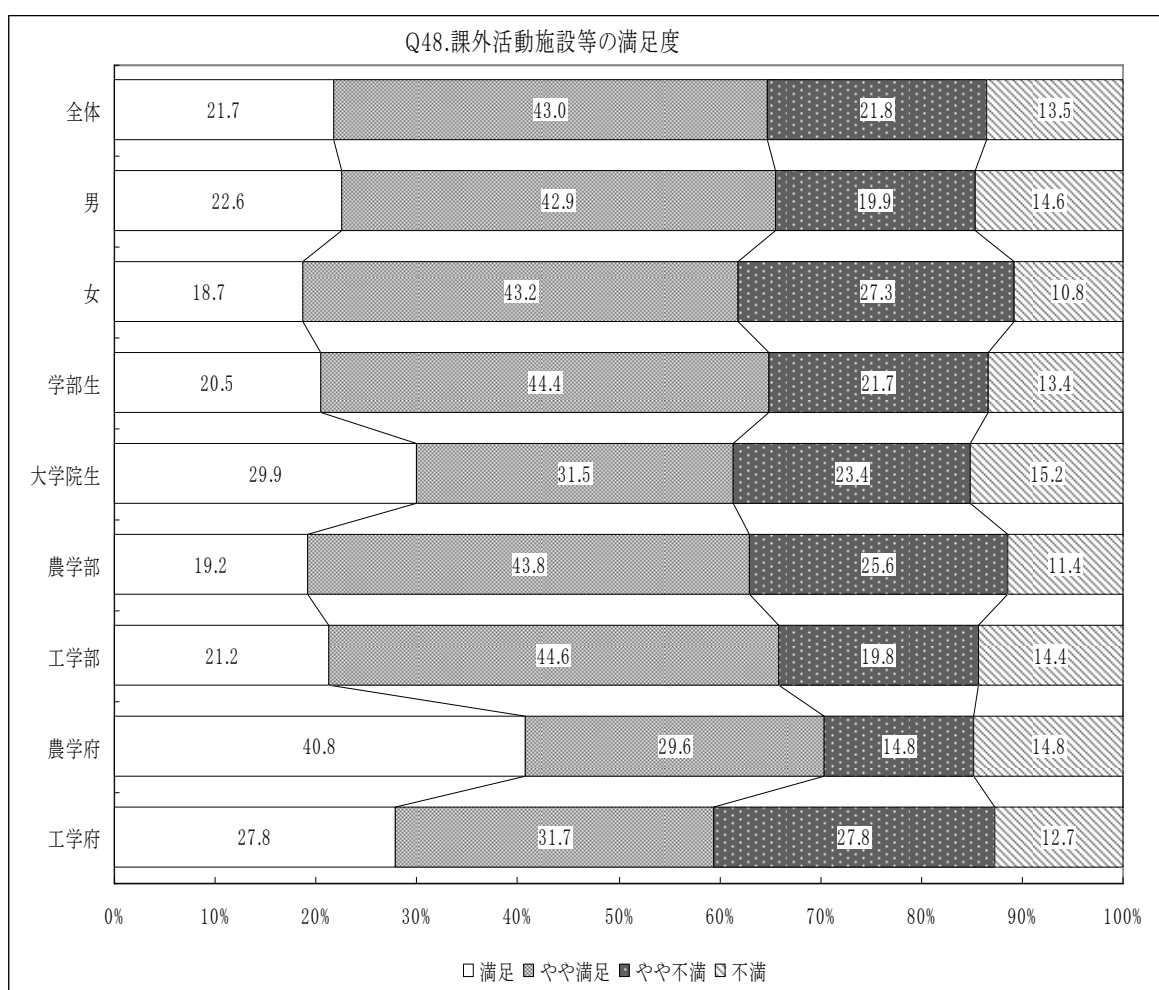
	合計	人間関係	学業との両立	健康上の理由	サークル活動の内容	アルバイトができない	指導者	練習施設・設備等	経済的負担	運営方針	その他
全体	100.0	12.6	14.4	2.2	6.6	7.7	6.1	28.0	16.0	4.6	1.8
男	100.0	12.2	13.5	2.0	7.0	6.5	6.4	28.9	17.1	4.7	1.7
女	100.0	13.3	16.5	2.8	5.6	10.2	5.6	25.6	13.7	4.6	2.1
学部生	100.0	12.8	14.5	2.3	6.8	7.9	6.0	27.0	16.3	4.6	1.8
大学院生	100.0	8.5	11.9	1.7	3.4	3.4	8.5	42.2	13.6	5.1	1.7
農学部	100.0	14.2	14.9	1.9	8.4	9.3	7.4	25.6	12.4	4.0	1.9
工学部	100.0	12.0	14.4	2.5	5.9	7.1	5.3	27.7	18.3	5.0	1.8
農学府	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	25.0
工学府	100.0	11.1	13.3	2.2	4.4	2.2	8.9	37.9	13.3	6.7	0.0
連合農学研究科	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
BASE	100.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	12.5	62.5	0.0	0.0	0.0
技術経営研究科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
連合獣医学研究科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Q47.課外活動の不満の内容



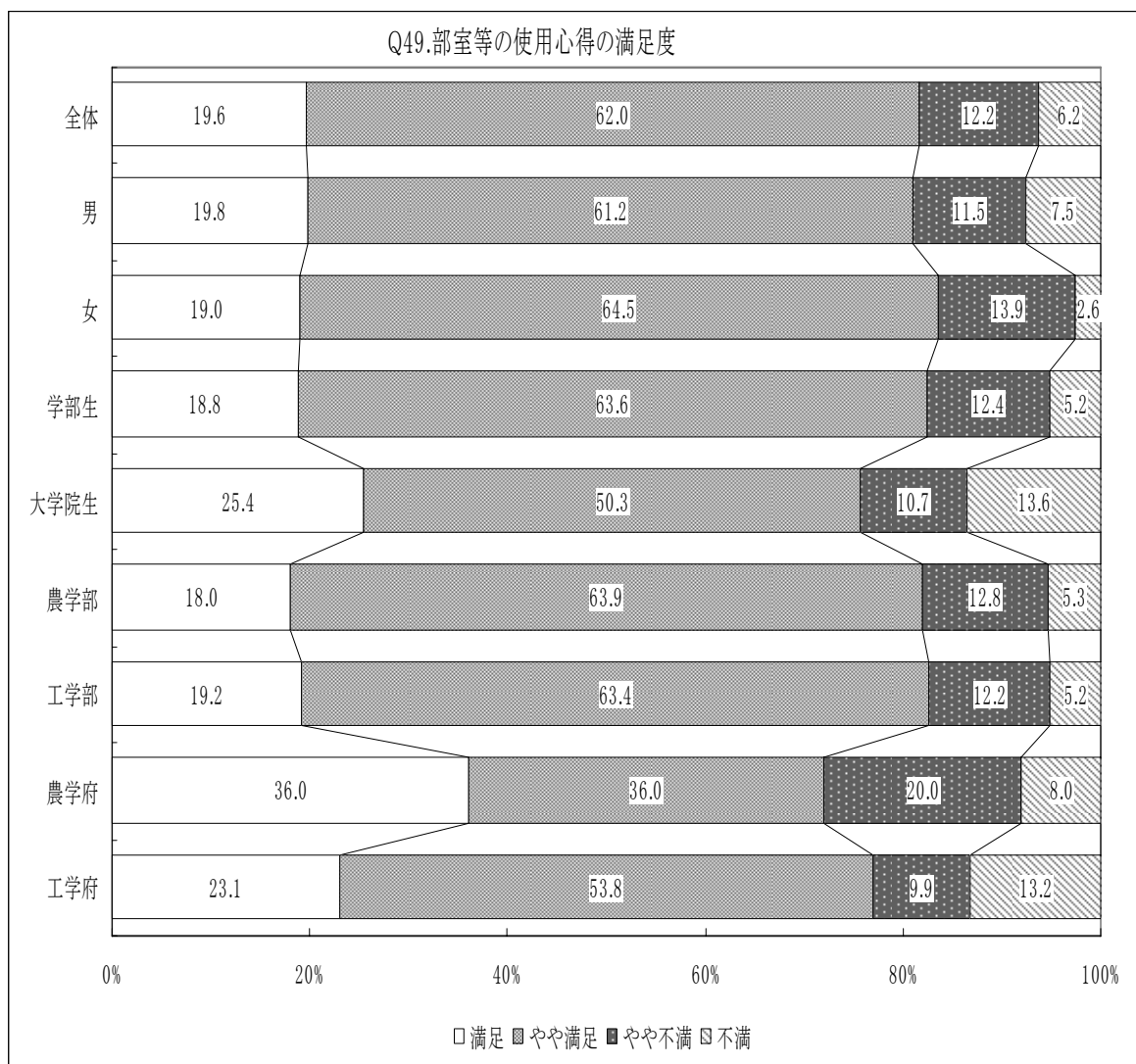
## 48. 課外活動施設等の満足度

全体的には、現状の課外活動施設等に満足している 337 件 (21.7%)、やや満足している 667 件 (43.0%)、やや不満である 339 件 (21.8%)、不満である 210 件 (13.5%) である。前回第 5 回の調査では、満足している 43%、満足していない 56.5%で満足していないが過半数を上回っていたが、今回は満足とやや満足を合わせると 64.7%、やや不満と不満を合わせると 35.3%となり、満足度が向上していると思われる。要望・意見として、工学部グラウンドにナイター設備の設置、部室の数と広さなどサークル棟の改善に関する要望が非常に多かった。その他、体育館等利用施設の利用時間の延長、サークル棟の環境(汚い)の改善等、課外活動施設に関しては 200 件以上の意見・要望が出されており、改善が望まれる。サークル棟が汚い等の環境改善に関する意見については、自分たちの使用場所を自分たちで改善するとの自覚が少ないととれる。



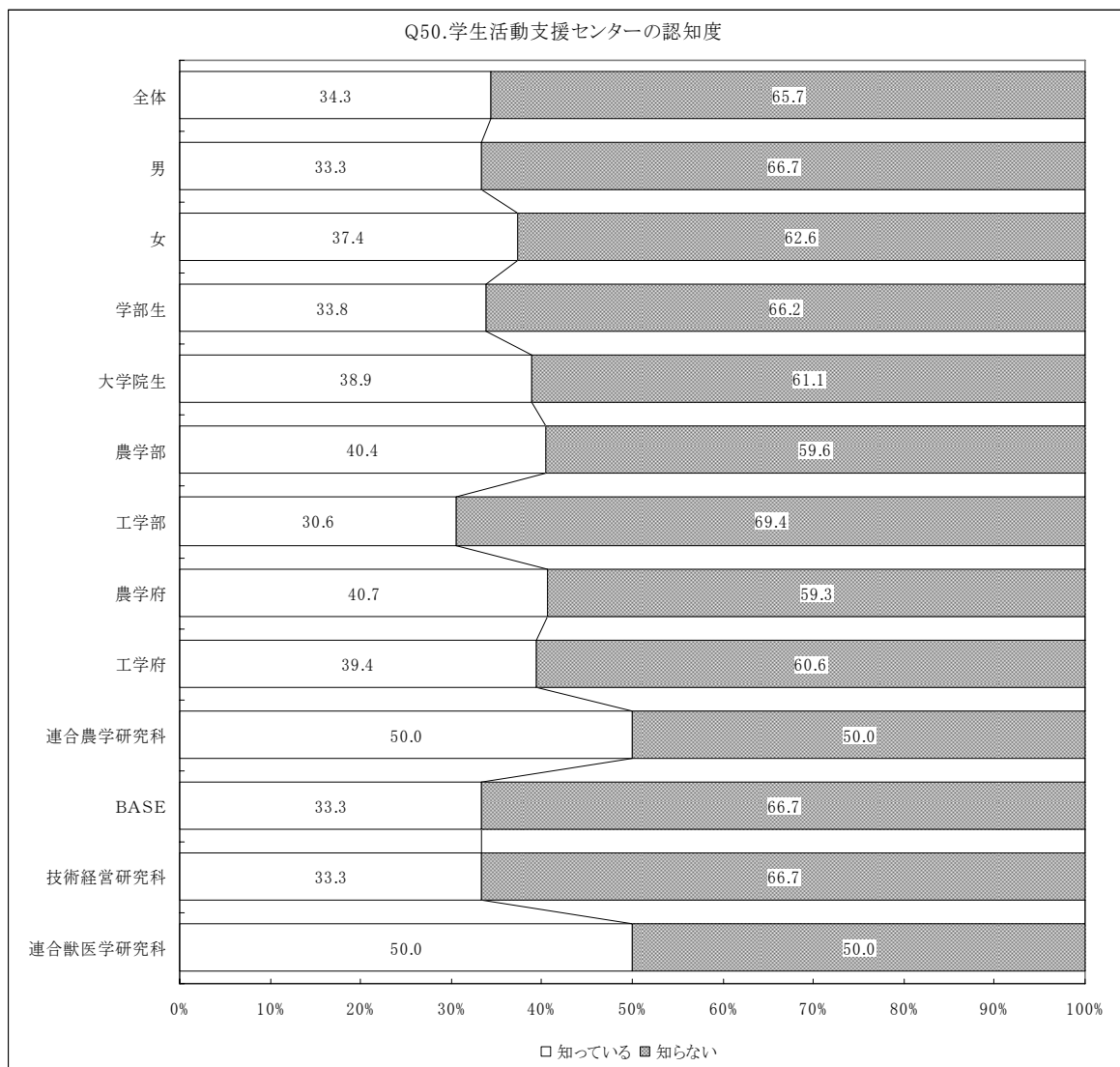
#### 49. 部室等の使用心得の満足度

この調査は今回初めて行われたものである。全体として、満足している 295 件 (19.6%)、やや満足している 932 件 (62%) を合わせ 80%以上が現状の部室等の使用心得に不満を持っていないが、やや不満である 183 件 (12.3%)、不満である 93 件 (6.2%) を合わせて約 20%が現状に不満を感じている。これは、男女・学部を問わずほとんど同じである。要望・意見としては、部室の利用時間、飲み会時間の制限の緩和に関する意見が多かった。この項目に関する意見は 40 件強あった。



## 50. 学生活動支援センターの認知度

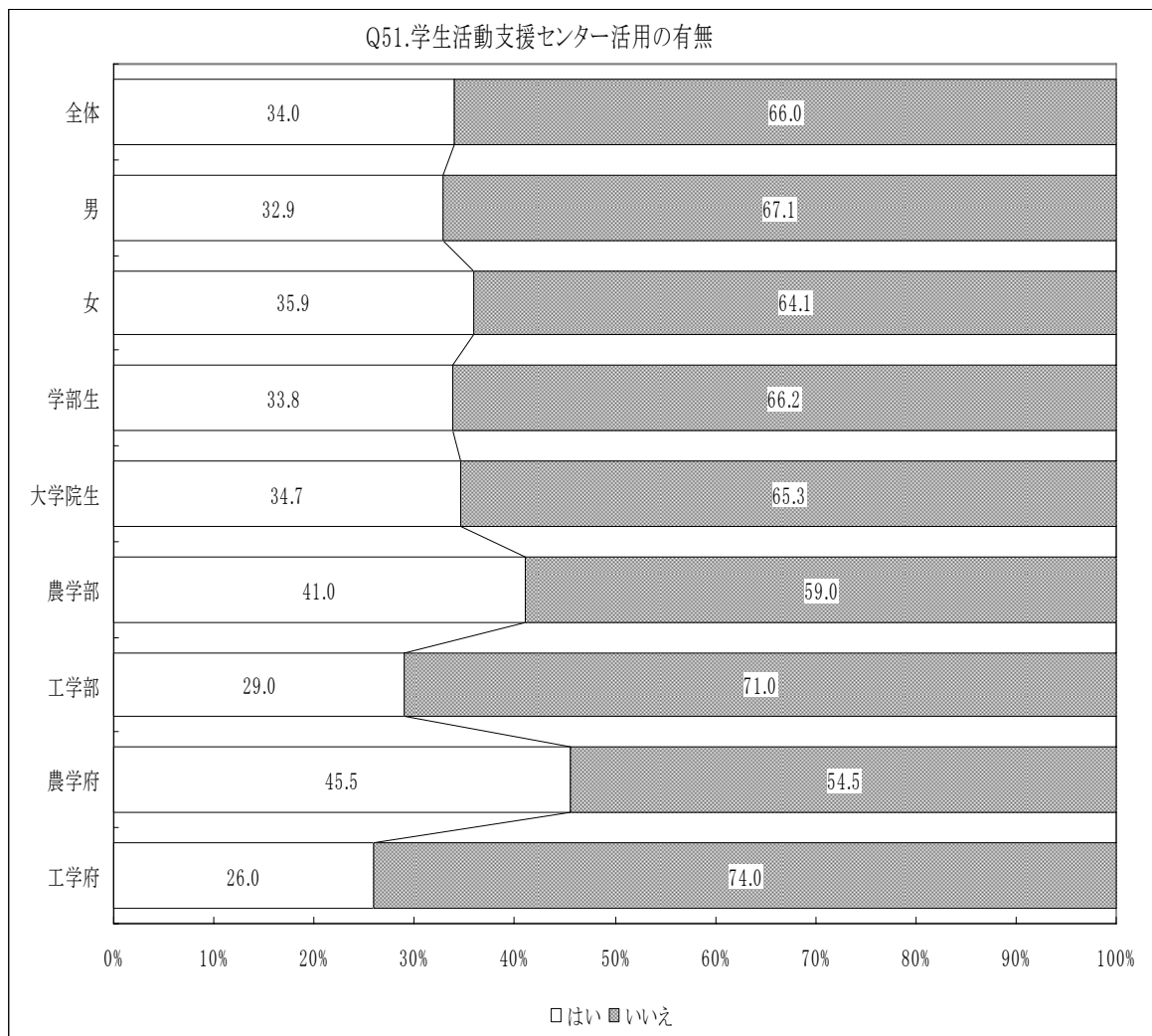
学生活動支援センターを知っている539件(34.3%)、知らない1031件(65.7%)で、同センターは全体の3分の2で認知されていないという結果であった。





## 5 1. 学生活動支援センター活用の有無

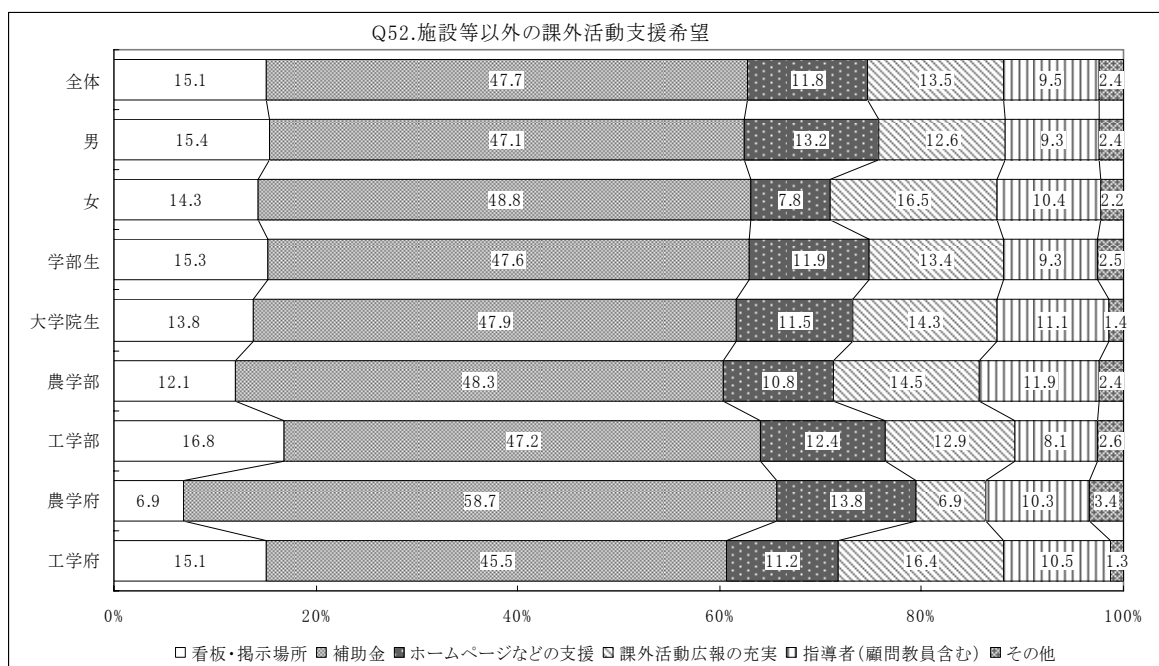
Q50 で学生活動支援センターを知っていると答えた者の内、182 件（34%）が同センターを活用しているとの結果であった。



## 5 2. 施設等以外の課外活動支援希望

全回答数は1,727件で、支援希望項目ごとに見ると、看板掲示場所261件(15.1%)、補助金824件(47.7%)、ホームページなどの支援204件(11.8%)、課外活動広報の充実233件(13.5%)、指導者(顧問教員含む)164件(9.5%)、その他41件(2.4%)であった。前回の第5回調査と比べると、補助金の支援が6ポイント減少し、看板掲示場所・ホームページなどの支援・課外活動広報は、それぞれ2.8ポイント、1.4ポイント、1.6ポイントの微増である。

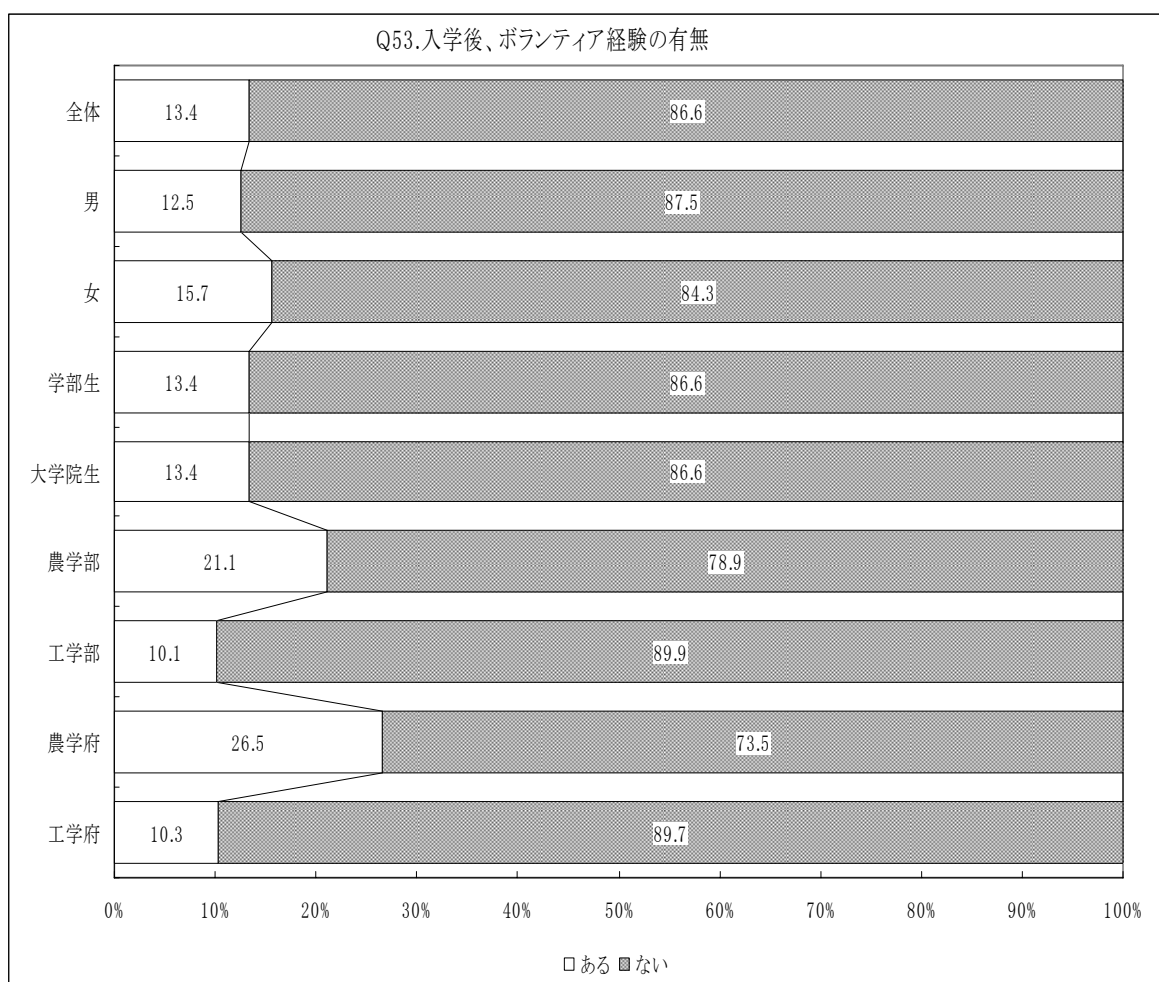
	合計	看板・掲示場所	補助金	ホームページなどの支援	課外活動広報の充実	指導者(顧問教員含む)	その他
全体	100.0	15.1	47.7	11.8	13.5	9.5	2.4
男	100.0	15.4	47.1	13.2	12.6	9.3	2.4
女	100.0	14.3	48.8	7.8	16.5	10.4	2.2
学部生	100.0	15.3	47.6	11.9	13.4	9.3	2.5
大学院生	100.0	13.8	47.9	11.5	14.3	11.1	1.4
農学部	100.0	12.1	48.3	10.8	14.5	11.9	2.4
工学部	100.0	16.8	47.2	12.4	12.9	8.1	2.6
農学府	100.0	6.9	58.7	13.8	6.9	10.3	3.4
工学府	100.0	15.1	45.5	11.2	16.4	10.5	1.3
連合農学研究科	100.0	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0
BASE	100.0	8.7	56.6	13.0	8.7	13.0	0.0
技術経営研究科	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
連合獣医学研究科	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0



## 第Ⅶ章 ボランティア活動

### 5 3. 入学後、ボランティア経験の有無

全回答数は3,099件で、その内訳は、ある416件(13.4%)、ない2683件(86.6%)である。全体としては、前回第5回の調査とほぼ同じ結果である。男女間では女性が3.2ポイント、学部間では農学部が11ポイント、学府では農学府が16.2ポイント多い。農学系が工学系よりも学部・学府共に2倍以上の比率でボランティア活動経験を持っている。前回の調査でも同様の傾向が見られている。

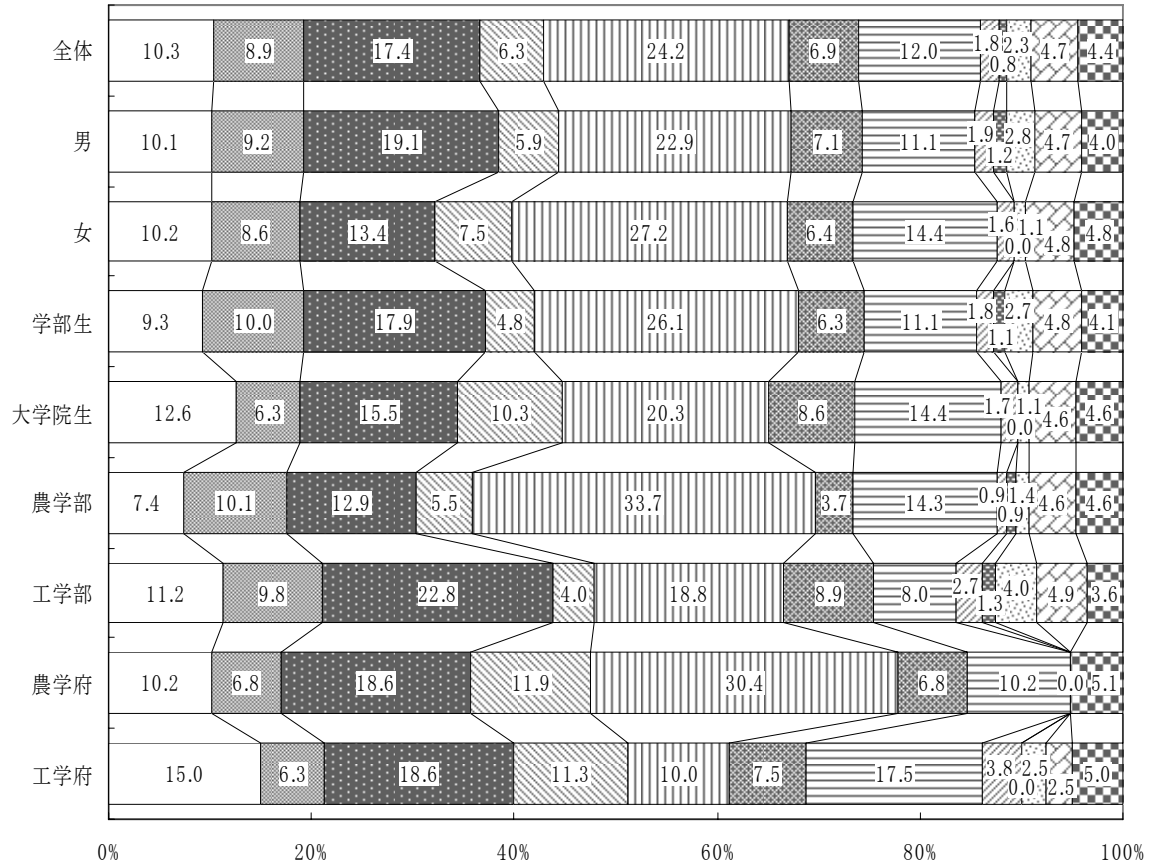


## 5.4. ボランティア活動の内容

Q53 でボランティア経験のある 416 件の活動の内容を調査したものであるが、全体で 619 件の回答なので、一人平均約 1.5 件の活動を行っていることになる。その内容の中で件数が多かったものから順にあげると、自然環境保全に関する活動で 150 件 (24.2%)、次が体育・スポーツ・文化に関する活動で 108 件 (17.4%)、社会福祉に関する活動 74 件 (12%)、公共施設での活動 64 件 (10.3%)、青少年健全育成に関する活動 55 件 (8.9%)、他と続く。前回の第 5 回調査と比較すると、前回の 732 件から今回 619 件と全回答総数で 113 件減少している。活動内容間の比率については、多少変動があるものの、回答件数の多い順番は青少年健全育成に関する活動と公共施設での活動が入替わるなどしているが、他について変わっていない。

	全体	男	女	学部生	大学院生	農学部	工学部	農学府	工学府	連合農学 研究科	B A S E	技術経営 研究科	学 連 合 研 究 科 獣 医
合計	619	425	187	441	174	217	224	59	80	20	11	3	1
公共施設での活動(公民館・博物館での説明員等)	64	43	19	41	22	16	25	6	12	3	1	0	0
青少年健全育成に関する活動(ボーイ・ガールスカウト活動、子供会等)	55	39	16	44	11	22	22	4	5	1	1	0	0
体育・スポーツ・文化に関する活動(スポーツ・リクリエーション指導、まつり、学校でのクラブ活動における指導等)	108	81	25	79	27	28	51	11	15	0	1	0	0
人々の学習活動に関する指導、助言、運営協力などの活動(料理、英語、書道等ける指導等)	39	25	14	21	18	12	9	7	9	1	1	0	0
自然・環境保護に関する活動(環境美化、自然解説、リサイクル活動等)	150	98	51	115	35	73	42	18	8	6	2	1	0
国際交流(協力)に関する活動(通訳・難民援助・技術援助・留学生援助等)	43	30	12	28	15	8	20	4	6	4	1	0	0
社会福祉に関する活動(老人や障害者等に対する介護、身のまわりの世話、給食、保育等)	74	47	27	49	25	31	18	6	14	0	2	2	1
保健・医療・衛生に関する活動(病院ボランティア等)	11	8	3	8	3	2	6	0	3	0	0	0	0
交通安全に関する活動(子供の登下校時の安全監視等)	5	5	0	5	0	2	3	0	0	0	0	0	0
自主防災活動や災害援助活動	14	12	2	12	2	3	9	0	2	0	0	0	0
募金活動、チャリティーバザー	29	20	9	21	8	10	11	0	2	4	2	0	0
その他	27	17	9	18	8	10	8	3	4	1	0	0	0

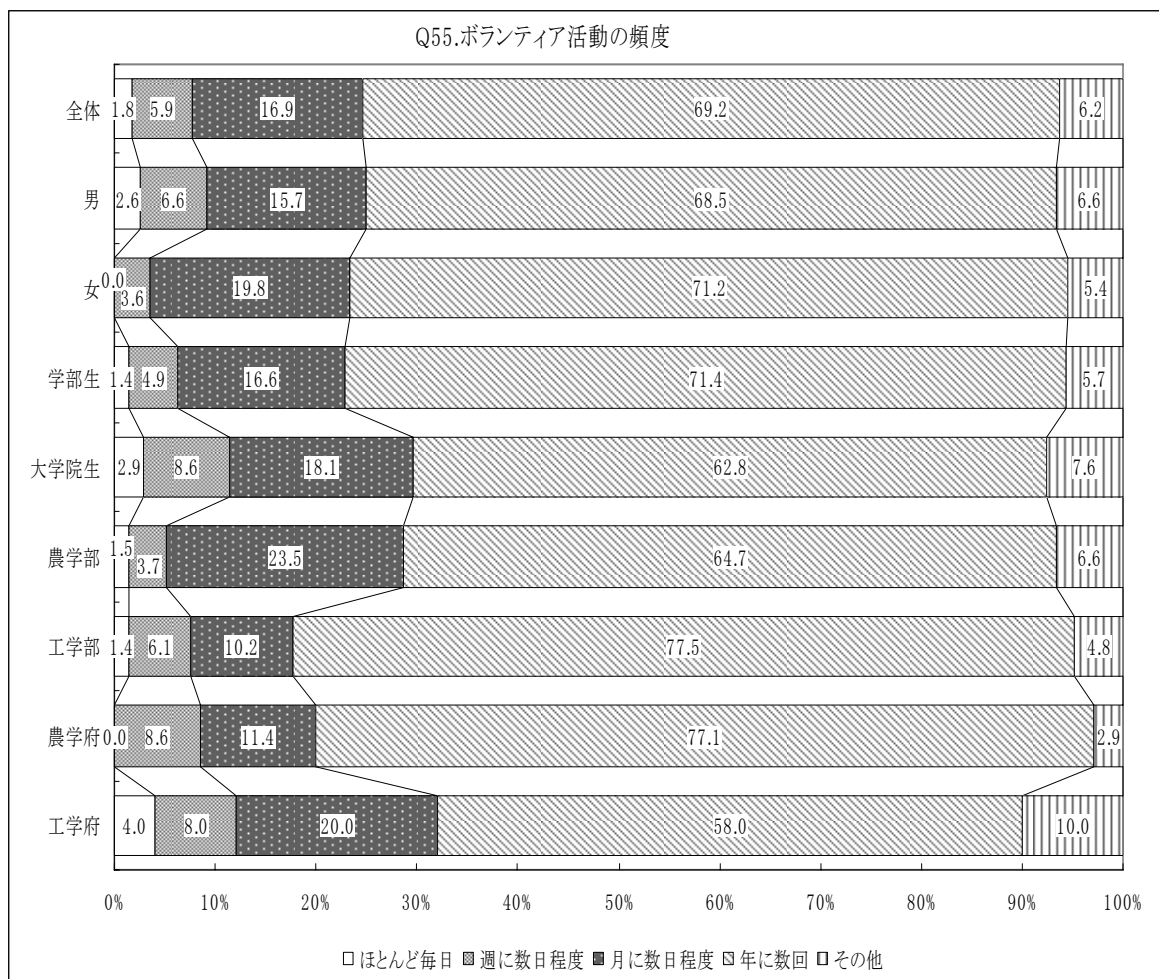
Q54.ボランティア活動の内容



- 公共施設での活動(公民館・博物館での説明員等)
- 青少年健全育成に関する活動(ボーイ・ガールスカウト活動、子供会等)
- 体育・スポーツ・文化に関する活動(スポーツ・リクリエーション指導、まつり、学校でのクラブ活動における指導等)
- ▨ 人々の学習活動に関する指導、助言、運営協力などの活動(料理、英語、書道等ける指導等)
- 自然・環境保護に関する活動(環境美化、自然解説、リサイクル活動等)
- 国際交流(協力)に関する活動(通訳・難民援助・技術援助・留学生援助等)
- ☐ 社会福祉に関する活動(老人や障害者等に対する介護、身のまわりの世話、給食、保育等)
- ▨ 保健・医療・衛生に関する活動(病院ボランティア等)
- 交通安全に関する活動(子供の登下校時の安全監視等)
- 自主防災活動や災害援助活動
- 募金活動、チャリティーバザー
- その他

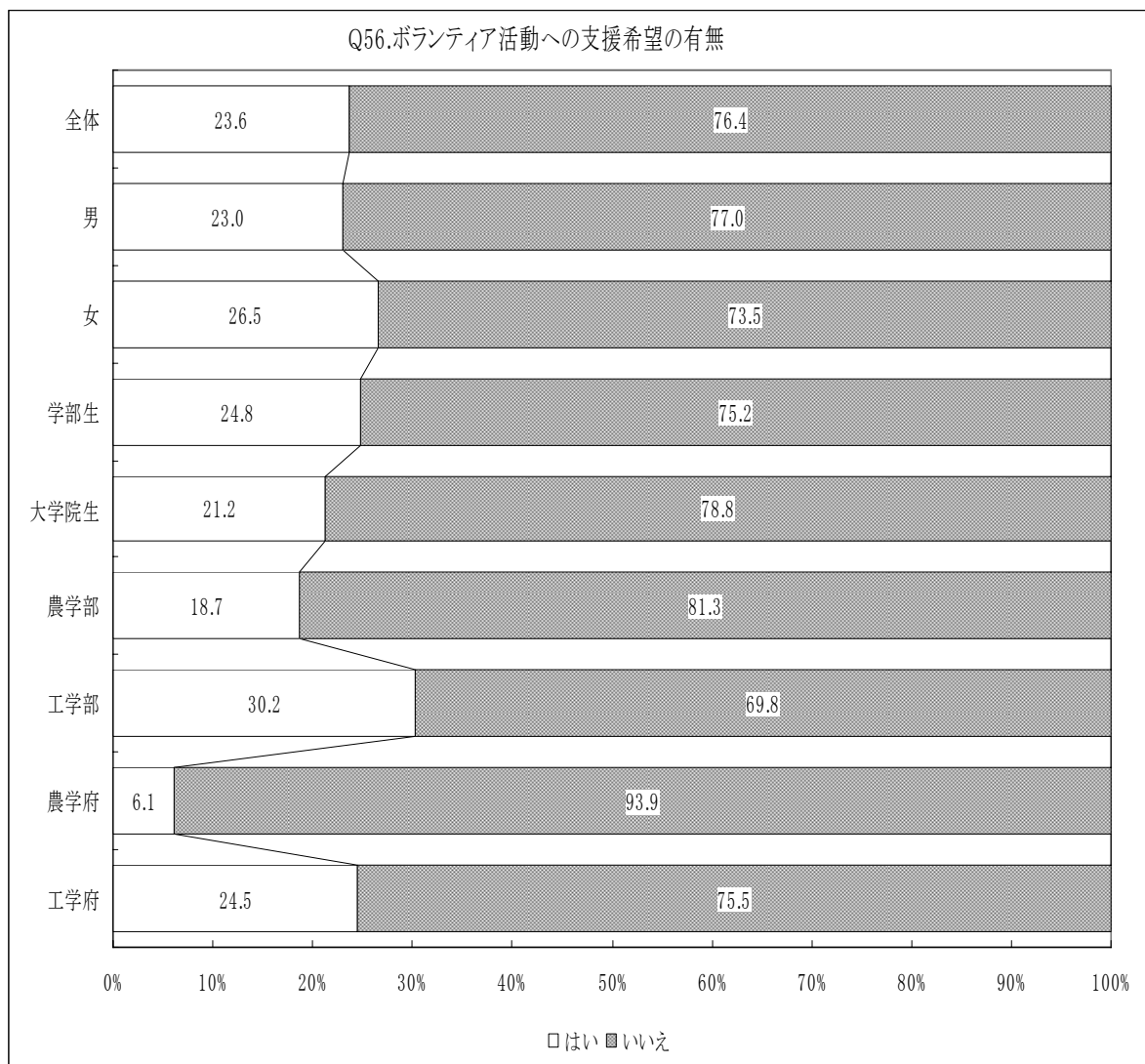
## 5.5. ボランティア活動の頻度

ボランティア活動の頻度としては、ほとんど毎日7件(1.8%)、週に数日程度23件(5.9%)月に数回程度66件(16.9%)、年に数回270件(69.2%)、その他24件(6.2%)である。前回第5回の調査とくらべると、ほとんど毎日、週に数日程度の頻度が合わせて3.8ポイント減少し、年に数回が7.6ポイント増加している。ボランティア活動に参加している総数の減少に加え、その頻度も減少している傾向にある。



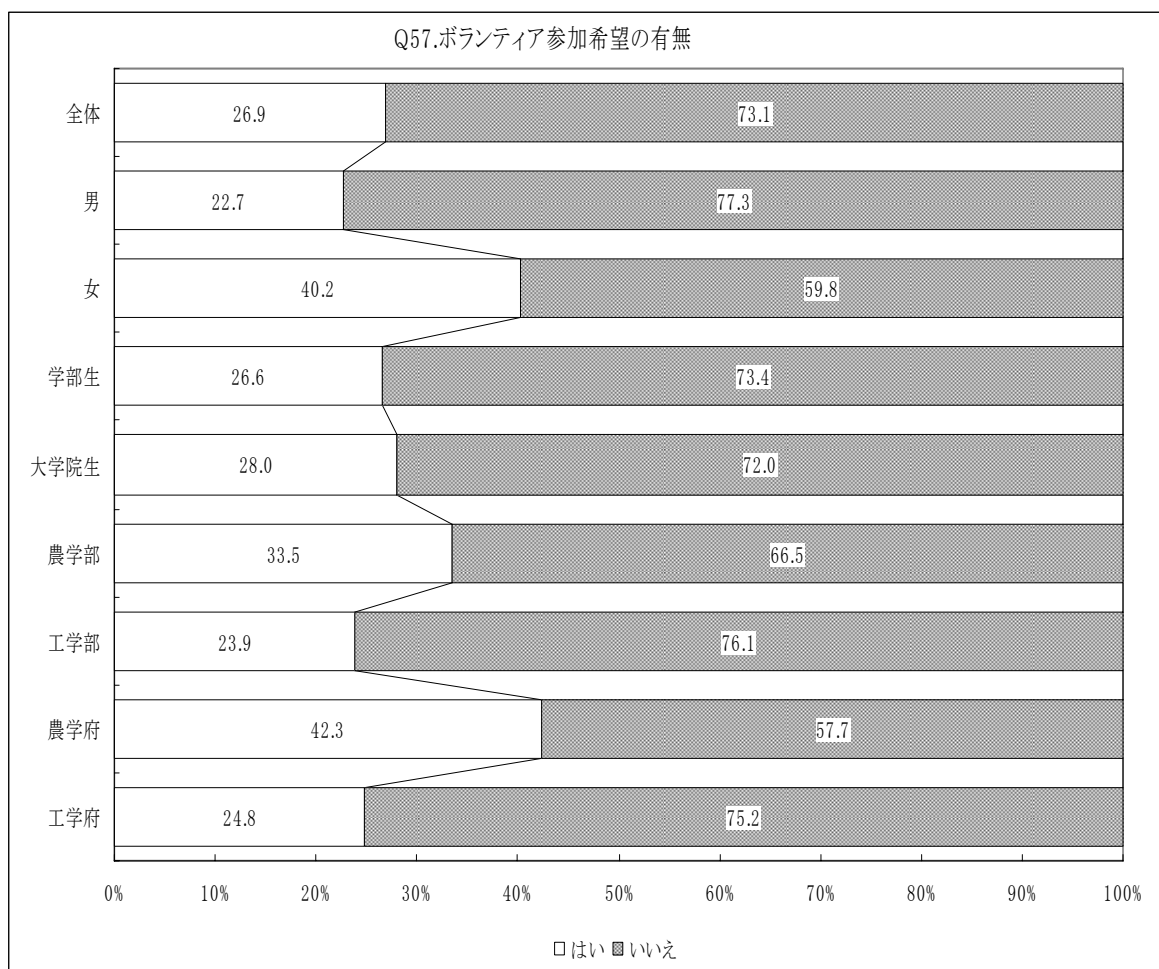
## 5 6. ボランティア活動への支援希望の有無

全回答数は364件で、支援希望有り86件(23.6%)、無し278件(76.4%)であった。この問いへの回答は、ボランティア活動経験のある者(416件)からのものと考えられるが、支援を希望している者が4人に1人いると考えられる。言い換えると、Q53のボランティア活動経験の有無への回答者が3099件であったが、その2.8%が何らかの支援を希望しているとの結果であった。



## 57. ボランティア参加希望の有無

全回答数は2,615件で、その内訳は、はい704件(26.9%)、いいえ1911件(73.1%)であった。女性・農学系学生の方が男性・工学系の学生に比べるとボランティア活動参加希望者の比率が前回の第5回の調査と同様に高い。しかし、前回の調査では、積極的に参加したいと機会があれば参加したいを合わせると、回答者の64.5%が参加を希望していたが、この結果と比べると、今回の結果は、全体としてボランティア活動への参加に消極的になっていることを示している。





## 第Ⅷ章 学生生活

### 58. 学生生活上の悩み

学業・研究と進路・就職問題は大学生の悩みの2大テーマである。実際、悩みの強い順に第4位まで複数回答を求めた結果は以下の通りであった。

#### <第1位の悩み>

悩みの強さの第1位は、(1)「学業・研究」34.0% (前回33.7%)、(2)「進路・就職」30.2% (26.4%)、(3)「経済事情」5.2% (5.7%)、(4)「対人関係」4.5% (6.2%)、(5)「精神健康(不安、憂うつ等)」2.8% (3.4%)、(6)「身体健康(体調不調、不眠等)」2.7% (3.3%)、(7)「学内の課外活動(サークル等)」2.3% (1.7%)、(8)「学外の活動(アルバイト等)」2.2% (2.0%)、(9)「その他」0.5% (0.6%)、「何も悩みがない」11.3% (15.2%)、無回答4.2% (1.9%)であった。「その他」には、Japanese Language、仕事との両立、仕事内容、通学、恋、などがある。

「精神健康」と「身体健康」を『心身健康問題』とまとめると5.5% (6.7%)となり第3位を占める。図表の数値と若干異なるのは、前回と比較するため無回答を含めたからである。図表の数値は、全回答数3,138件のうち無回答133件を差し引いた3,005件の有効回答から算出したものである。回答総数は7,557なので、平均1人当たり2.5個の悩みをあげたことになる。

前回と比較すると、「進路・就職」が4ポイント高くなり(就職不況の反映であろう)、性差がなくなったことである。前回調査では、「進路・就職」の悩みについて女子が男子より7ポイント高かった(男子25.2%、女子32.0%)のであるが、その差がほぼ見られない(男子31.4%、女子31.9%)。

所属・学年別を比較する。(注：カッコ内は無回答を除いた割合。連合獣医学研究科、獣医学科5,6年、技術経営研究科、留学生からの回答数は少ないので集団間の比較に適さず、またそれぞれの集団の特徴とも言いがたいため図から除いてある。)

「学業・研究」(全体35.5%)：学業・研究の悩みでは、大学院生(39.0%)が学部生(34.3%)より5ポイント高く、工学部(37.3%)が農学部(27.3%)より、工学府(41.0%)が農学府(31.3%)よりそれぞれ10ポイント高かった。連合農学研究科も42.8%と高い。学部学年別では、1年(42.2%)と4年(35.9%)が高く、3年(25.5%)が低い。修士課程では、1年(27.4%)に比し、2年(47.3%)は20ポイントも高い。研究生活中心の博士課程では、半数が学業・研究を悩みの第1位と回答したのはごく自然なことである。

「進路・就職」(全体31.5%)：進路・就職の悩みでは、学部と大学院の差はないが、農学部(35.0%)が工学部(29.5%)より5ポイント、農学府(40.0%)が工学府(34.1%)より6ポイント高い。連合農学研究科は22.2%と低い。学部の学年別では、1年(13.3%)は低く、3年(50.3%)がもっとも高く、半数が悩みの1位にあげたが、4年(29.7%)は3年より20ポイント低い。大学院でも同様で、修士2年(17.5%)は修士1年(50.8%)より33ポイントも低い。調査時期(11月)と関係していると思われる。

「健康問題」(全体5.8%)：健康問題の悩みに所属・学年差はあまり認められない。

「経済事情」(全体5.4%)：経済事情の悩みでは、学部4年(9.1%)、BASE(7.8%)が高い。

「対人関係」(全体4.7%)：対人関係の悩みで特記すべきは、博士1年(0.0%)、2年(9.3%)、3年(10.4%)と、博士課程では年次が上がるに伴い割合が高くなる傾向がある。

「何も悩みがない」(全体11.8%)：悩みなしと回答した割合を比較すると、農工、学部大学院でとく

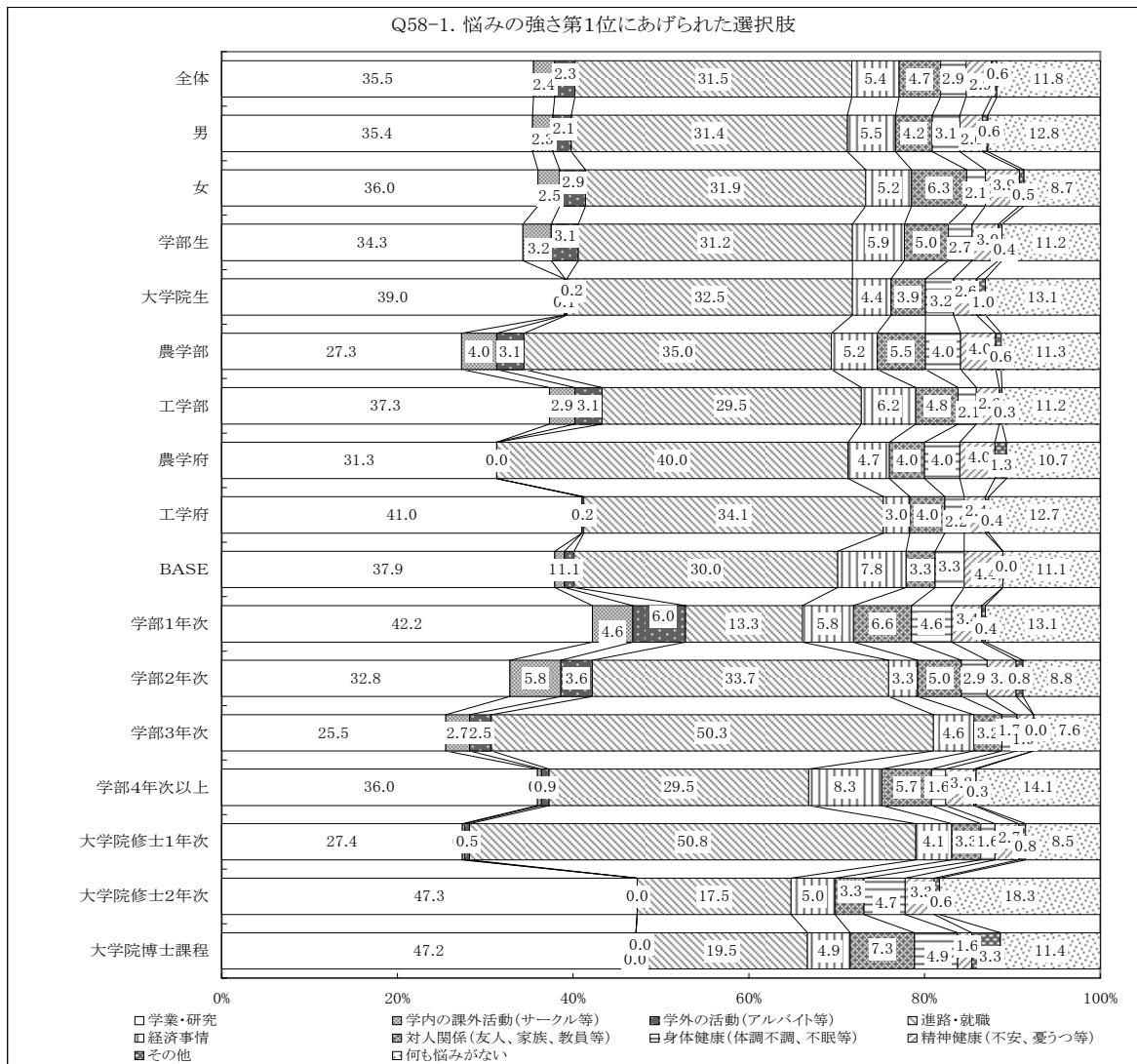
に差は認められない。連合農学研究科が 16.7%と高い。学年で見ると高いのは、修士 2 年 (18.3%)、大学院博士 3 年 (16.7%) であり、逆に低いのは、学部 3 年 (7.6%)、修士 1 年 (8.5%)、博士 2 年 (7.0%) である。

<悩みの種類：総合>

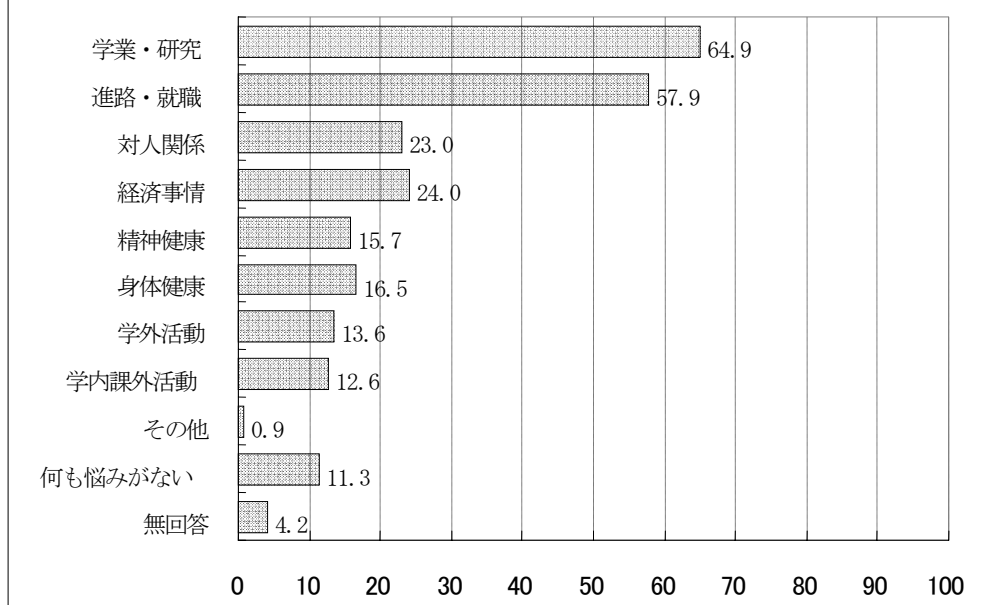
第 4 位までに選択された悩みの回答率を計算すると、①「学業・研究」64.9% (61.5%)、②「進路・就職」57.9% (52.6%)、③「心身健康問題」32.2% (36.4%) 《「身体健康」16.5% (17.9%)、「精神健康」15.7% (18.5%)》、④「経済事情」24.0% (22.4%)、⑤「対人関係」23.0% (25.7%)、⑥「学外の活動」13.6% (12.2%)、⑦「学内の課外活動」11.7% (9.5%)、⑧「その他」0.9% (1.2%) である。第 2 位以下の「その他」記載欄には、日本語、金銭問題、恋愛問題、通学時間、自分自身の性格、などがある。

Q58-1. 悩みの強さ第1位にあげられた選択肢											
	合計	学業・研究	学内の課外活動	学外の活動	進路・就職	経済事情	対人関係	身体健康	精神健康	その他	何も悩みがない
全体	3005	1068	72	69	947	163	141	86	88	17	354
男	2224	791	51	47	698	122	93	68	57	13	284
女	762	274	19	22	243	40	48	16	30	4	66
学部生	2148	737	69	67	670	126	108	57	65	8	241
大学院生	840	327	1	2	273	37	33	27	22	8	110
農学部	655	179	26	20	230	34	36	26	26	4	74
工学部	1493	558	43	47	440	92	72	31	39	4	167
農学府	150	47	0	0	60	7	6	6	6	2	16
工学府	498	204	0	1	170	15	20	11	12	2	63
連合農学研究科	42	18	0	0	6	4	3	2	0	2	7
BASE	90	34	1	1	27	7	3	3	4	0	10
技術経営研究科	42	15	0	0	6	2	0	4	0	2	13
連合獣医学研究科	18	9	0	0	4	2	1	1	0	0	1
学部1年次	503	213	23	30	67	29	33	23	17	2	66
学部2年次	521	171	30	19	176	17	26	15	17	4	46
学部3年次	475	121	13	12	239	22	15	8	9	0	36
学部4年次以上	635	228	3	6	188	55	33	9	20	2	91
大学院修士1年次	365	100	1	2	185	15	12	6	10	3	31
大学院修士2年次	361	171	0	0	63	18	12	17	12	2	66
大学院博士課程	123	58	0	0	24	6	9	6	2	4	14

Q58-1. 悩みの強さ第1位にあげられた選択肢



58. 第4位までに選択された悩みの種類(%)



## 59. 対人関係の悩みの相手

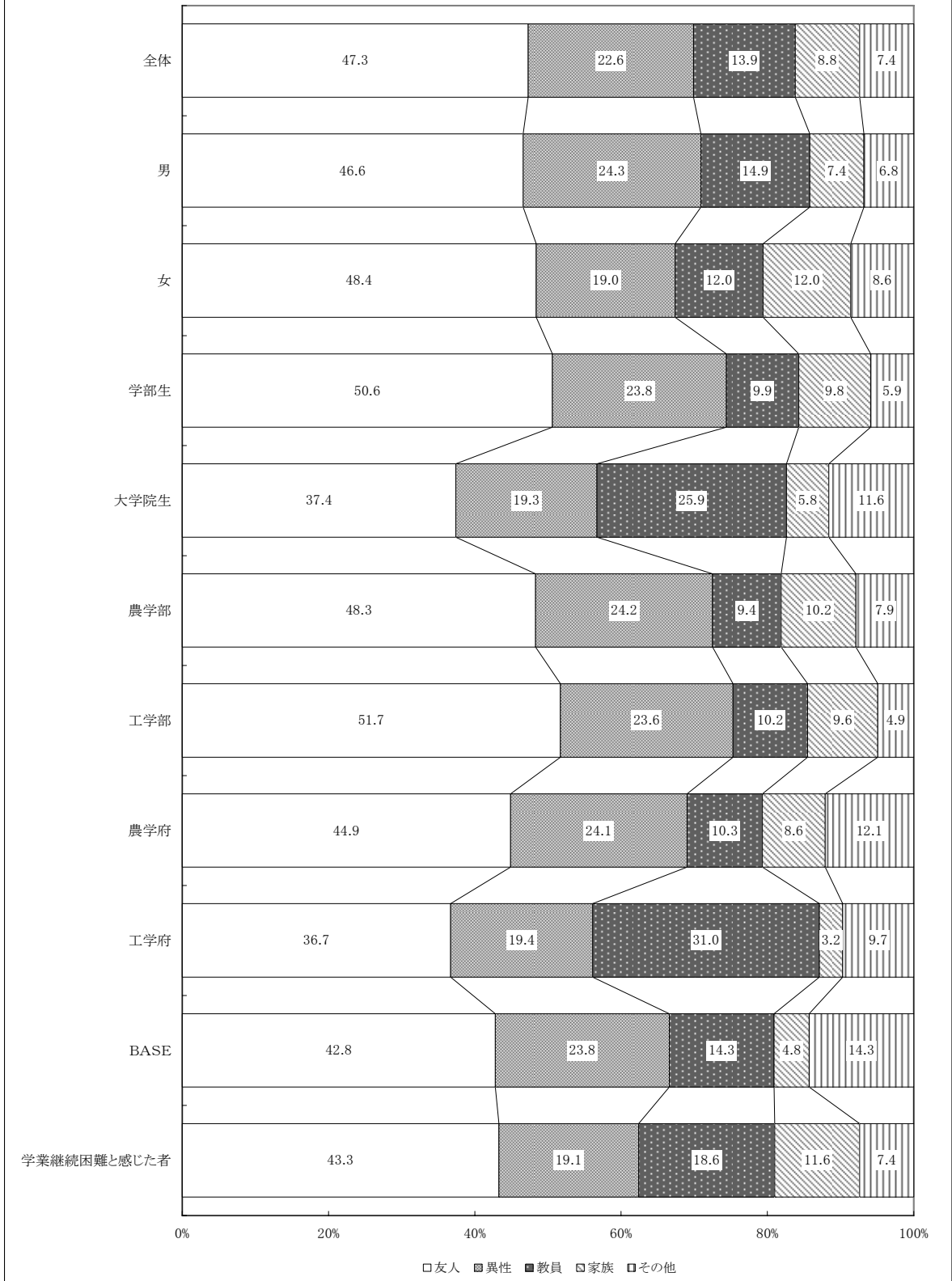
対人関係の悩みをあげた割合は、23.0%であったが、そのうち悩みの相手としては「友人」が最も多く68.3%（前回61.1%）、次に「異性」32.7%（32.9%）、「教員」20.1%（24.9%）、「家族」12.7%（新項目）、「その他」10.6%（11.9%）の順である。その他には、OB、先輩、後輩、研究室の人間、日本人学生があげられている。

友人で悩む割合は女子（20.3%）が男子（14.1%）より高く、家族で悩む割合も女子（5.0%）が男子（2.2%）より高い。異性、教員で悩む割合に男女差は認められない。大学院生が学部生より友人、異性、家族で悩む割合が低くなり、かわりに悩みの相手に教員をあげる割合が学部生より高く（学部生3.4%、大学院生7.7%）なっているのは、個人の成長発達と研究生生活への移行を考えれば当然の結果である。なお、農学部で異性に悩む割合が高く（9.4%）、工学府で教員に悩む割合が高い（9.2%）。

なお、グラフの数値（%）は、回答総数に占める割合であり、表の下方の数値（%）は、素データから算出したのでグラフの数値と異なる。集団間の比較には後者の方が適している。下方の表での出現率は、回答数を回収数で除した概算である。ちなみに全回収数は3,113件、設問58における有効回答数は3,005件である。

Q59.対人関係の悩みの相手						
	合計	友人	異性	教員	家族	その他
全体	1034	489	234	144	91	76
男	707	330	172	105	52	48
女	326	158	62	39	39	28
学部生	774	391	184	77	76	46
大学院生	259	97	50	67	15	30
農学部	265	128	64	25	27	21
工学部	509	263	120	52	49	25
農学府	58	26	14	6	5	7
工学府	155	57	30	48	5	15
BASE	21	9	5	3	1	3
学業継続困難と感じた者	215	93	41	40	25	16

Q59.対人関係の悩みの相手



## 60. 教員をめぐる悩み

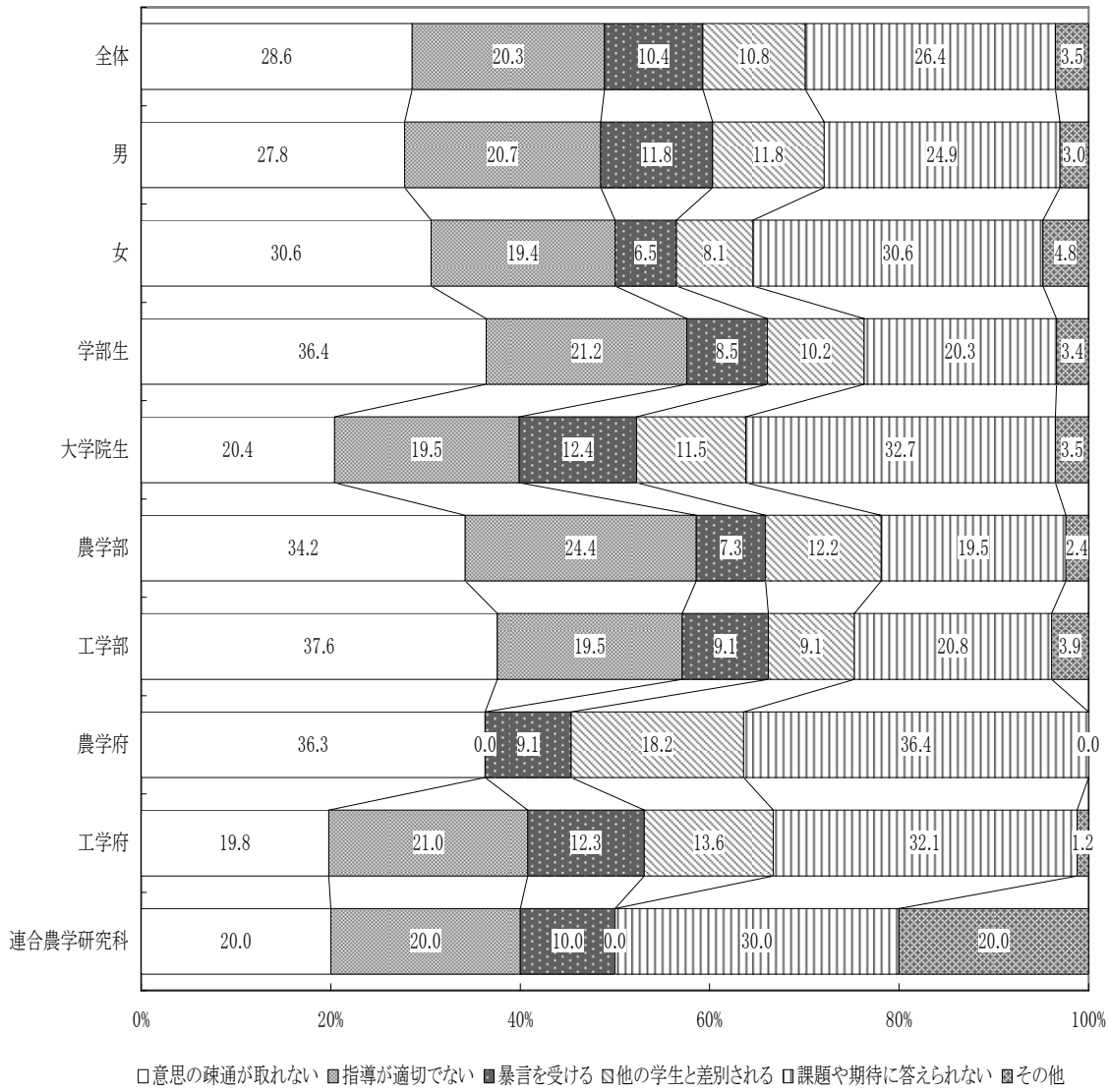
教員は、学生のよき相談相手となる場合（設問 62）も、悩みの相手（設問 59）になる場合もある。無回答を除いた有効回答 3,005 件のうち、設問 58 で対人関係を選択したのは 721 件（24.0%）、その相手に教員を選択したのは 144 件（対人関係のうち 20.0%、全体の 4.8%）である。

231 総数に占める内容の割合では、多い順に「意思の疎通が取れない」66 件（20.3%、前回 29.6%）、「課題や期待に答えられない」61 件（26.4%、前回 18.1%）、「指導が適切でない」47 件（20.3%、前回 29.6%）、「他の学生と差別される」25 件（10.8%、前回 6.6%）、「暴言を受ける」24 件（10.4%、前回 11.8%）、「その他」8 件（3.5%、前回 4.2%）である。訴える内容の割合を前回調査と比較すると、「意思の疎通が取れない」が 9ポイント減、「指導が適切でない」も 9ポイントの減少である。そのかわりに「課題や期待に答えられない」と罪悪感を表す内容が 8ポイントの増である。「その他」記載欄には、希望のテーマ、内容をやらせてもらえない、知識が少ない、放っておいて欲しい、こわい、厳しいなどがある。

対人関係とも、教員とも回答しない無効回答の「その他」記載欄には、過労、残業、給与、達成感のなさ、無計画、辞めたい、ユーモアのひとかけらもない、などがある（約 40 件）。

Q60. 対教員に関する悩み							
注) 数値は、回答者ではなく回答件数合計(複数回答)	合計	意思の疎通 が取れない	指導が適切 でない	暴言を受ける	他の学生と 差別される	課題や期待 に答えられ ない	その他
全体	231	66	47	24	25	61	8
男	169	47	35	20	20	42	5
女	62	19	12	4	5	19	3
学部生	118	43	25	10	12	24	4
大学院生	113	23	22	14	13	37	4
農学部	41	14	10	3	5	8	1
工学部	77	29	15	7	7	16	3
農学府	11	4	0	1	2	4	0
工学府	81	16	17	10	11	26	1
連合農学研究科	10	2	2	1	0	3	2
BASE、MOT、連合獣医	11	1	3	2	0	4	1

Q60.対教員に関する悩み



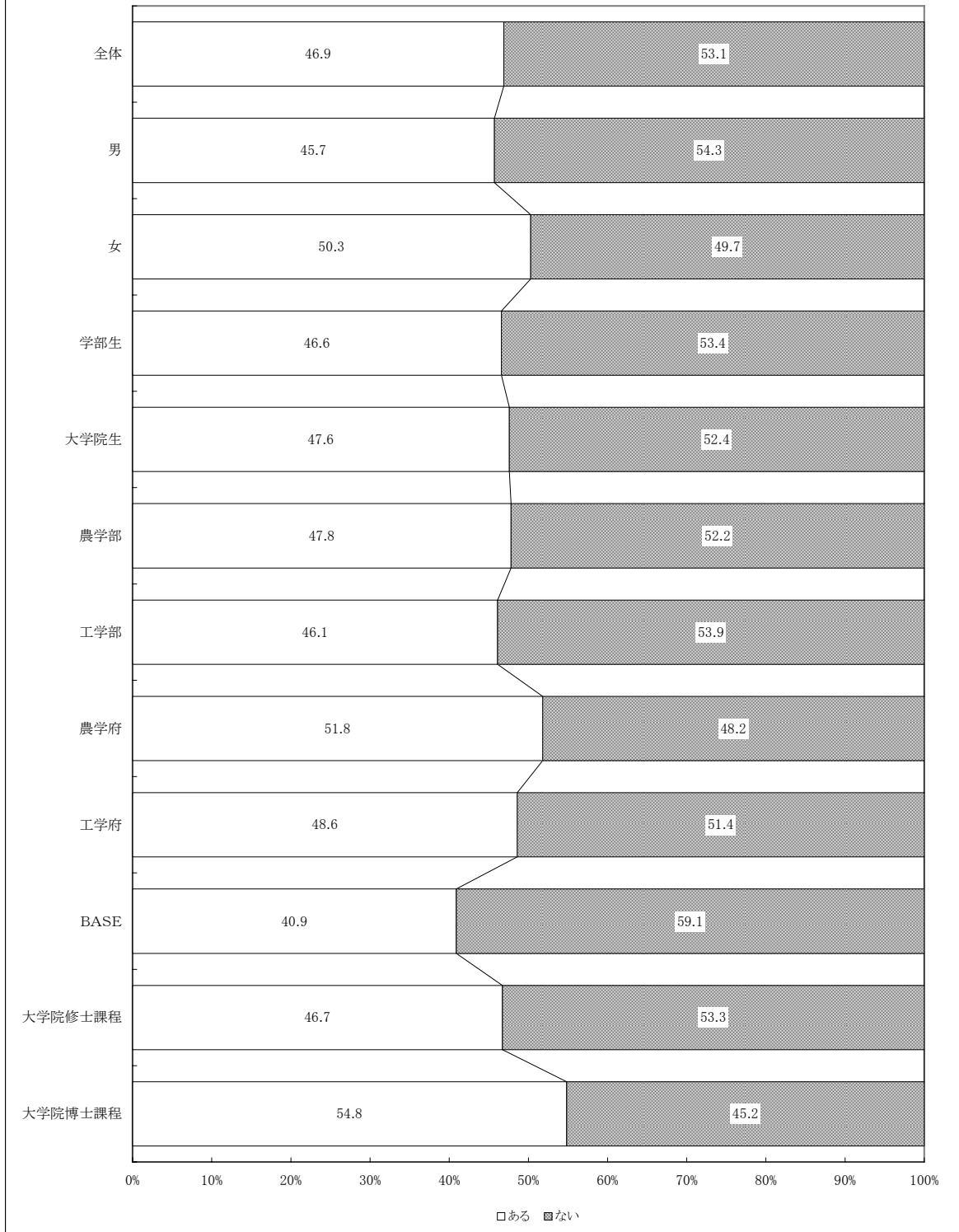
## 6 1. 大学生生活で困ったことの有無

困ったことが「ある」46.9%（男子45.7%、女子50.3%）、「ない」が53.1%であった。所属別の差、学年別の差はあまり認められないが、最近設置された技術経営研究科では「ある」の割合が顕著に低い（20.5%）。

Q61.大学生生活で困ったことの有無			
	合計	ある	ない
全体	2939	1377	1562
男	2172	992	1180
女	748	376	372
学部生	2104	981	1123
大学院生	818	389	429
農学部	644	308	336
工学部	1460	673	787
農学府	139	72	67
工学府	492	239	253
連合農学研究科	41	23	18
BASE	88	36	52
技術経営研究科	39	8	31
連合獣医学研究科	19	11	8
大学院修士	353	162	191
大学院博士	349	166	183



Q61.大学生活で困ったことの有無



## 62 (1). 相談相手

前回は、困ったときに誰（どこ）に相談するかと質問したが、今回は、大学生活で困ったことがあると回答した者（有効回答2,939件のうち1,377件）に、実際どこに又は誰に相談したかを質問した。さらに相談先を明確にし、1人で解決する、相談方法がわからない、の選択肢を削除するなど改変を加えた。

相談先で多い順は、(1)「先輩・友人等」38.8%、(2)「家族」19.9%（男子16.9%、女子26.6%）、(3)「学科・専攻教員」7.5%、(4)「学生サポートセンター（教務係・学生生活係）」6.0%、(5)「保健管理センター」5.4%、(6)「学生相談室」2.2%、(7)「その他」1.2%、(8)「国際センター」0.9%、(9)「チューター（留学生の場合）」0.5%である。「相談しなかった」は、17.6%（男子20.0%、女子11.7%）である。

＜前回との比較（推計）＞

1人で解決する、相談方法がわからない、の割合を減じた69.3%を100%として推計し利用率を前回と比較する。

法人化後に設置された「学生サポートセンター」について分析すると、1.4%から6.0%と4倍強の増大を示し、「保健管理センター」は2.9%から5.4%と2倍弱の増大を示した。「学生相談室」は3倍増、他の機関（教員も含む）はいずれも微増であるが、かわりに「先輩・友人等」が57.0%から18ポイント減、「家族」が30.0%から10ポイント減といずれも著減である。このことは、学内の相談機関の利用率の増大と、先輩・友人・家族の相談機能の低下を同時に意味するものであろう。

＜その他の相談先＞

女性センター、職場、高校教師、元指導教員、恋人、カウンセラー、精神科医、病院、お金、奨学金申込、自分、警察。

＜性差＞

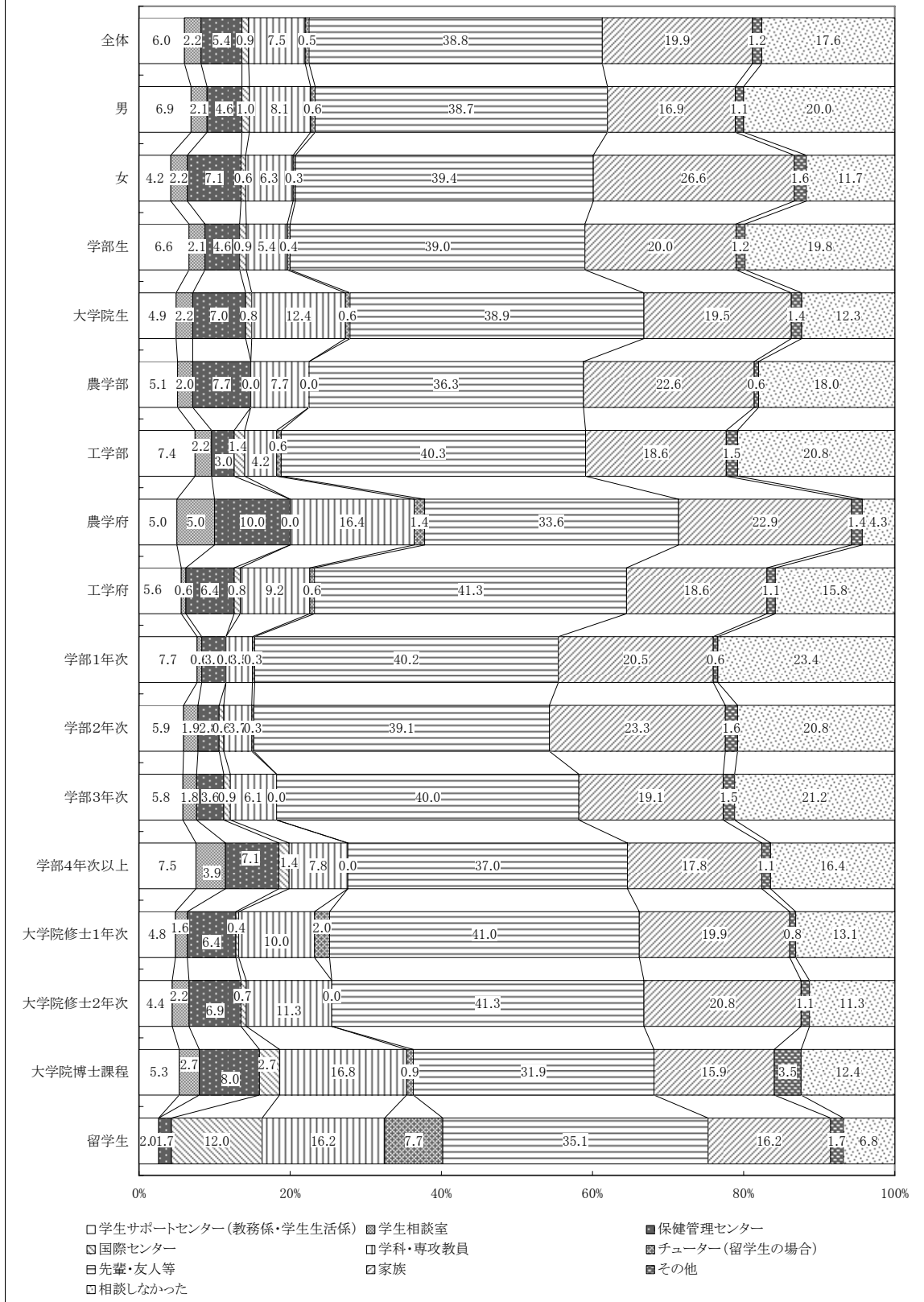
女子は困ったときに男子より「家族」に相談することが多く（1.6倍、10ポイントの差）、男子は困っても女子より相談しないことが多い（1.7倍、8ポイントの差）。

＜所属＞

農学府（16.4%）と連合農学研究科（21.4%）が相談先に「学科・専攻教員」を選ぶ割合が高く、やはり農学府（10.0%）と連合農学研究科（9.5%）が「保健管理センター」を選ぶ割合が高い。

	合計	学生サポートセンター(教務係・学生生活係)	学生相談室	保健管理センター	国際センター	学科・専攻教員	チューター(留学生の場合)	先輩・友人等	家族	その他	相談しなかった
全体	2085	126	45	112	18	157	10	809	414	26	368
男	1449	100	31	67	14	117	8	561	245	16	290
女	623	26	14	44	4	39	2	245	166	10	73
学部生	1447	95	31	67	13	78	6	564	289	17	287
大学院生	627	31	14	44	5	78	4	243	122	9	77
農学部	495	25	10	38	0	38	0	180	112	3	89
工学部	952	70	21	29	13	40	6	384	177	14	198
農学府	140	7	7	14	0	23	2	47	32	2	6
工学府	360	20	2	23	3	33	2	149	67	4	57
学部1年次	312	24	2	10	0	11	1	125	64	2	73
学部2年次	322	19	6	9	2	12	1	126	75	5	67
学部3年次	330	19	6	12	3	20	0	132	63	5	70
学部4年次以上	438	33	17	31	6	34	0	162	78	5	72
大学院修士1年次	251	12	4	16	1	25	5	103	50	2	33
大学院修士2年次	274	12	6	19	2	31	0	113	57	3	31
大学院博士課程	113	6	3	9	3	19	1	36	18	4	14
留学生	117	3	0	2	14	19	9	41	19	2	8

Q62.困ったときの相談先

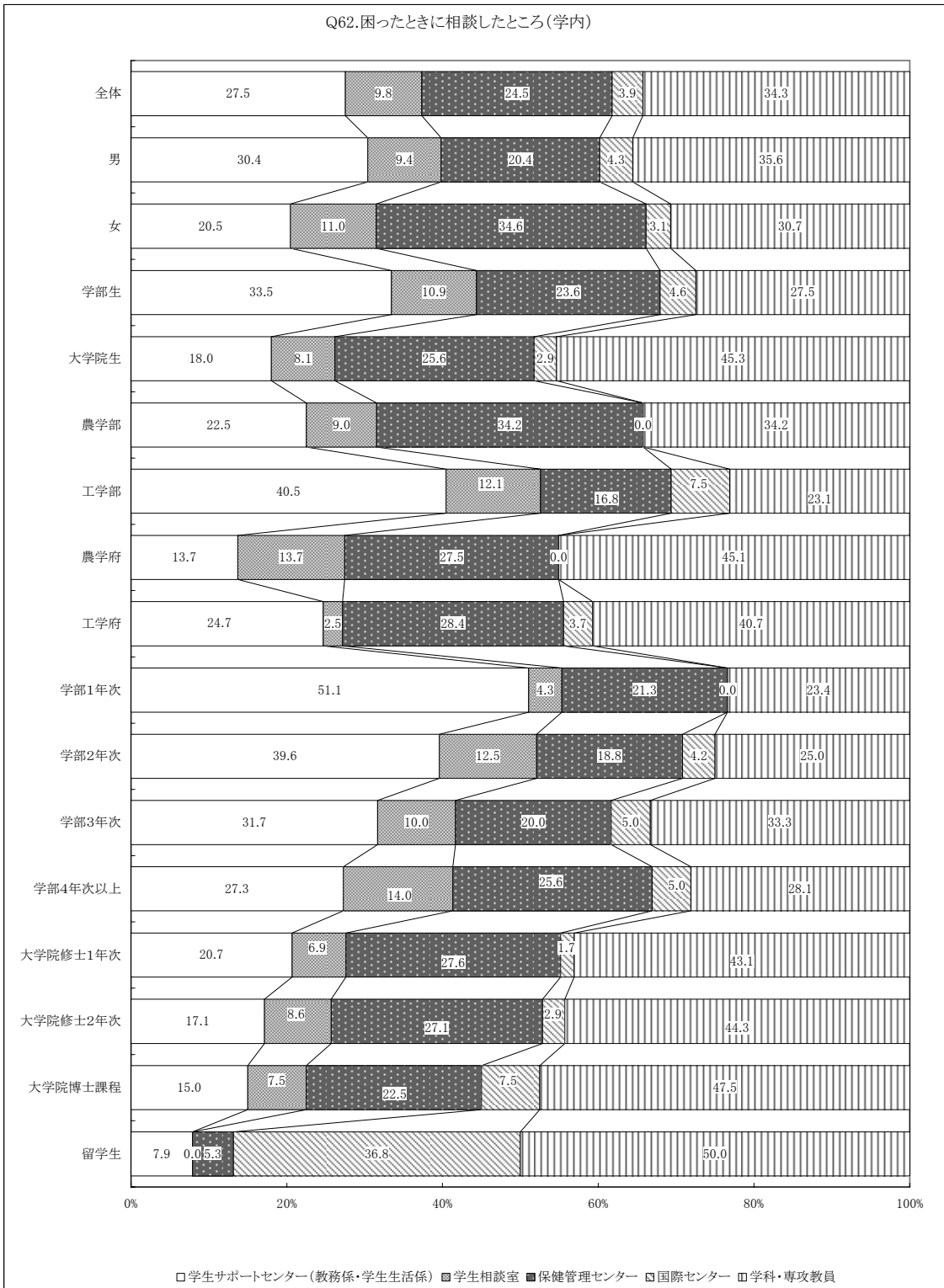


## 6 2 (2). 困ったときの相談先 (学内)

困ったときの相談相手の 8 割近くが家族、友人等、または相談しなかったと回答している。そこで、相談先に学内施設や教職員を選択した回答に注目して分析したものが以下の図表である。学生サポートセンターの割合が低学年ほど高いなど幾つかの特徴が見られる。学生相談・支援の立場からも参考になる資料となった。

Q62.困ったときに相談したところ(学内)						
	合計	学生サ ポートセン ター(教務 係・学生 生活係)	学生相 談室	保健管 理セン ター	国際セ ンター	学科・ 専攻教 員
全体	458	126	45	112	18	157
男	329	100	31	67	14	117
女	127	26	14	44	4	39
学部生	284	95	31	67	13	78
大学院生	172	31	14	44	5	78
農学部	111	25	10	38	0	38
工学部	173	70	21	29	13	40
農学府	51	7	7	14	0	23
工学府	81	20	2	23	3	33
学部1年次	47	24	2	10	0	11
学部2年次	48	19	6	9	2	12
学部3年次	60	19	6	12	3	20
学部4年次以上	121	33	17	31	6	34
大学院修士1年次	58	12	4	16	1	25
大学院修士2年次	70	12	6	19	2	31
大学院博士課程	40	6	3	9	3	19
留学生	38	3	0	2	14	19

Q62.困ったときに相談したところ(学内)



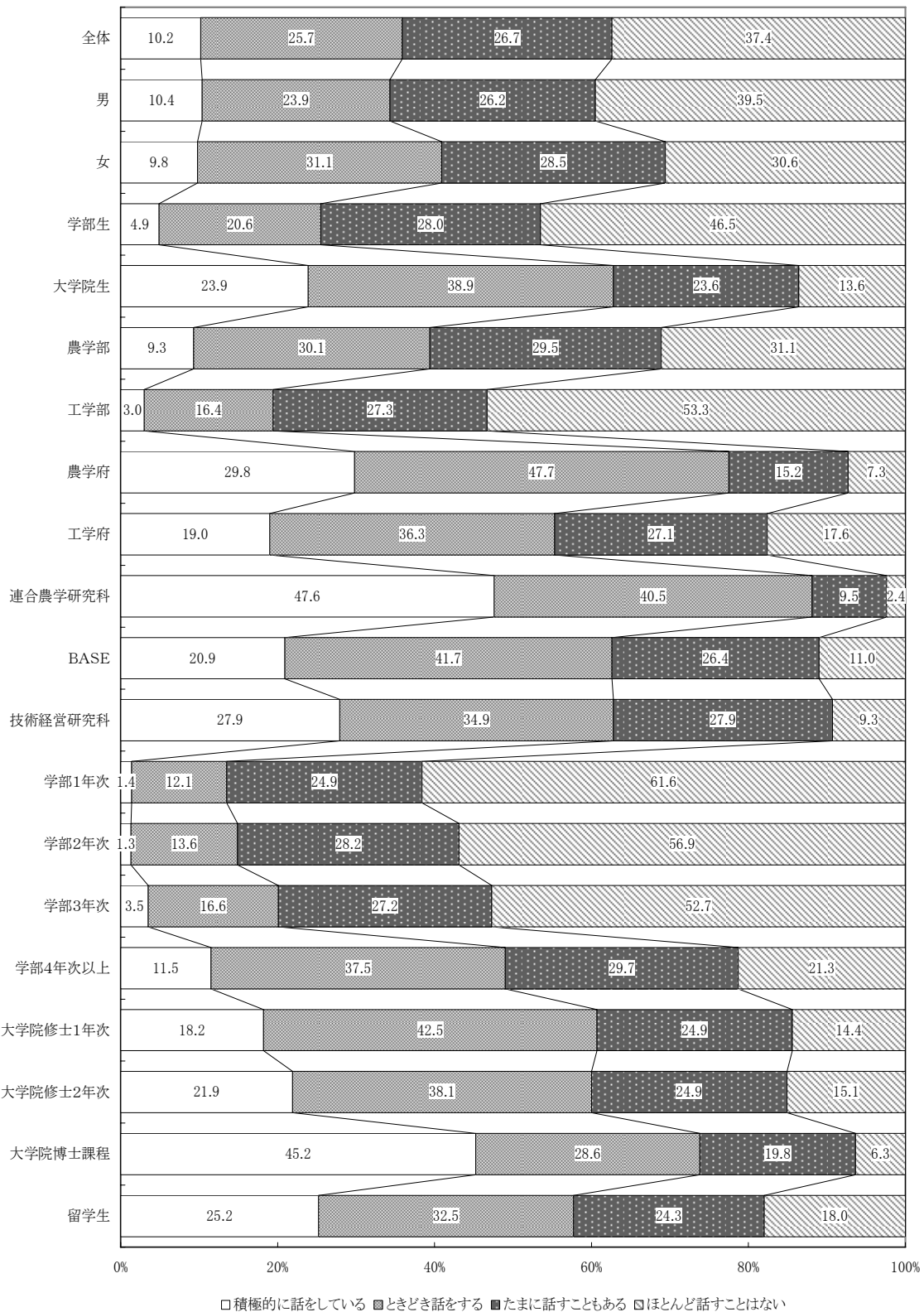
### 63. 教員との対話

授業以外で教員と話をするかの設定に対し3,053件の回答があった。その内訳は、「積極的に話をして  
いる」10.2%、「ときどき話をする」25.7%、「たまに話すこともある」26.7%、

「ほとんど話すことはない」37.4%である。図表のように、学年が上がるに伴い積極的に話をするよう  
になり、研究室中心の学部4年と大学院では、3年以下の学部より話す機会が増えるのは当然の結果で  
ある。「積極的に話している」の回答率を計算すると、学部3年以下を併せると2.0%、学部4年にな  
ると20.4%と10倍増である。それにしても教員との会話機会が極端に少ないまま、4年に人間関係が密  
な研究室に入るというギャップを埋める対策が必要なのかもしれない。

Q63.授業以外で教員と話すか					
	合計	積極的 に話を してい る	ときどき 話をす る	たまに 話すこ ともあ る	ほとん ど話す ことは ない
全体	3053	312	784	816	1141
男	2266	235	541	593	897
女	768	75	239	219	235
学部生	2185	107	450	611	1017
大学院生	851	203	331	201	116
農学部	664	62	200	196	206
工学部	1521	45	250	415	811
農学府	151	45	72	23	11
工学府	505	96	183	137	89
連合農学研究科	42	20	17	4	1
BASE	91	19	38	24	10
技術経営研究科	43	12	15	12	4
連合獣医学研究科	19	11	6	1	1
学部1年次	511	7	62	127	315
学部2年次	528	7	72	149	300
学部3年次	481	17	80	131	253
学部4年次以上	704	81	264	209	150
大学院修士1年次	369	67	157	92	53
大学院修士2年次	365	80	139	91	55
大学院博士課程	126	57	36	25	8
留学生	111	28	36	27	20

Q63.授業以外で教員と話すか



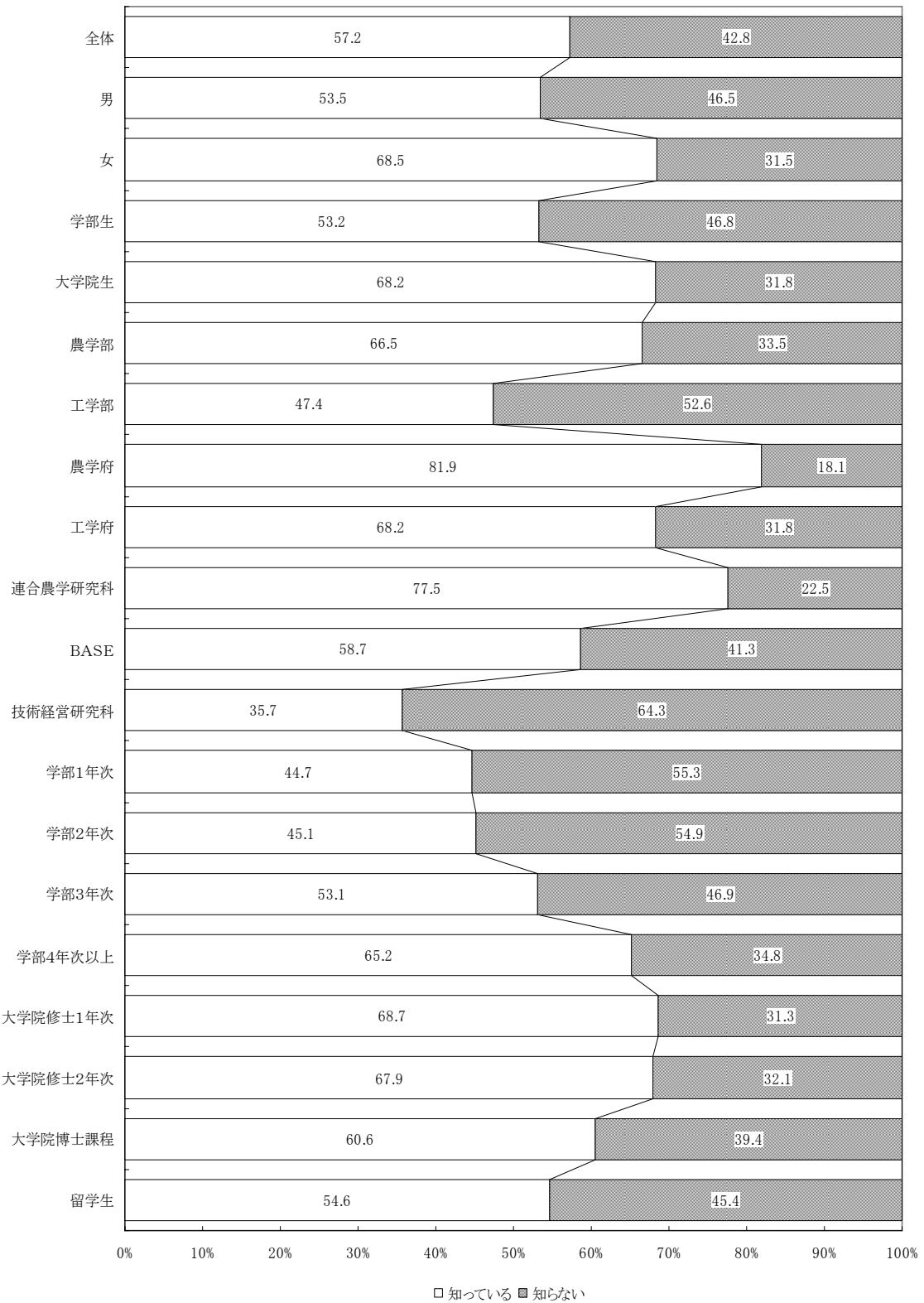
## 6 4. 学生相談室の認知度

前回と同文で各キャンパスに学業・進路・就職などの相談に応じる学生相談室が開設されているのを知っているかの問いに対し、「知っている」と答えた割合は57.2%（前回67.4%）、「知らない」が42.8%（前回32.6%）であり、認知度がかなり減少している。学部差と男女差も見られ、「知っている」が男子で53.5%（前回64.1%）、女子で68.5%（前回76.8%）、農学部で66.5%（前回80.5%）、工学部で47.4%（前回59.3%）である。農学府（81.9%）と連合農学研究科（77.5%）で認知度が高く、技術経営研究科（35.7%）と工学部（47.4%）で低くなっている。（注：東京農工大学の学生相談室では、保健管理センターカウンセリング室とは別に、学生生活担当教員が修学、進路等の相談を行っている。）

Q64.学生相談室の認知度			
	合計	知っ て い る	知ら な い
全体	3038	1737	1301
男	2256	1208	1048
女	764	523	241
学部生	2173	1155	1018
大学院生	848	578	270
農学部	657	437	220
工学部	1516	718	798
農学府	149	122	27
工学府	506	345	161
連合農学研究科	40	31	9
BASE	92	54	38
技術経営研究科	42	15	27
学部1年次	512	229	283
学部2年次	521	235	286
学部3年次	482	256	226
学部4年次以上	645	424	221
大学院修士1年次	368	253	115
大学院修士2年次	365	248	117
大学院博士課程	123	84	39
留学生	108	59	49



Q64. 学生相談室の認知度

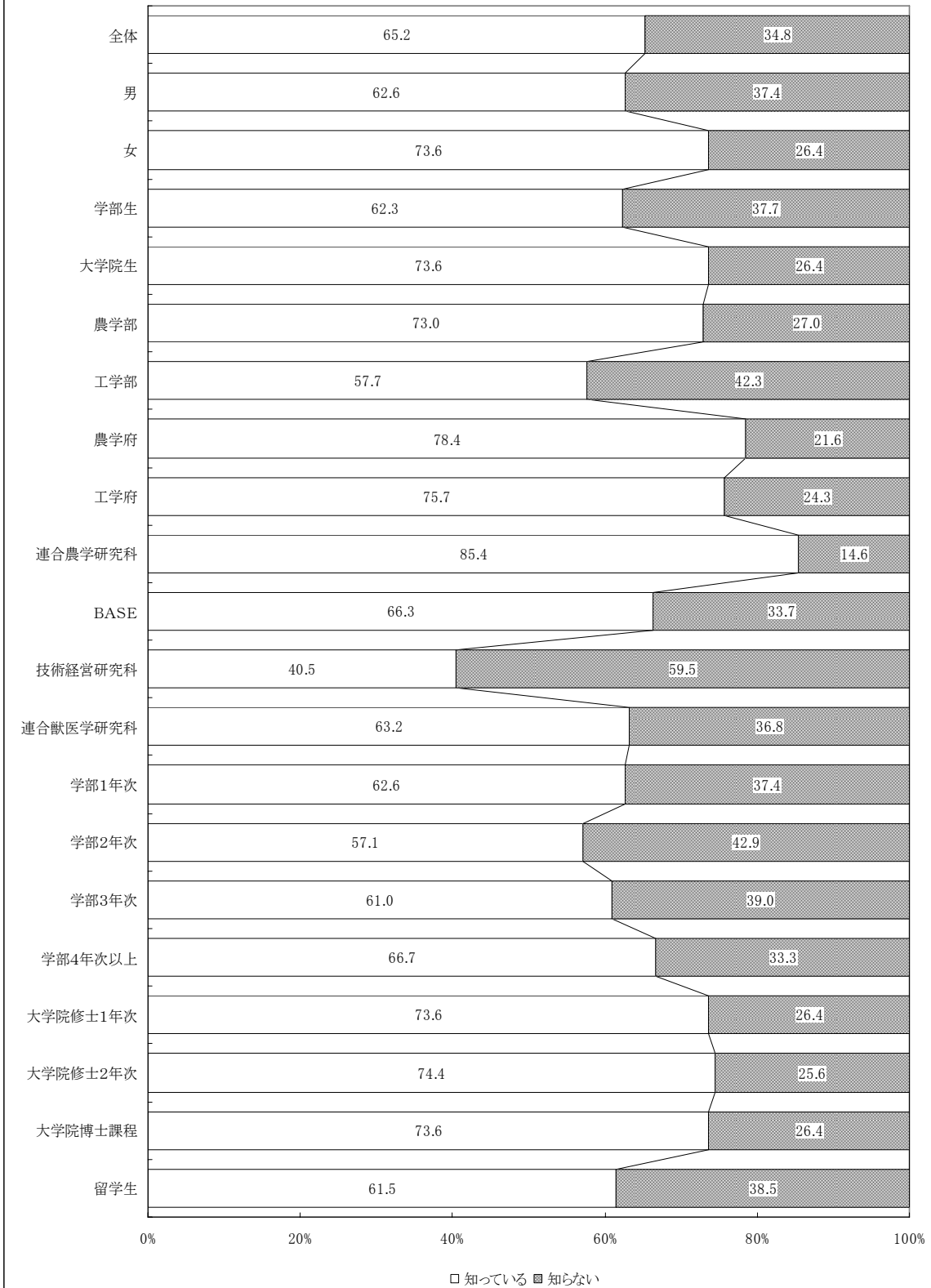


## 65. 保健管理センターカウンセラーの認知度

保健管理センターでカウンセラー（精神・心理の専門家）が学生生活やメンタルヘルスの相談に応じているのを知っているか問いに対して、「知っている」と答えたもの65.2%（前回28.8%）、「知らない」34.8%（前回71.2%）である。前回より36ポイントも大きく認知度が増大している。男子62.6%（前回26.2%）より女子73.6%（前回36.1%）の認知度が高い。学年差はあまり認められず、農学部（73.0%）が工学部（57.7%）より15ポイント高い。

Q65.保健管理センターカウンセラーの認知度			
	合計	知っている	知らない
全体	3035	1980	1055
男	2254	1412	842
女	762	561	201
学部生	2170	1352	818
大学院生	848	624	224
農学部	656	479	177
工学部	1514	873	641
農学府	148	116	32
工学府	506	383	123
連合農学研究科	41	35	6
BASE	92	61	31
技術経営研究科	42	17	25
連合獣医学研究科	19	12	7
学部1年次	511	320	191
学部2年次	522	298	224
学部3年次	479	292	187
学部4年次以上	645	430	215
大学院修士1年次	368	271	97
大学院修士2年次	363	270	93
大学院博士課程	125	92	33
留学生	109	67	42

Q65.保健管理センターカウンセラーの認知度



## 66. 飲み会・コンパなどでの経験

飲み会・コンパなどで以下のような不快・危険経験（仮に名付ける）の割合を正確に知るため、設問1（所属）、設問2（年次）、設問3（性別）のすべてに回答した3,107件（男子2,329件、女子778件）を有効回答とし、率計算の分母とした。図表の数値とは異なる。

### <飲酒の上での不快・危険経験率>

「飲酒を強要された」13.7%、「一気飲みをさせられた」17.1%、「酔ったうえでからまれたり、暴言や暴力を受けた」7.9%、「セクハラを受けた」1.9%、「酔ってけがをしたり事故を起こした」4.6%である。無回答が72.8%なので、これらの経験ありと回答した割合は27.2%となる。3割近い学生が、飲酒の上で何らかの不快または危険な経験があったことになる。

### <アルコール・ハラスメント>

「飲酒を強要された」と回答したものの425件、学部1年が52件（男子51件、女子1件）である。「一気飲みをさせられた」もの530件、学部1年が61件（男子56件、女子5件）である。女子の数は男子より圧倒的に少ない。いずれにせよ、飲酒の強要、とくに未成年者への強要や一気飲みは法律面でも心身の健康面でも、またセクハラ防止、事故防止の観点からしてはならない。

### <セクシュアル・ハラスメント>

「飲み会・コンパなどでセクハラされた」と回答した割合は全体で1.9%である。男子20件で0.9%（前回1.7%）、女子39件で5.0%（前回7.8%）である。

### <不快・危険経験項目の全体に占める割合（図表）>

以下の図表がそれである。合計は、上記の有効回答に限らず、設問68に何らかの記載があった回答の総数（複数回答）である。

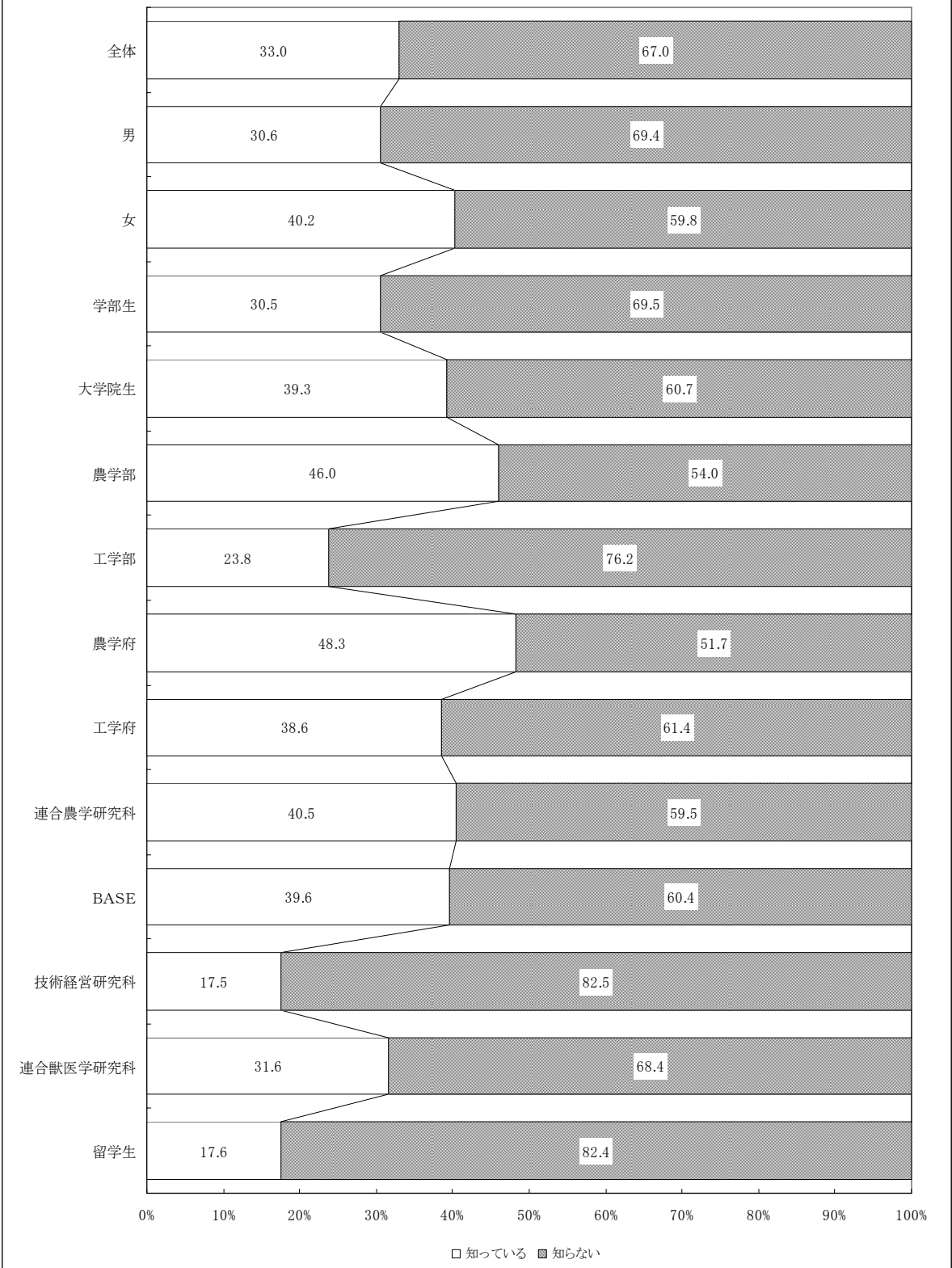
Q66.飲み会・コンパでの経験												
(注:複数回答から回答数を合計。回答者数ではない)	合計	飲酒を強要された	一気飲みをさせられた	からまれたり、暴言や暴力を受けた	セクハラを受けた	酔ってけがをしたり事故を起こした	合計	飲酒を強要された	一気飲みをさせられた	からまれたり、暴言や暴力を受けた	セクハラを受けた	酔ってけがをしたり事故を起こした
全体	1430	429	545	247	60	149	100.0	30.0	38.1	17.3	4.2	10.4
男	1187	370	470	200	21	126	100.0	31.2	39.6	16.8	1.8	10.6
女	235	56	71	46	39	23	100.0	23.8	30.2	19.6	16.6	9.8
学部生	999	302	382	174	46	95	100.0	30.2	38.3	17.4	4.6	9.5
大学院生	423	124	159	72	14	54	100.0	29.3	37.6	17.0	3.3	12.8
農学部	282	79	95	58	22	28	100.0	28.0	33.7	20.6	7.8	9.9
工学部	717	223	287	116	24	67	100.0	31.1	40.1	16.2	3.3	9.3
農学府	77	27	23	14	2	11	100.0	35.0	29.9	18.2	2.6	14.3
工学府	273	79	107	46	8	33	100.0	28.9	39.3	16.8	2.9	12.1
連合農学研究科	9	0	2	3	2	2	100.0	0.0	22.2	33.4	22.2	22.2
BASE	48	14	18	8	1	7	100.0	29.2	37.4	16.7	2.1	14.6
留学生	32	9	12	2	4	5	100.0	28.1	37.5	6.3	12.5	15.6

## 67. ハラスメント相談室

平成18年度より各キャンパスに毎週1回開室されるハラスメント相談室を知っているか質問したところ、「知っている」33.0%、「知らない」67.0%であり、認知度はまだ3割程度である。とくに工学部(23.8%)と技術経営研究科(17.5%)で認知度が低い。留学生(17.6%)も低い。農学部(46.0%)の認知度が高いが、これは女子の割合が高いことが関連していると思われる。

Q67.ハラスメント相談の認知度			
	合計	知っている	知らない
全体	3018	995	2023
男	2242	686	1556
女	757	304	453
学部生	2158	659	1499
大学院生	844	332	512
農学部	652	300	352
工学部	1506	359	1147
農学府	149	72	77
工学府	503	194	309
連合農学研究科	42	17	25
BASE	91	36	55
技術経営研究科	40	7	33
連合獣医学研究科	19	6	13
留学生	108	19	89

Q67.ハラスメント相談の認知度



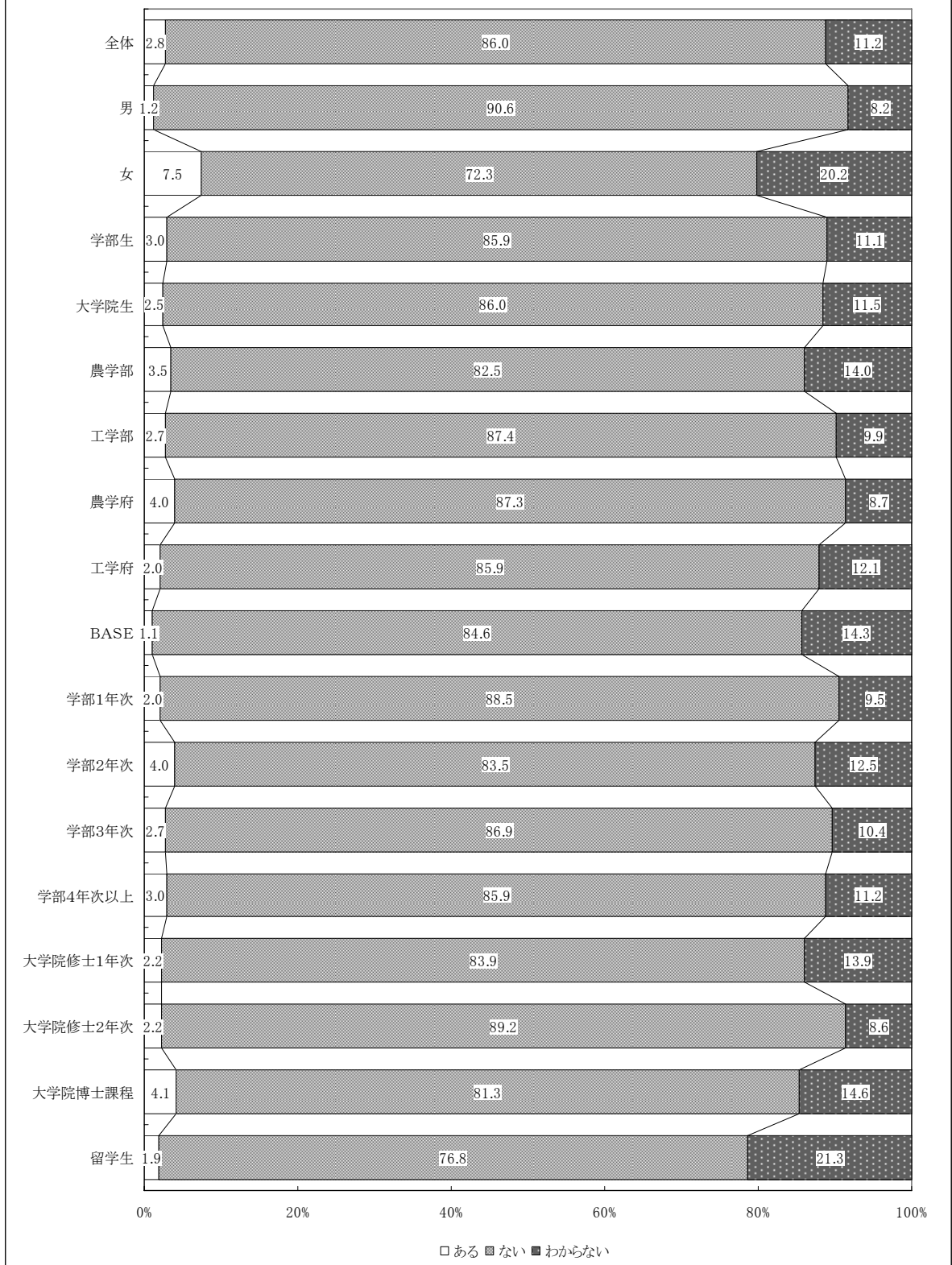
## 68. セクシュアル・ハラスメントを受けた経験

前回同様、セクシュアル・ハラスメントを受けたことが「ある」、「ない」、「わからない」の3件法で質問した。設問1、2、3の所属、性別、学年が明記された回答のうち、この設問に回答した2,993件（男子2,240件、女子753件）を有効回答として分析したところ、83件（男子27件、女子56件）が「ある」と回答している。割合は2.7%（男子1.2%、女子7.4%）である。前回の調査結果の4.8%（男子2.9%、女子10.3%）より2ポイント低下している。

図表とは有効回答のとり方が異なるので数値が若干異なる。図表で見ると農学が工学より「ある」の割合がかなり高いが、農学部の女子の割合の高さと関連する。

Q68.セクハラを受けた経験				
	合計	ある	ない	わからない
全体	3021	85	2598	338
男	2245	28	2033	184
女	757	57	547	153
学部生	2161	64	1857	240
大学院生	844	21	726	97
農学部	651	23	537	91
工学部	1510	41	1320	149
農学府	149	6	130	13
工学府	504	10	433	61
BASE	91	1	77	13
学部1年次	506	10	448	48
学部2年次	519	21	433	65
学部3年次	479	13	416	50
学部4年次以上	644	19	553	72
大学院修士1年次	366	8	307	51
大学院修士2年次	362	8	323	31
大学院博士課程	123	5	100	18
留学生	108	2	83	23

Q68.セクハラを受けた経験



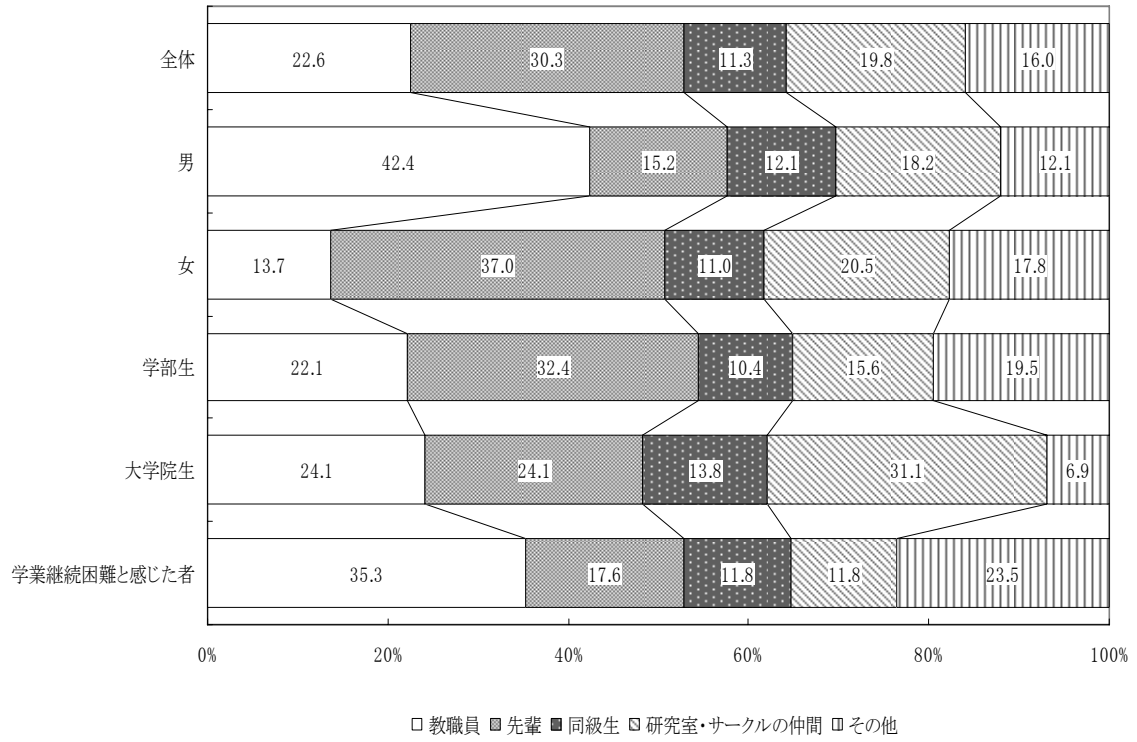


## 69. セクシュアル・ハラスメントを受けた相手

前の設問で「ある」と回答した83件のすべてから回答（複数回答）があった。内訳は、多い順に（1）「先輩」31件（37.3%）、（2）「教職員」24件（28.9%）、（3）「研究室・サークルの仲間」20件（24.1%）、（4）「その他」17件（20.5%）、（5）「同級生」12件（14.5%）である。（教職員を2度、3度繰り返し選ぶ回答は、2件と扱った。図表の数値は、全回答数に対する構成割合。）「その他」記載欄には、電車内、学外で出あったおじさん、知らない人、バイト、ヤギ、宇宙人、通りすがりの人、バイト先の客（いずれも原文のまま）、とある。ハラスメントと言い難いものも含まれている。

Q69.セクハラを受けた相手						
	合計	教職員	先輩	同級生	研究室・サークルの仲間	その他
全体	106	24	32	12	21	17
男	33	14	5	4	6	4
女	73	10	27	8	15	13
学部生	77	17	25	8	12	15
大学院生	29	7	7	4	9	2
農学部	28	5	11	2	5	5
工学部	49	12	14	6	7	10
農学府	7	2	0	2	2	1
工学府	13	2	5	1	5	0
学部1年次	11	3	2	0	1	5
学部2年次	25	4	9	3	6	3
学部3年次	18	4	6	2	2	4
学部4年次以上	22	6	8	3	2	3
大学院修士1年次	12	2	3	2	5	0
大学院修士2年次	10	1	2	2	4	1
大学院博士課程	7	4	1	0	1	1
学業継続困難と感じた者	34	12	6	4	4	8
留学生	3	1	1	0	1	0

Q69.セクハラを受けた相手



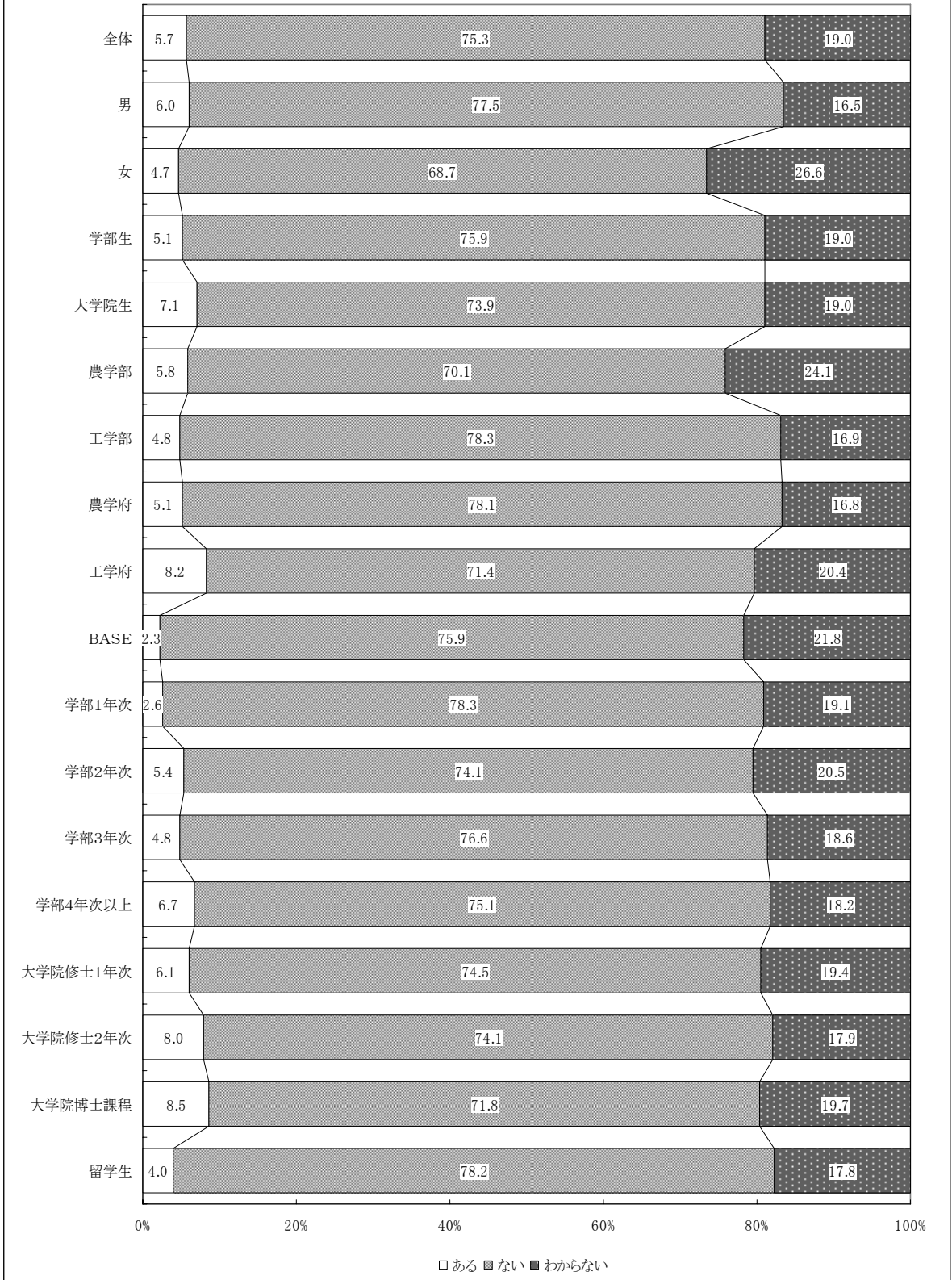
## 70. セクハラ以外のハラスメントを受けた経験

今回調査での新項目の一つである。所属・学年の比較のため、所属、性別、学年が明記された回答のうち、この設問に回答した2,856件（男子2,138件、女子718件）を有効回答として分析したところ、161件（男子127件、女子34件）が「ある」と回答している。その割合は5.6%（男子5.9%、女子4.7%）である。図表とは有効回答のとり方が異なるので数値が若干異なる。

セクシュアル・ハラスメントは、本人の主観的不快感や被害者意識を最も重視するのに対して、その他のハラスメントは、定義や線引きがむつかしく、本人の主観的判断のみで認定されるものでもない。したがって回答者の主観にもとづいた意識調査として理解すべきであるが、そのような経験をしないよう大学構成員と大学はつとめなければならない。

Q70.セクハラ以外のハラスメントを受けた経験				
	合計	ある	ない	わからない
全体	2879	165	2168	546
男	2142	128	1661	353
女	722	34	496	192
学部生	2060	105	1563	392
大学院生	807	57	597	153
農学部	619	36	434	149
工学部	1441	69	1129	243
農学府	137	7	107	23
工学府	489	40	349	100
連合農学研究科	38	6	31	1
BASE	87	2	66	19
技術経営研究科	37	2	30	5
連合獣医学研究科	19	0	14	5
学部1年次	492	13	385	94
学部2年次	484	26	359	99
学部3年次	458	22	351	85
学部4年次以上 (うち 獣医学科5、6年)	614	41	461	112
大学院修士1年次	346	21	258	67
大学院修士2年次	351	28	260	63
大学院博士課程	117	10	84	23
留学生	101	4	79	18

Q70.セクハラ以外のハラスメントを受けた経験



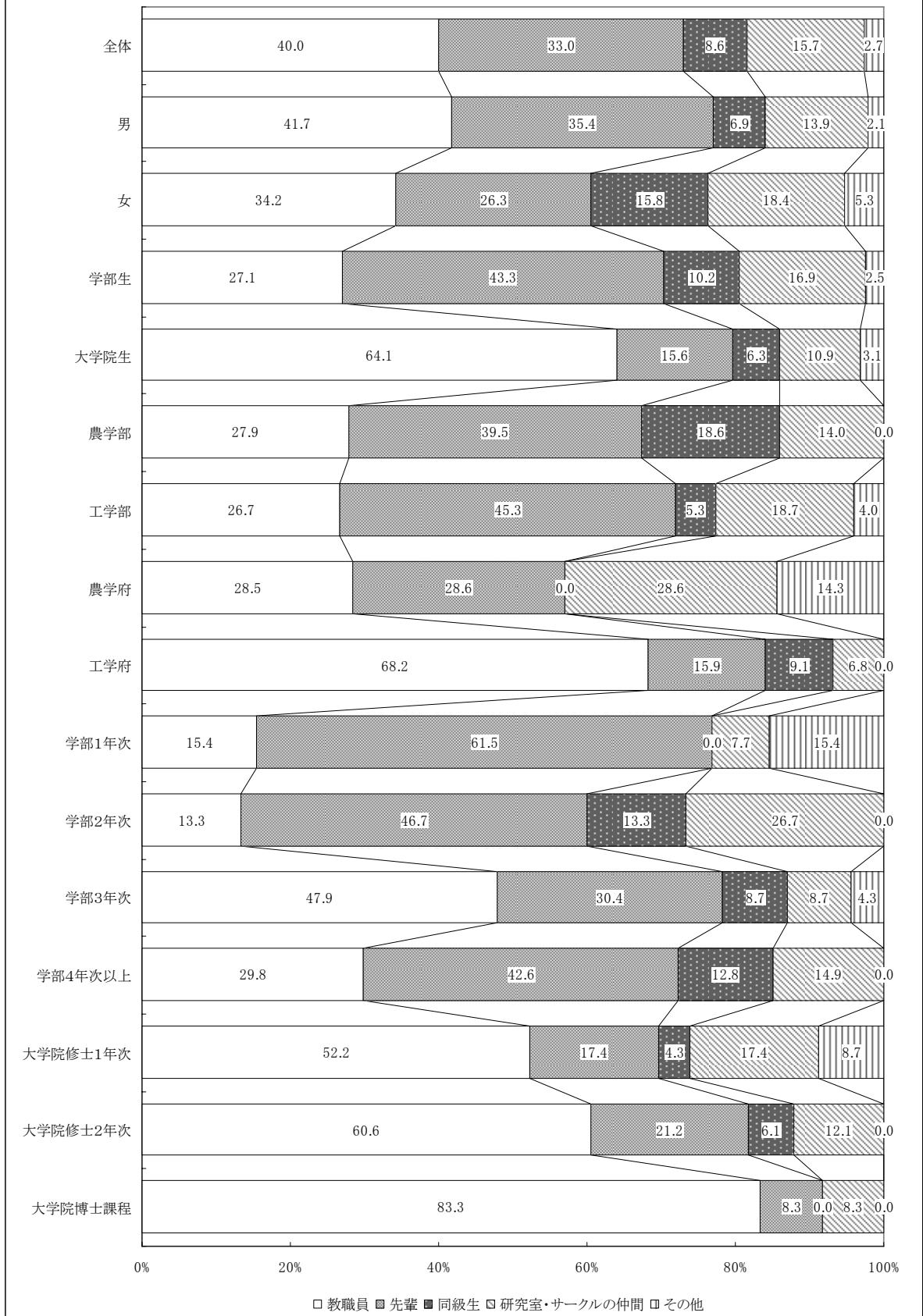
## 71. セクハラ以外のハラスメントを受けた相手

前の設問で「ある」と回答した161件のうち156件から、誰から受けたかの回答（複数回答）があった。内訳は、多い順に(1)「教職員」73件(46.8%)、(2)「先輩」61件(37.9%)、(3)「研究室・サークルの仲間」26件(16.7%)、(4)「同級生」15件(9.6%)、(5)「その他」6件(3.9%)である。(教職員を3度繰り返し選ぶ回答が1件あり、1件と扱った。)  
「その他」記載欄には、OB、以前のバイト先、バイト先となっている。

ちなみに、教員からセクハラ以外のハラスメントを受けたと回答された割合は、2.6%（男子2.8%、女子1.9%）である。これも図表とは有効回答のとり方が異なるので数値が若干異なる。

Q71.セクハラ以外のハラスメントを受けた相手						
	合計	教職員	先輩	同級生	研究室・サークルの仲間	その他
全体	185	74	61	16	29	5
男	144	60	51	10	20	3
女	38	13	10	6	7	2
学部生	118	32	51	12	20	3
大学院生	64	41	10	4	7	2
農学部	43	12	17	8	6	0
工学部	75	20	34	4	14	3
農学府	7	2	2	0	2	1
工学府	44	30	7	4	3	0
連合農学研究科	8	6	1	0	1	0
BASE	2	1	0	0	0	1
技術経営研究科	3	2	0	0	1	0
連合獣医学研究科	0	0	0	0	0	0
学部1年次	13	2	8	0	1	2
学部2年次	30	4	14	4	8	0
学部3年次	23	11	7	2	2	1
学部4年次以上	47	14	20	6	7	0
(うち 獣医学科5、6年次)	14	6	4	3	1	0
大学院修士1年次	23	12	4	1	4	2
大学院修士2年次	33	20	7	2	4	0
大学院博士1年次	12	10	1	0	1	0
留学生	4	2	1	1	0	0

Q71.セクハラ以外のハラスメントを受けた相手

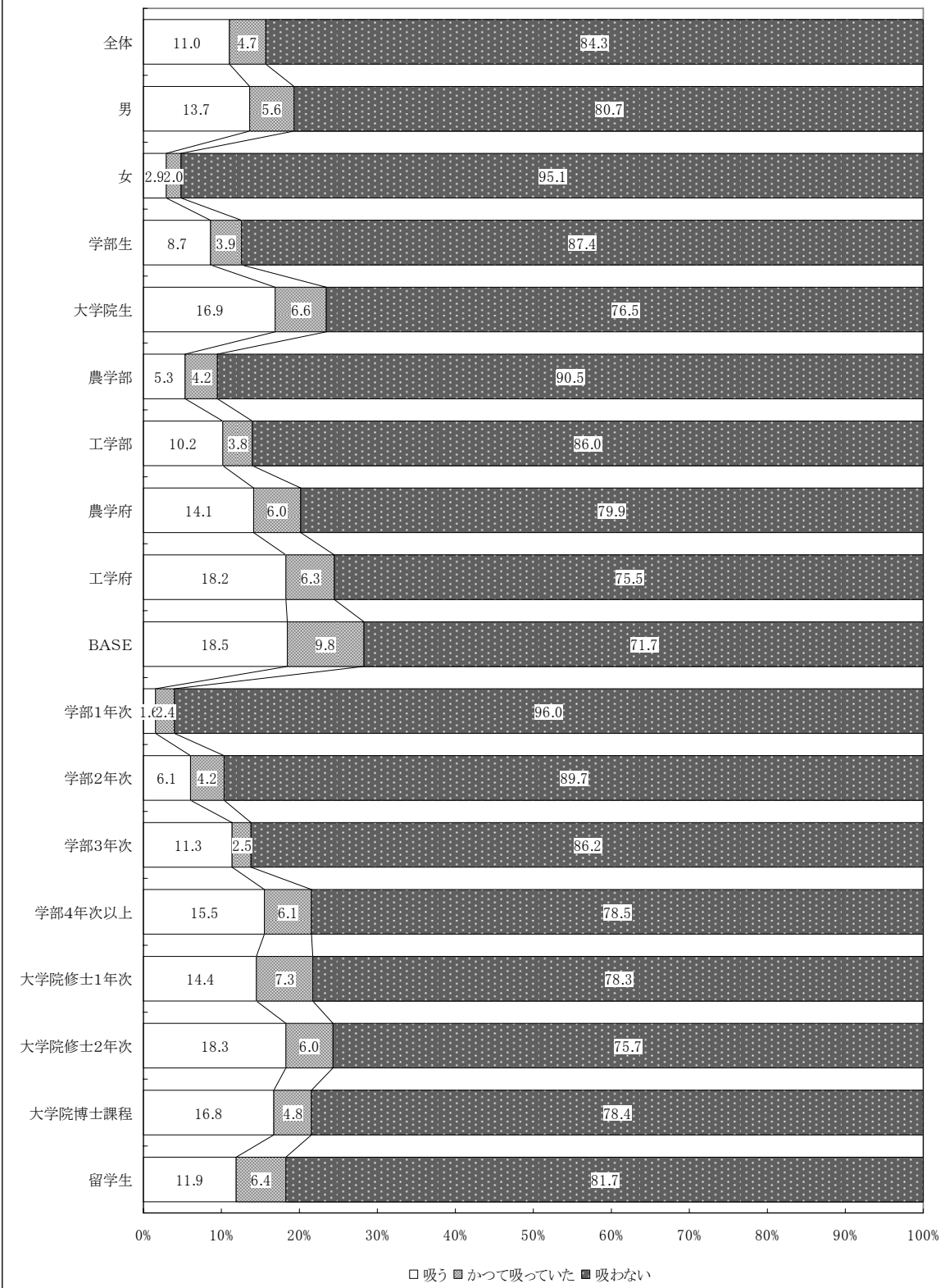


## 72. 喫煙の有無

「吸う」と回答した割合が11.0%（前回17.3%）、「かつて吸っていた」4.7%（新規選択肢）、「吸わない」が84.3%（後の2者併せて89.0%、前回82.7%）であり、喫煙率が6ポイント減少している。男子では、「吸う」が13.7%（前回21.4%）、女子では2.9%（前回5.1%）である。今回も農学部が喫煙率が5.3%（前回11.4%）と工学部10.2%（前回17.6%）に比べてかなり低くなっている。学年が上がるにつれて喫煙率が上昇傾向である。

Q72.喫煙の有無				
	合計	吸う	かつて吸っていた	吸わない
全体	3041	335	143	2563
男	2256	310	126	1820
女	766	22	15	729
学部生	2174	189	85	1900
大学院生	850	144	56	650
農学部	660	35	28	597
工学部	1514	154	57	1303
農学府	149	21	9	119
工学府	505	92	32	381
連合農学研究科	42	5	0	37
BASE	92	17	9	66
技術経営研究科	43	6	5	32
連合獣医学研究科	19	3	1	15
学部1年次	508	8	12	488
学部2年次	526	32	22	472
学部3年次	478	54	12	412
学部4年次以上	595	92	36	467
（うち獣医学科5、6年次）	52	5	4	43
大学院修士1年次	368	53	27	288
大学院修士2年次	367	67	22	278
大学院博士課程	125	21	6	98
留学生	109	13	7	89

Q72.喫煙の有無

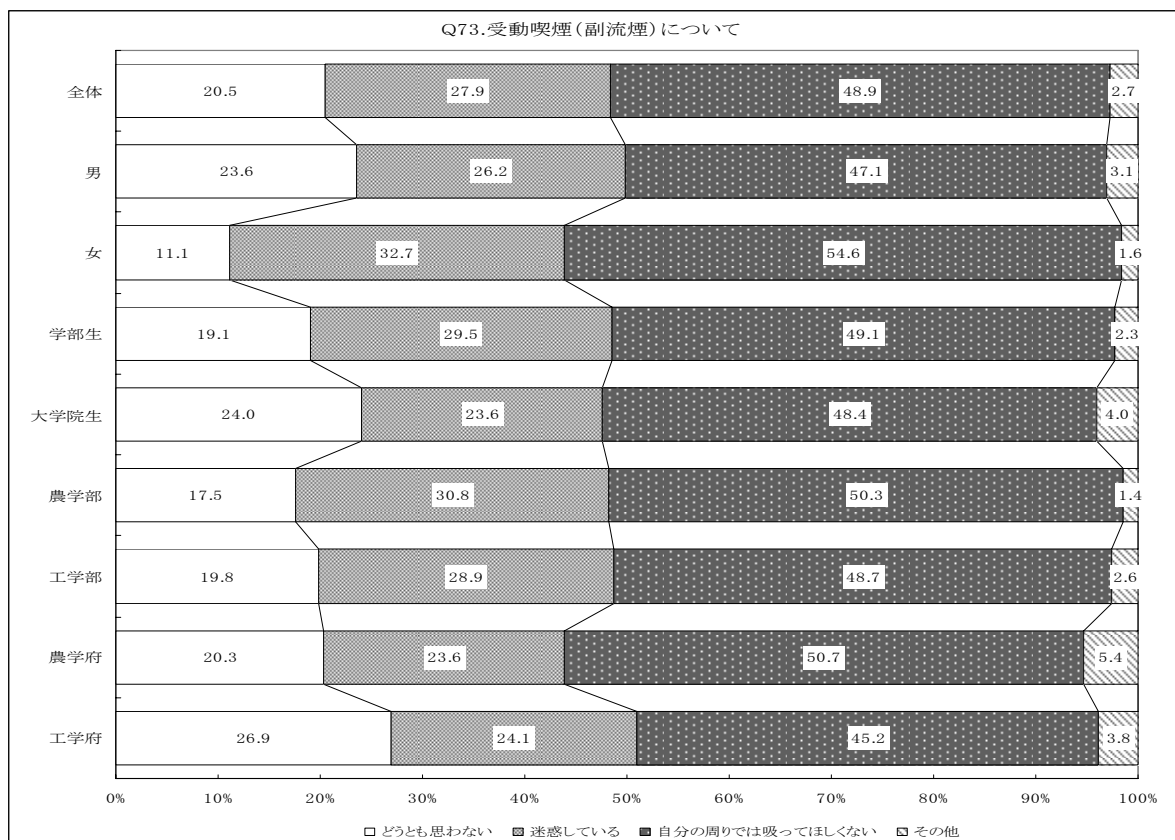




### 7.3. 受動喫煙（副流煙）について

「自分の周りでは吸ってほしくない」の回答率が48.9%（前回42.6%）、「迷惑している」が27.9%（前回34.5%）、「どうとも思わない」が27.9%（前回18.4%）、「その他」2.7%（前回4.5%）である。「その他」の記載欄には、申し訳ない、気遣いやマナーを守って欲しい、今のままでよい、から死ね、まで種々の意見、感想が記されている。なお、「どうとも思わない」は男子23.6%、女子11.1%と性差が目立つほかは、属性別に特徴的な差は認められない。

Q73.受動喫煙（副流煙）について					
	合計	どうとも 思わない	迷惑し ている	自分の 周りでは吸っ てほしくない	その他
全体	3038	622	848	1485	83
男	2250	532	590	1058	70
女	768	85	251	420	12
学部生	2174	415	641	1069	49
大学院生	846	203	200	409	34
農学部	662	116	204	333	9
工学部	1512	299	437	736	40
農学府	148	30	35	75	8
工学府	506	136	122	229	19



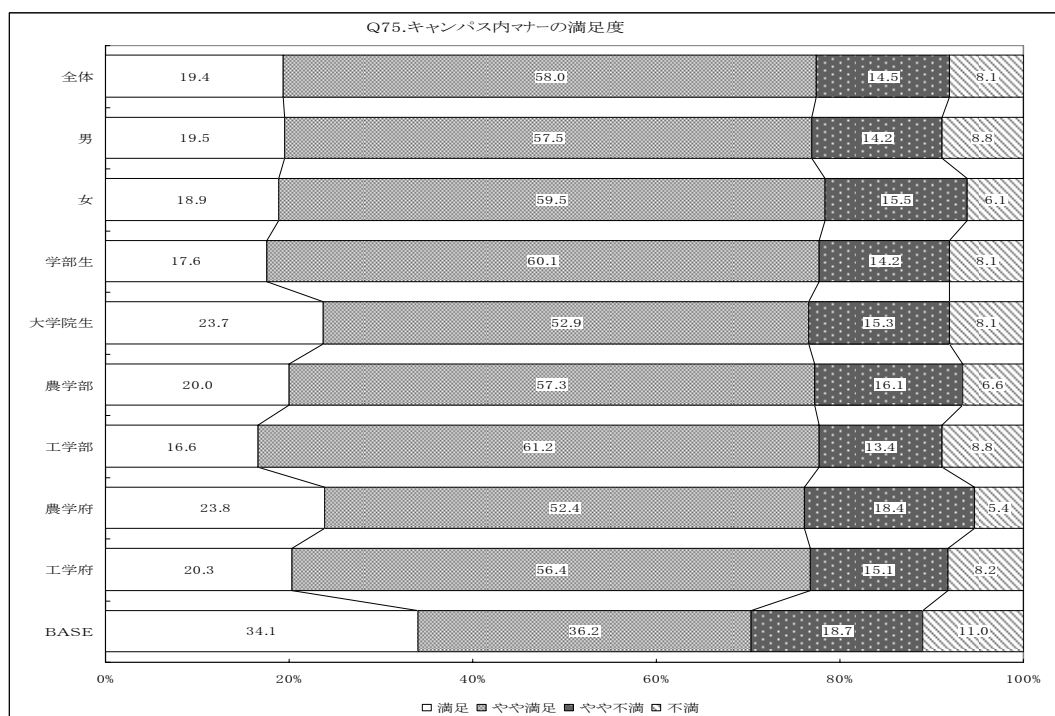
## 74. キャンパス内の分煙について

「今のままでよい」69.1%（前回60.6%、前々回33.6%）、「キャンパス全体を禁煙にしてほしい」26.1%（前回30.7%）、「その他」4.8%（前回8.7%）である。「その他」の記載欄には、暖かい目で、拡大化、喫煙所の増加、イスが欲しい、屋根が欲しい、今のままでよいが取締りを厳しく、歩きタバコをやめよう、室内に喫煙室を作ってあげて、などである。性差も所属別の差もあまり見られない。

## 75. キャンパス内マナーの満足度

新規の設問である。キャンパス内のマナーについては、「満足」19.4%、「やや満足」58.0%、「やや不満」14.5%、「不満」8.1%である。8割近くの回答が満足の方を選択している。

	合計	満足	やや満足	やや不満	不満
全体	3014	584	1748	437	245
男	2237	436	1286	318	197
女	757	143	451	117	46
学部生	2157	380	1295	307	175
大学院生	839	199	444	128	68
農学部	654	131	375	105	43
工学部	1503	249	920	202	132
農学府	147	35	77	27	8
工学府	502	102	283	76	41
連合農学研究科	41	16	20	3	2
BASE	91	31	33	17	10
技術経営研究科	39	11	20	4	4
連合獣医学研究科	19	4	11	1	3



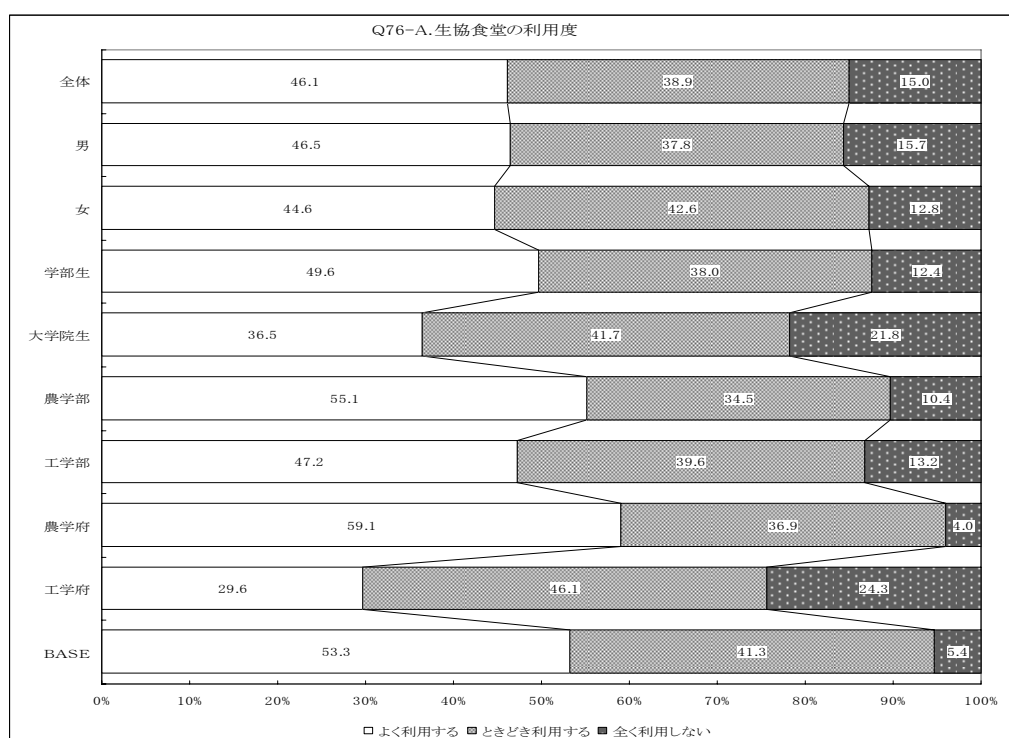
## 7 6. 農学部福利厚生センター及び工学部総合会館の利用状況

A. 「生協食堂」については、「よく利用する」46.1%（前回43.1%）、「ときどき利用する」38.9%（前回40.4%）、「全く利用しない」15.0%（前回16.5%）である。男女差は見られず、「よく利用する」割合は、農学部が工学部より8ポイント高く、学部生が大学院生より13ポイント高い。とくに農学府が工学府より19ポイントも高いのは、府中と小金井キャンパス周辺の飲食環境の違いによるものかも知れない。

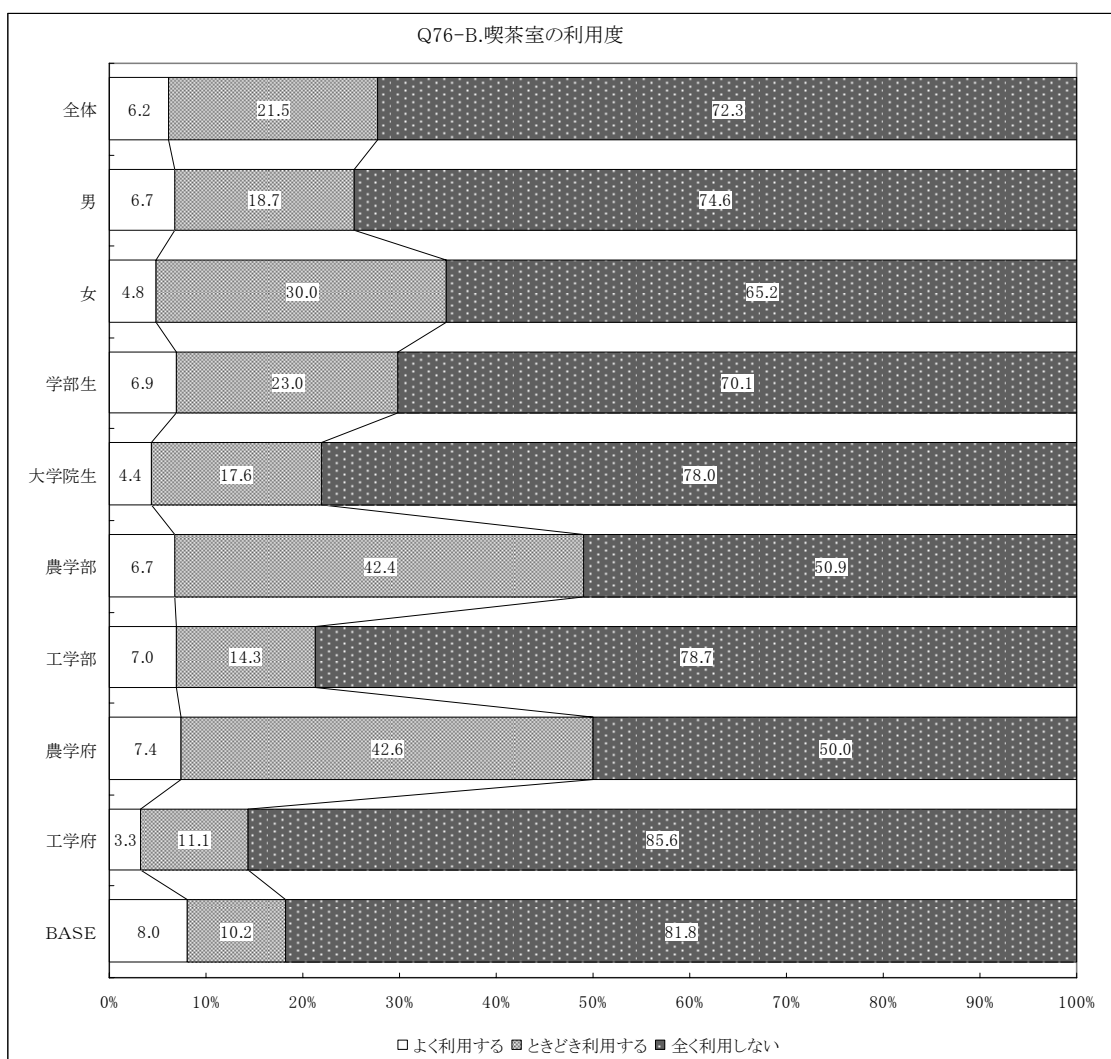
B. 「喫茶室」については、「よく利用する」6.2%（前回8.5%）、「ときどき利用する」21.5%（前回24.6%）、「全く利用しない」72.3%（前回66.9%）である。前回、男女差や学部間に大きな差は認められなかったが、今回は利用する（よく、ときどき）割合において、男子25.4%、女子34.8%、農学部49.1%、工学部21.3%、農学府50.0%、工学府14.4%というように大きな差が認められた。両キャンパスの生協食堂との配置、構造の違いによるものかもしれない。

C. 「売店」については、「よく利用する」44.4%（前回43.1%）、「ときどき利用する」48.4%（前回44.2%）、「全く利用しない」7.2%（前回7.8%）である。

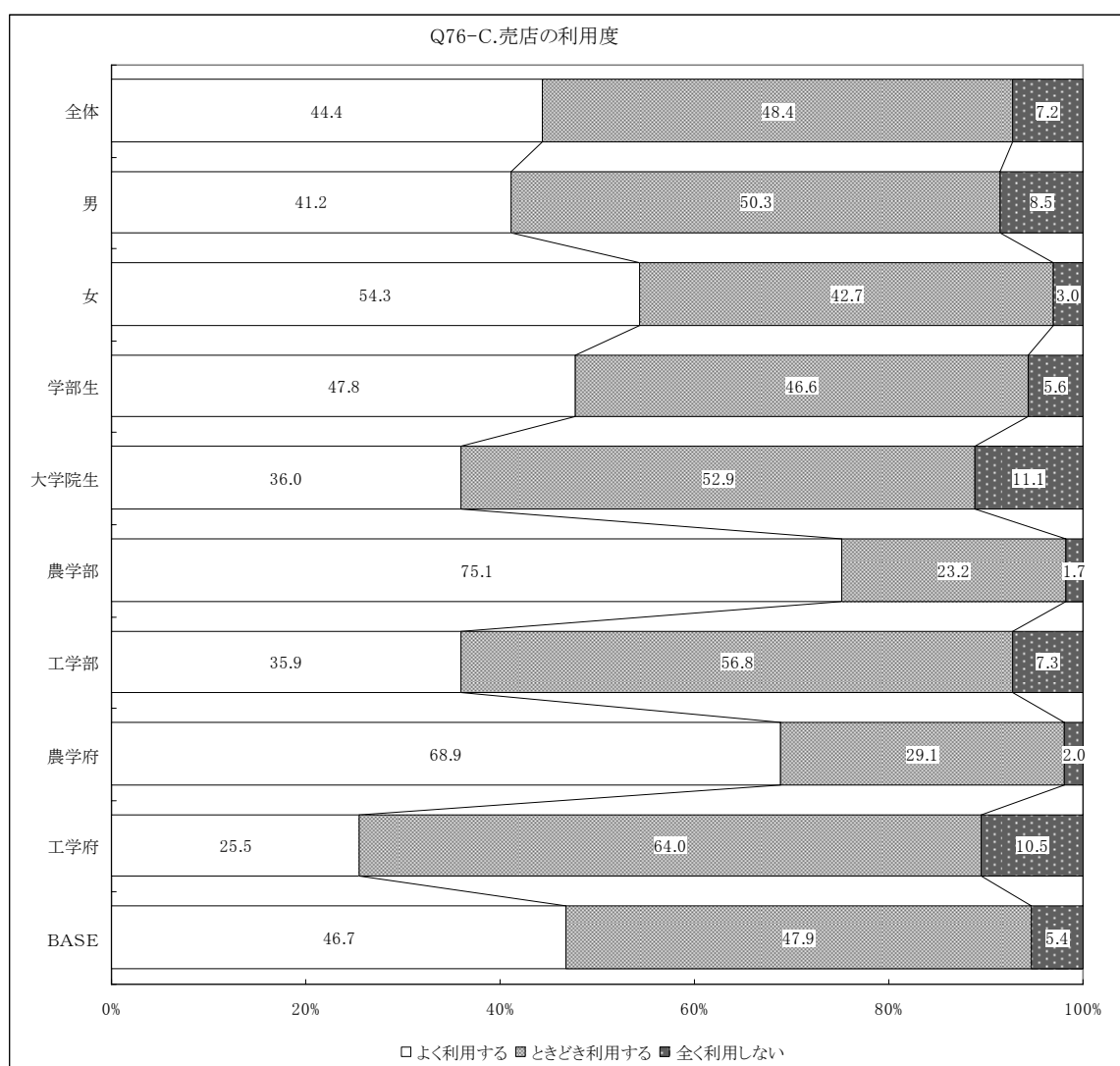
Q76-A. 生協食堂の利用度				
	合計	よく利用する	ときどき利用する	全く利用しない
全体	3039	1400	1183	456
男	2255	1047	853	355
女	763	340	325	98
学部生	2170	1077	825	268
大学院生	850	310	355	185
農学部	661	364	228	69
工学部	1509	713	597	199
農学府	149	88	55	6
工学府	506	150	233	123
連合農学研究科	42	18	14	10
BASE	92	49	38	5
技術経営研究科	42	1	6	35
連合獣医学研究科	19	4	9	6



Q76-B.喫茶室の利用度				
	合計	よく利用する	ときどき利用する	全く利用しない
全体	2936	182	631	2123
男	2193	147	410	1636
女	723	35	217	471
学部生	2101	145	484	1472
大学院生	817	36	144	637
農学部	654	44	277	333
工学部	1447	101	207	1139
農学府	148	11	63	74
工学府	479	16	53	410
連合農学研究科	42	2	14	26
BASE	88	7	9	72
技術経営研究科	41	0	1	40
連合獣医学研究科	19	0	4	15



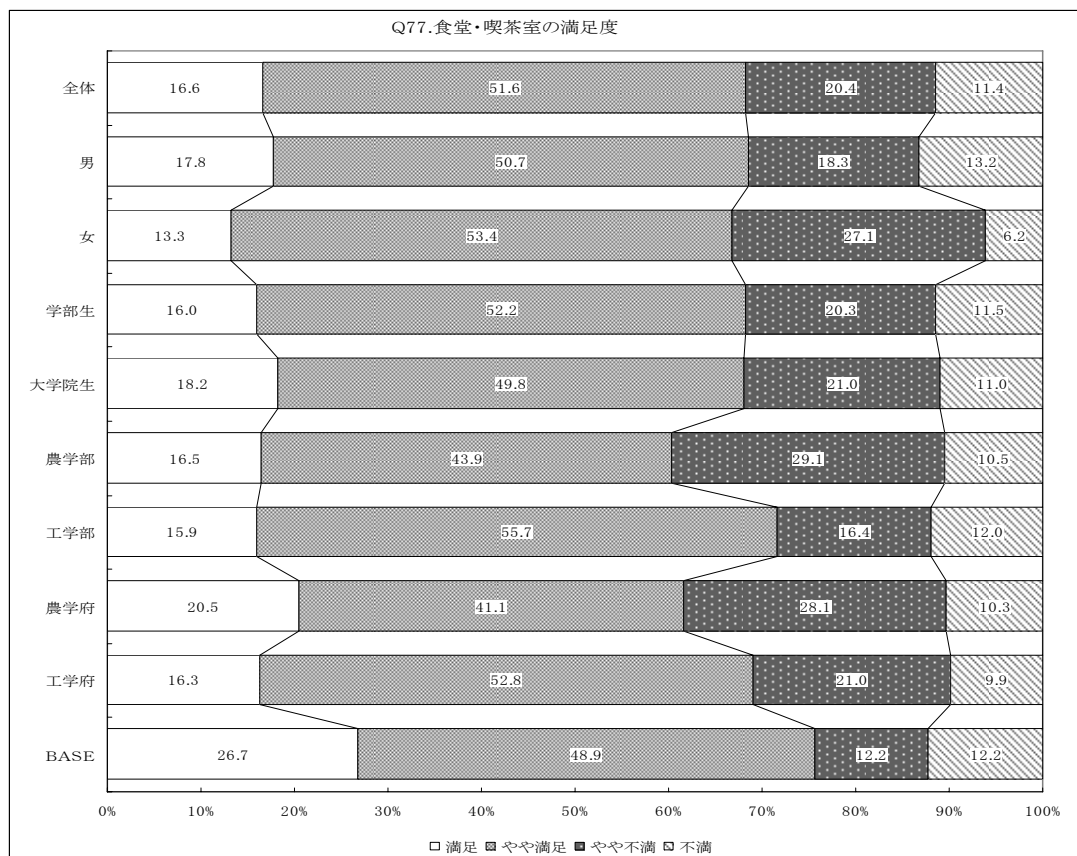
Q76-C.売店の利用度				
	合計	よく利用する	ときどき利用する	全く利用しない
全体	3032	1346	1469	217
男	2250	928	1130	192
女	761	413	325	23
学部生	2166	1036	1009	121
大学院生	847	305	448	94
農学部	660	496	153	11
工学部	1506	540	856	110
農学府	148	102	43	3
工学府	506	129	324	53
連合農学研究科	42	15	25	2
BASE	92	43	44	5
技術経営研究科	40	2	8	30
連合獣医学研究科	19	14	4	1



## 77. 食堂・喫茶室の満足度

今回は満足度を前回の2択から4択に、選択肢の文も若干変えて調査した（設問78、81についても同様）。結果は、「満足」16.6%、「やや満足」51.6%、「やや不満」20.4%、「不満」11.4%である。前の2択を併せると68.2%（前回「満足している」37.6%）、後の2択を併せると31.8%（前回「満足していない」62.4%）となる。選択肢が2から4に変わったので単純比較に限界はあるが、満足度が大幅にアップしたと考えてよいだろう。男女差はなく、学部、学府において農学（府中）より利用率の低い工学（小金井）の満足度の割合が高い。

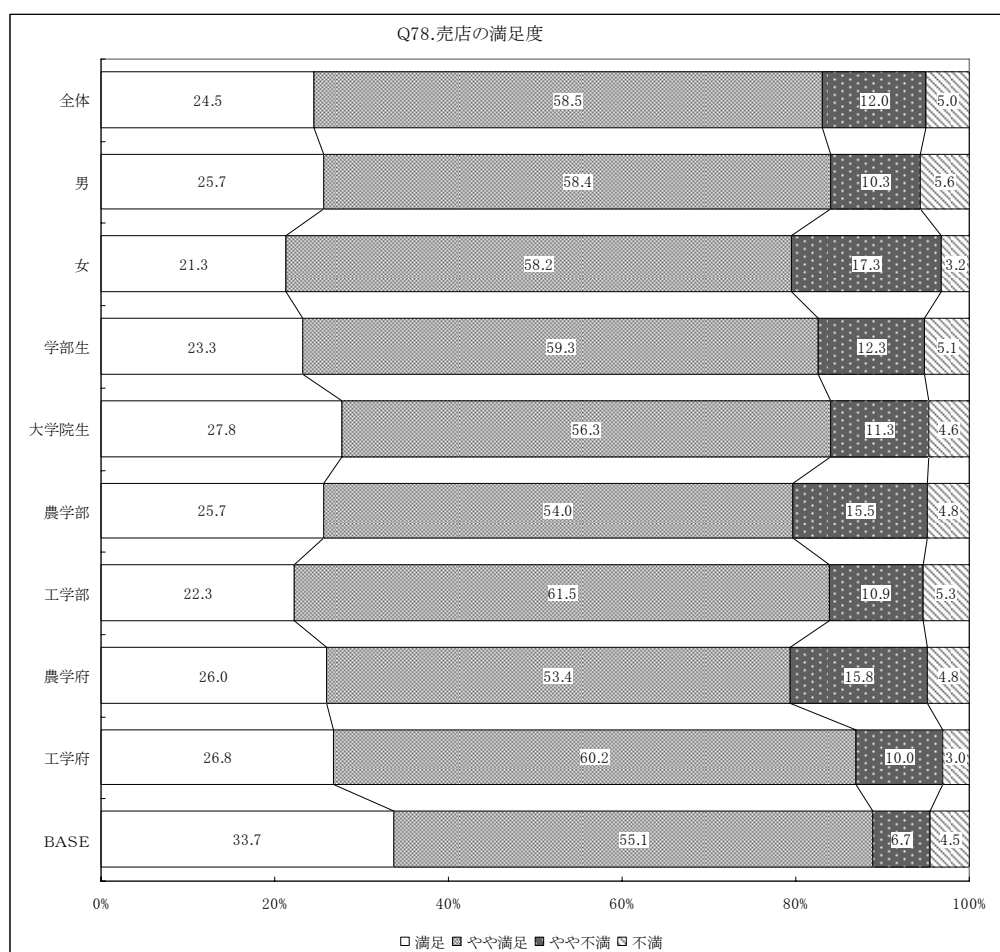
Q77.食堂・喫茶室の満足度					
	合計	満足	やや満足	やや不満	不満
全体	2946	490	1517	602	337
男	2183	388	1108	399	288
女	743	99	397	201	46
学部生	2120	340	1106	430	244
大学院生	808	147	402	170	89
農学部	650	107	286	189	68
工学部	1470	233	820	241	176
農学府	146	30	60	41	15
工学府	486	79	257	102	48
連合農学研究科	38	9	16	9	4
BASE	90	24	44	11	11
技術経営研究科	32	4	17	5	6
連合獣医学研究科	16	1	8	2	5



## 78. 売店の満足度

売店については、「満足」24.5%、「やや満足」58.5%、「やや不満」12.0%、「不満」5.0%である。前の2択合算で83.0%（前回「満足している」67.4%）、後の2択合算で17.0%（前回「満足していない」32.6%）となっている性別、所属別でとくに差は認められない。

Q78.売店の満足度					
	合計	満足	やや満足	やや不満	不満
全体	2941	720	1720	354	147
男	2171	558	1268	223	122
女	750	160	436	130	24
学部生	2109	492	1249	260	108
大学院生	813	226	458	92	37
農学部	651	167	352	101	31
工学部	1458	325	897	159	77
農学府	146	38	78	23	7
工学府	492	132	296	49	15
連合農学研究科	40	16	16	7	1
BASE	89	30	49	6	4
技術経営研究科	28	6	12	3	7
連合獣医学研究科	18	4	7	4	3



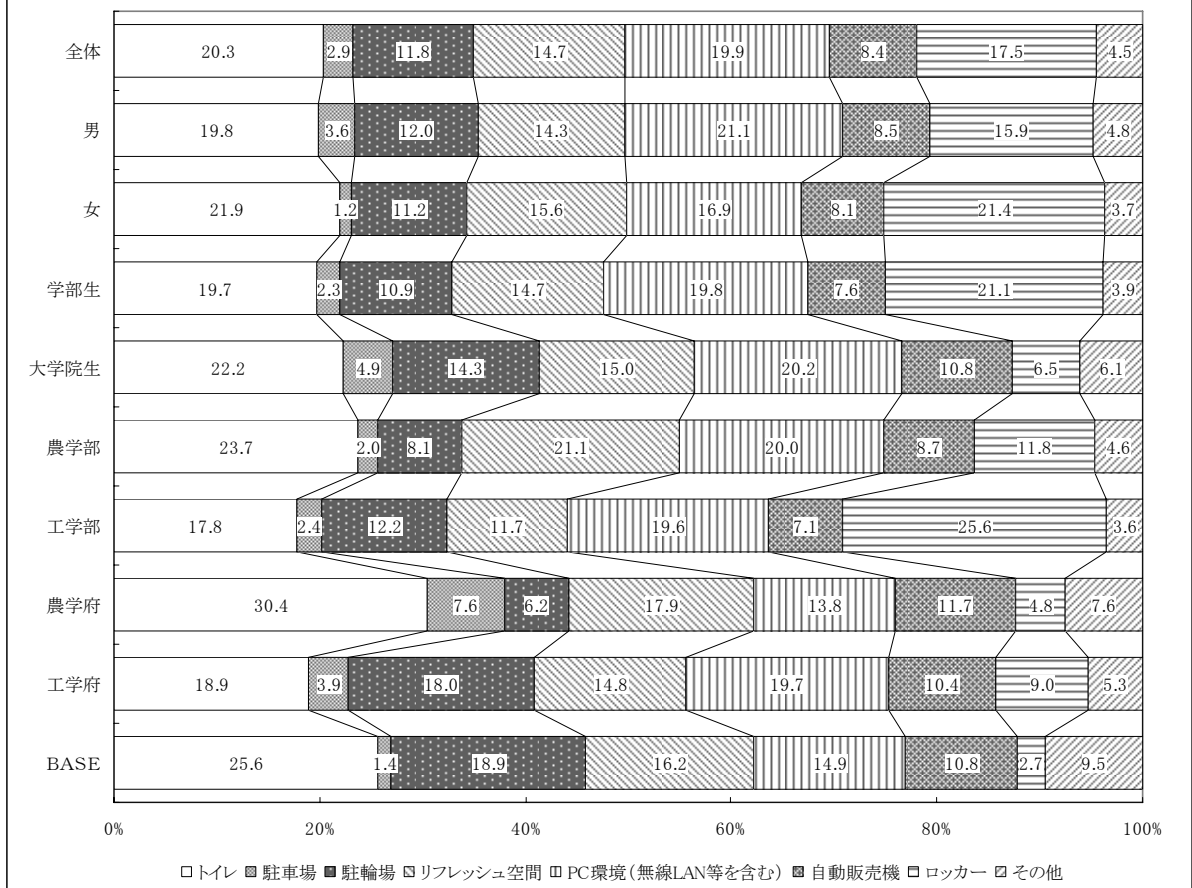
## 79. キャンパスの施設・設備環境改善希望（講義室を除く）

1,768件（男子1,263件、女子492件、性別不明13件）から回答があった（表の合計は、総回答数）。一人当たり平均1.6個選択したことになる。回答数の最多は、(1)「トイレ」でこの設問の回答者の32.7%（全体の18.6%に相当）が改善を希望している。男子は30.6%（前回38.5%）、女子は36.0%（前回49.8%）であり、女子の13ポイント減は、トイレ改善の実績の反映でもあるが、さらなる改善希望は多い。以下順に(2)「PC環境」、(3)「ロッカー」、(4)「リフレッシュ空間」、(5)「駐輪場」、(6)「自動販売機」、(7)「駐車場」、「その他」となっている。「その他」には、雨の日に大きな水溜りができる、の他は、すべて選択肢に含まれるものである。具体的な指摘や改善策として1,175件の記述がある。トイレに石鹸、全員にロッカー、PCが少ない、Macが使いにくい、自動販売機が少ない、学習談話室を、リフレッシュ空間がない、室内のカフェを、等々があり、今後の環境改善の資料となる。

Q79.講義室以外の施設・設備改善希望									
	合計	トイレ	駐車場	駐輪場	リフレッシュ空間	PC環境(無線LAN等を含む)	自動販売機	ロッカー	その他
全体	2833	578	83	333	416	563	238	495	127
男	2005	396	73	241	287	423	171	318	96
女	812	177	10	91	127	137	66	174	30
学部生	2086	410	47	228	306	412	158	444	81
大学院生	734	163	36	105	110	148	79	48	45
農学部	654	155	13	53	138	131	57	77	30
工学部	1432	255	34	175	168	281	101	367	51
農学府	145	44	11	9	26	20	17	7	11
工学府	412	78	16	74	61	81	43	37	22
連合農学研究科	44	7	5	3	3	16	5	0	5
BASE	74	19	1	14	12	11	8	2	7
技術経営研究科	45	10	2	4	8	15	4	2	0
連合獣医学研究科	14	5	1	1	0	5	2	0	0



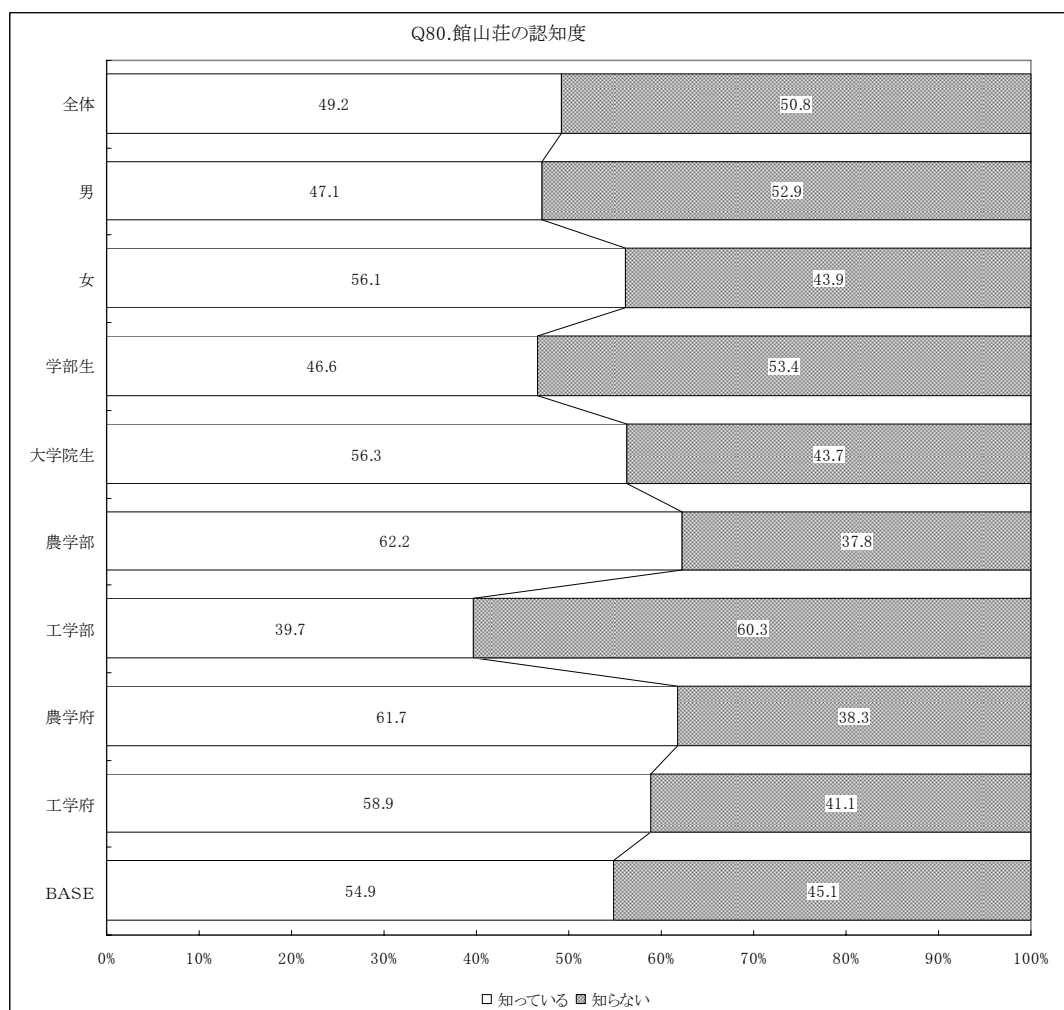
Q79.講義室以外の施設・設備改善希望



## 80. 館山荘の認知度

「知っている」が49.2%（前回53.0%）である。認知度で農学部（62.2%）が工学部（39.7%）より22ポイント高いのが特徴的である。

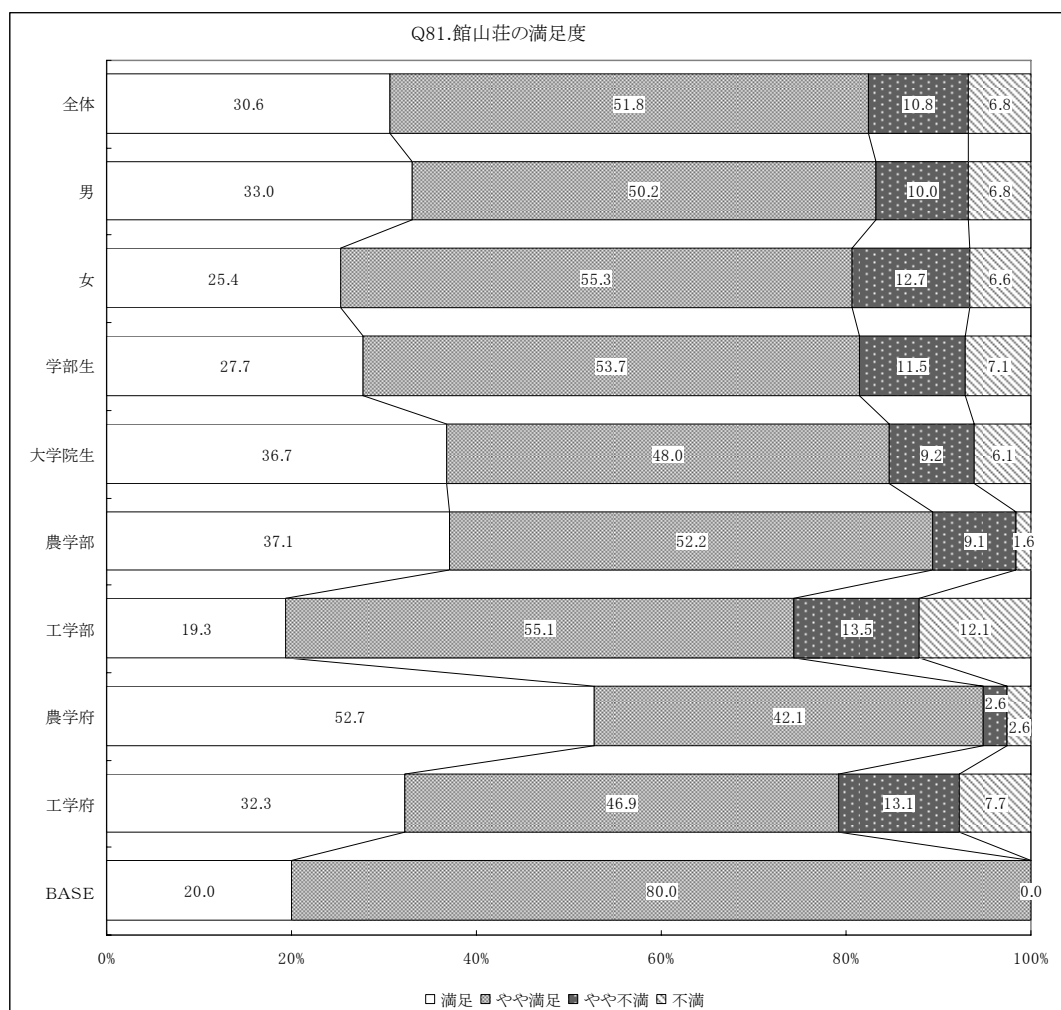
Q80.館山荘の認知度			
	合計	知っている	知らない
全体	3041	1495	1546
男	2258	1063	1195
女	763	428	335
学部生	2171	1011	1160
大学院生	852	480	372
農学部	661	411	250
工学部	1510	600	910
農学府	149	92	57
工学府	509	300	209
連合農学研究科	42	24	18
BASE	91	50	41
技術経営研究科	43	11	32
連合獣医学研究科	18	3	15



## 8 1. 館山荘の満足度

590 件の回答があり、「満足」30.6%、「やや満足」51.8%、「やや不満」10.8%、「不満」6.8%である。前回は、「満足している」が76.1%、「満足していない」が23.9%であった。

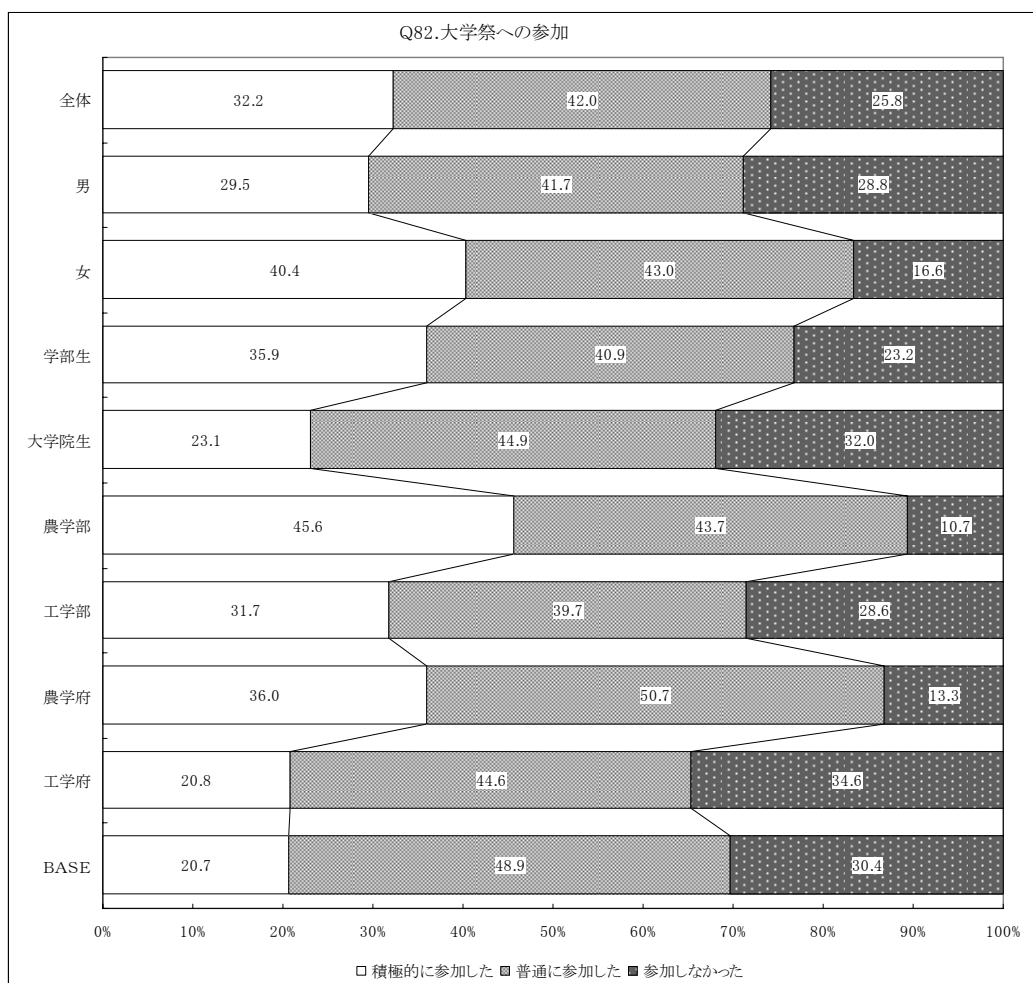
Q81.館山荘の満足度					
	合計	満足	やや満足	やや不満	不満
全体	592	181	307	64	40
男	409	135	205	41	28
女	181	46	100	23	12
学部生	393	109	211	45	28
大学院生	196	72	94	18	12
農学部	186	69	97	17	3
工学部	207	40	114	28	25
農学府	38	20	16	1	1
工学府	130	42	61	17	10
連合農学研究科	8	6	2	0	0
BASE	15	3	12	0	0
技術経営研究科	3	1	1	0	1
連合獣医学研究科	2	0	2	0	0



## 82. 大学祭への参加

「積極的に参加した」が32.2%（前回33.6%）、「普通に参加した」が42.0%（前回38.1%）、「参加しなかった」25.8%（前回28.2%）である。「積極的に参加した」と回答した割合は、農学部45.6%（前回54.1%）が工学部31.7%（前回33.0%）より12ポイント高く、大学院においても、農学府（36.0%）が工学府（20.8%）より高い。

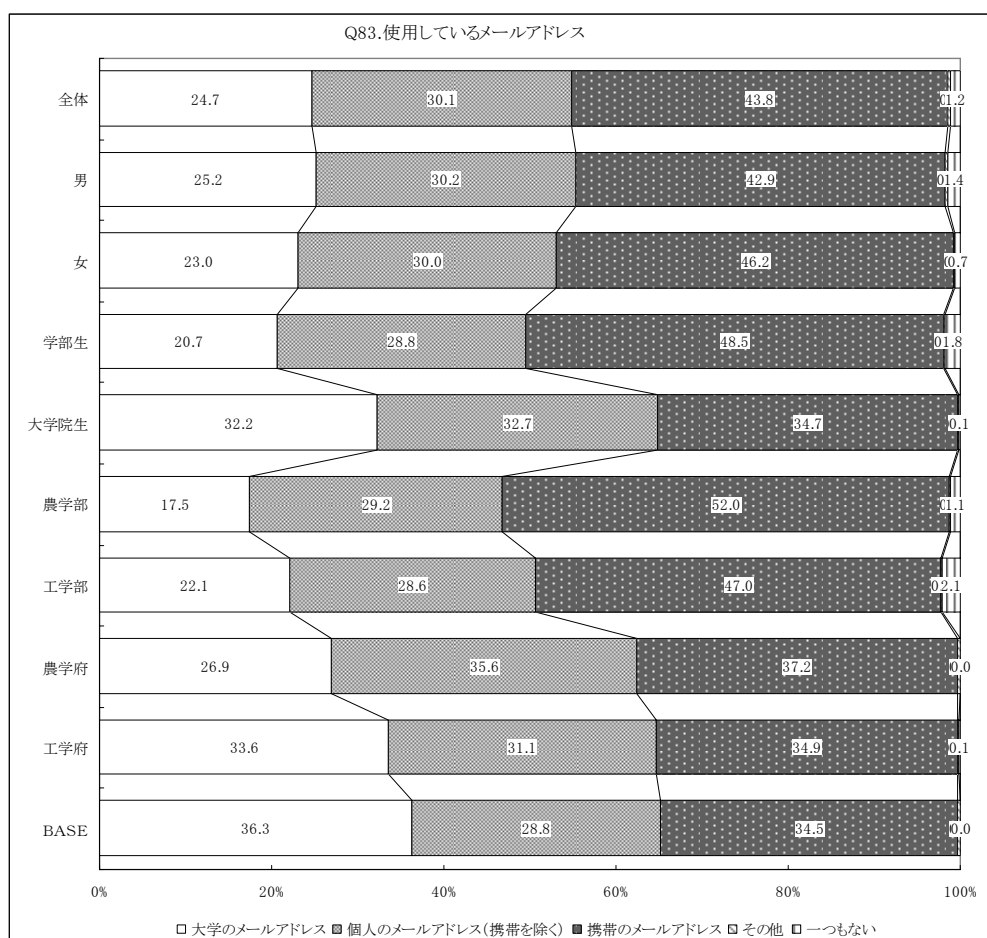
Q82.大学祭への参加				
	合計	積極的に参加した	普通に参加した	参加しなかった
全体	3020	973	1269	778
男	2245	663	935	647
女	755	305	325	125
学部生	2150	772	879	499
大学院生	852	197	382	273
農学部	646	295	282	69
工学部	1504	477	597	430
農学府	150	54	76	20
工学府	506	105	226	175
連合農学研究科	42	10	21	11
BASE	92	19	45	28
技術経営研究科	43	2	8	33
連合獣医学研究科	19	7	6	6



### 8.3. 使用しているメールアドレス

週一回以上確認しているメールアドレスはどれか、の設問に3,013件の回答があった。多い順に (1)「携帯のメールアドレス」2,668件(88.5%)、(2)「個人のメールアドレス(携帯を除く)」1,839件(61.0%)、(3)「大学のメールアドレス」1,508件(50.0%)、(4)「一つもない」75件(2.5%)、(5)「その他」14件(0.5%)である。「その他」はサークル、研究室、民間企業など。

	合計	大学のメールアドレス	個人のメールアドレス(携帯を除く)	携帯のメールアドレス	その他	一つもない
全体	6104	1508	1839	2668	14	75
男	4557	1150	1376	1955	12	64
女	1503	346	451	694	2	10
学部生	3986	827	1148	1932	7	72
大学院生	2078	669	679	721	7	2
農学部	1184	207	346	616	2	13
工学部	2802	620	802	1316	5	59
農学府	357	96	127	133	1	0
工学府	1265	425	394	441	4	1
連合農学研究科	93	27	37	28	0	1
BASE	229	83	66	79	1	0
技術経営研究科	98	30	38	29	1	0
連合獣医学研究科	36	8	17	11	0	0



#### 8 4. 生活情報の入手先（外国人留学生）

96 件の回答からの分析が表である。担任・指導教員、留学生センター（現・国際センター）教職員、留学生同士およびインターネットから必要な情報を得ていることが多い。

Q84.生活情報の入手先(留学生)										
	合計	留学生の手引き	留学生センターの教職員	担任教員や指導教員	他の留学生	チューター	チューター以外の日本人学生	インターネット	その他	情報が得られない
全体	257	14	39	47	63	15	22	51	4	2
(%)	100.0	5.4	15.2	18.3	24.5	5.8	8.6	19.8	1.6	0.8
男	175	11	27	33	46	9	12	33	2	2
(%)	100.0	6.3	15.4	18.9	26.3	5.1	6.9	18.9	1.1	1.1
女	82	3	12	14	17	6	10	18	2	0
(%)	100.0	3.7	14.6	17.1	20.7	7.3	12.2	22.0	2.4	0.0
学部生	85	2	14	9	25	4	8	19	3	1
(%)	100.0	2.4	16.5	10.6	29.3	4.7	9.4	22.4	3.5	1.2
大学院生	170	12	25	37	38	11	13	32	1	1
(%)	100.0	7.1	14.7	21.8	22.3	6.5	7.6	18.8	0.6	0.6
農学部	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
工学部	84	2	14	9	25	4	8	18	3	1
農学府	44	6	6	9	6	5	3	8	1	0
工学府	60	3	10	11	15	3	4	13	0	1
連合農学研究科	36	1	6	9	10	0	3	7	0	0
BASE	21	2	3	4	5	2	1	4	0	0
技術経営研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
連合獣医学研究科	9	0	0	4	2	1	2	0	0	0

## 第IX章 進路（就職・進学）

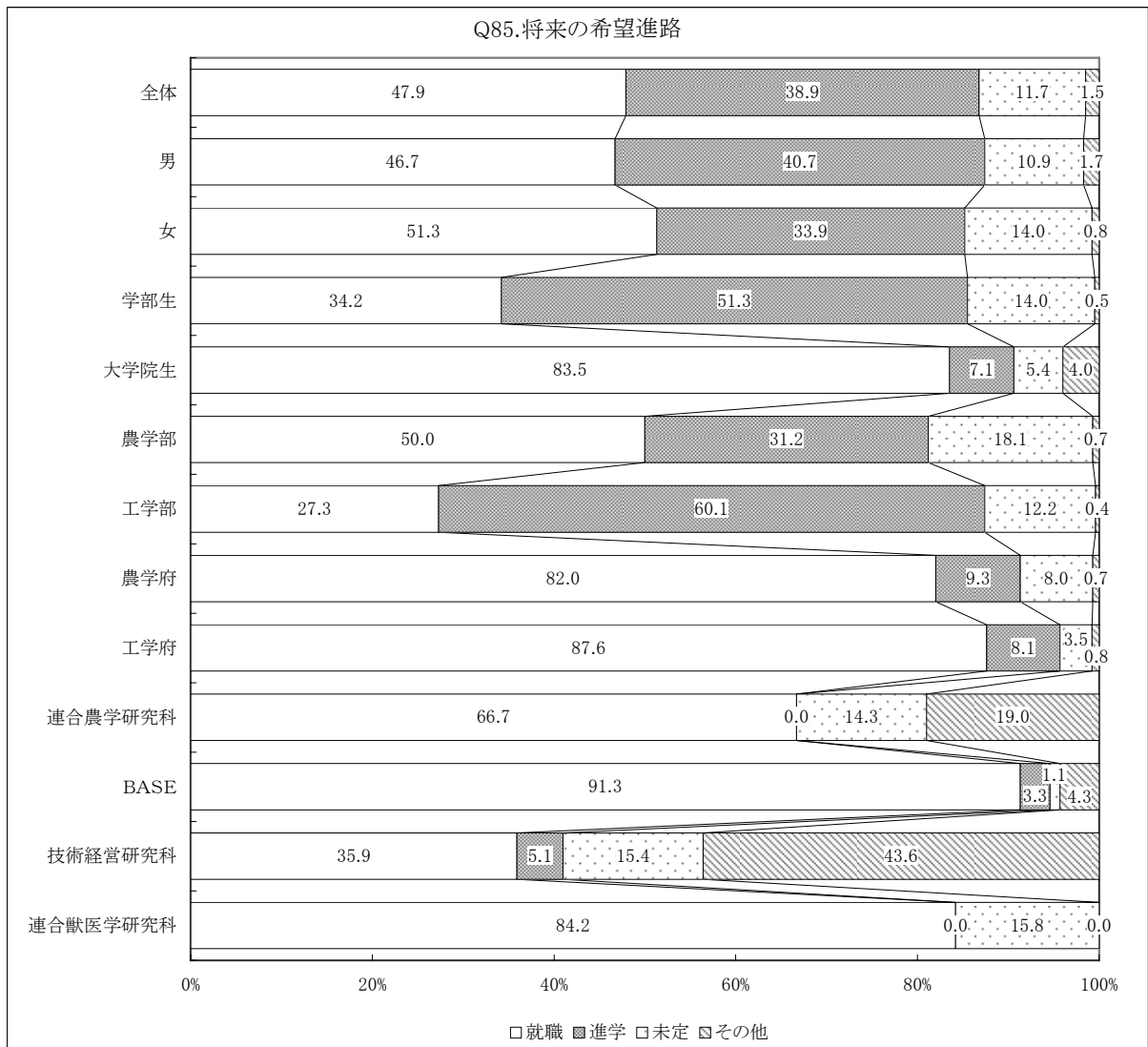
### 85. 将来の希望進路

進学希望は、男子でやや高率となっている。学部から修士課程への進学希望率は、工学部で約三分の二，農学部で約三分の一と大きく異なる。修士から博士への進学希望率は農学府と工学府で同程度となっているが、工学府の母数には博士課程学生も含まれると考えられるので単純比較はできない。

農学系（農学部，農学府，連合農学研究科，連合獣医学研究科）で未定の率が高く、農学系の学生がさまざまな進路を検討していることをうかがわせる。（Q87 参照）

技術経営研究科には社会人学生が多く、その他にはすでに社会人となっている学生（職場復帰あるいは起業など）が含まれると考えられる。

全体の傾向は、前回とほぼ同様である。



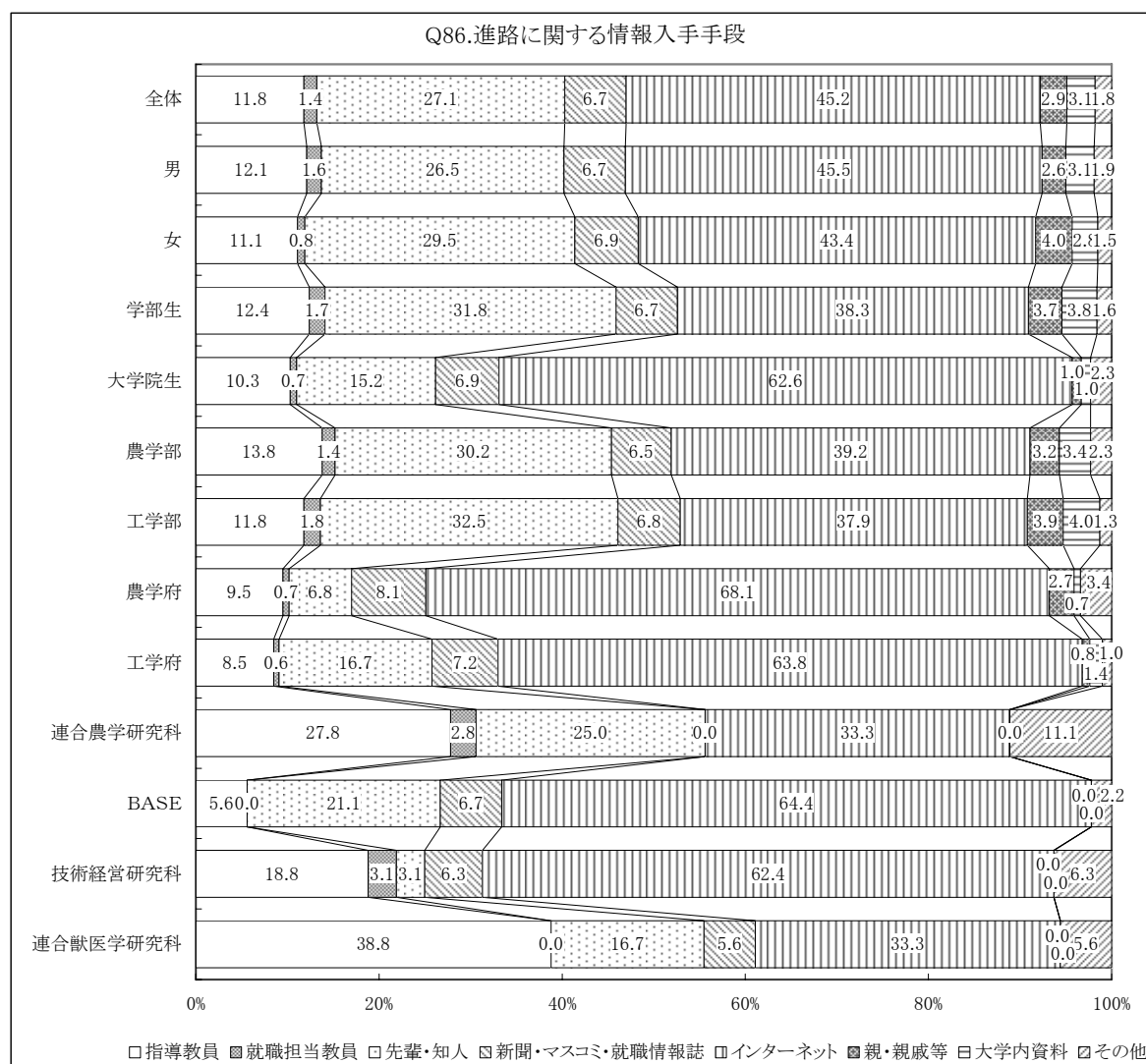
## 86. 進路に関する情報入手手段

傾向は、前回調査と同様であった。

インターネット利用が最も多い。学部学生は、このほかに「先輩・知人」、「指導教員」から情報を得る率が高くなっている。また、連合農学研究科、連合獣医研究科では、指導教員からの情報も多くなっている。

農学部と工学部の差は少なかった。農学府と工学府ではインターネットへの依存率が高く、とくに農学部で高くなっている。

いずれにしても、大学経由の情報収集（教員あるいは学内資料利用）の程度は高くない。現在の支援方法の是非の検討が必要と考えられる。（Q88, Q89を参照）





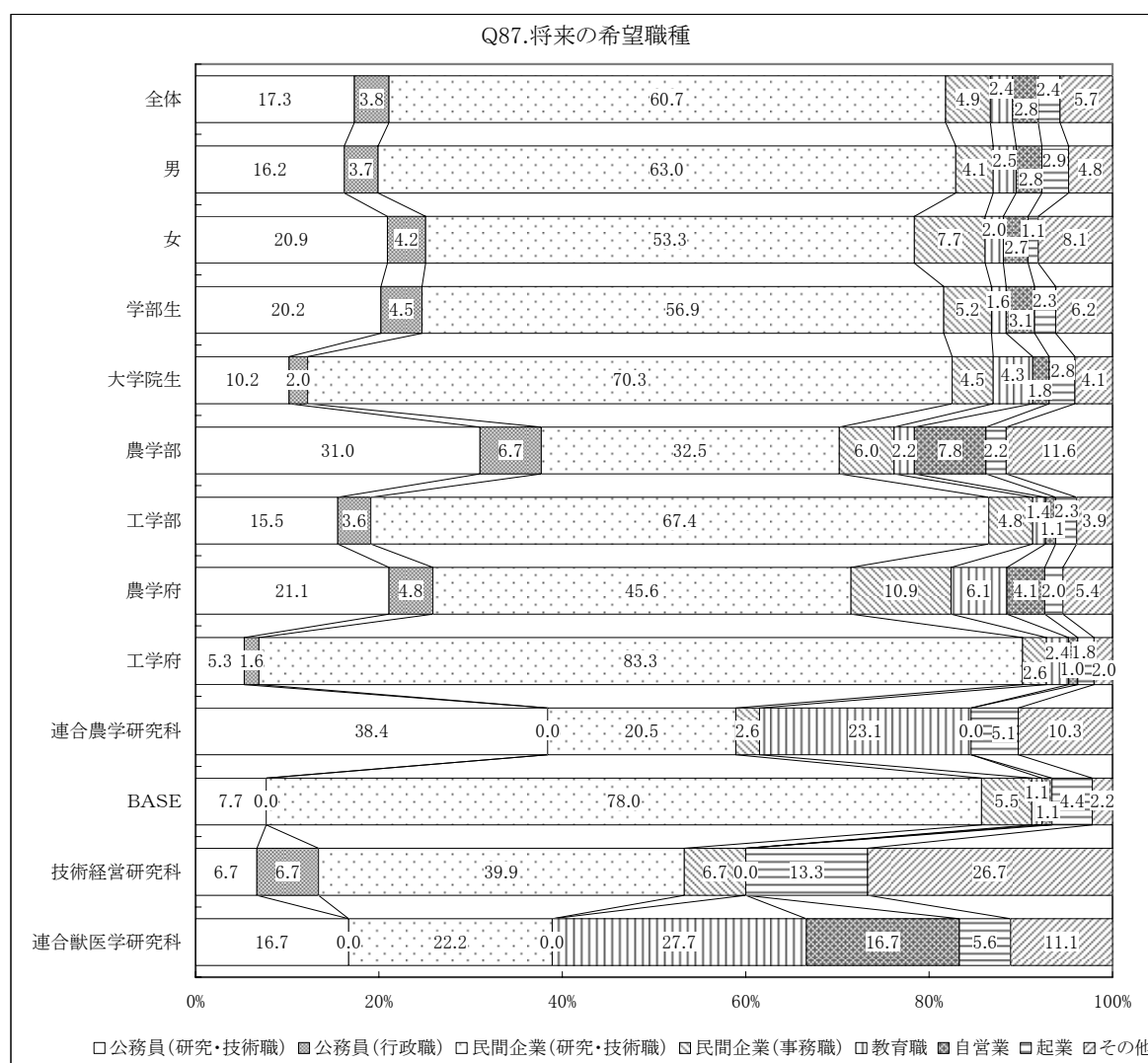
## 87. 将来の希望職種

傾向は、前回から変化していない。

各学部・学府とも研究・技術職を志望する者が多い。

農学系（農学部，農学府，連合農学研究科，連合獣医学研究科）では公務員志望者が多く、民間企業への志望者が少ない。農学府で民間企業の事務職への志望率が高くなっている。連合農学研究科、連合獣医学研究科では、教員志望も多い。このように、農学系の学生は進路としてさまざまな職種を考えており、その結果 Q85 に見られるように志望先未定が増えていると考えられる。

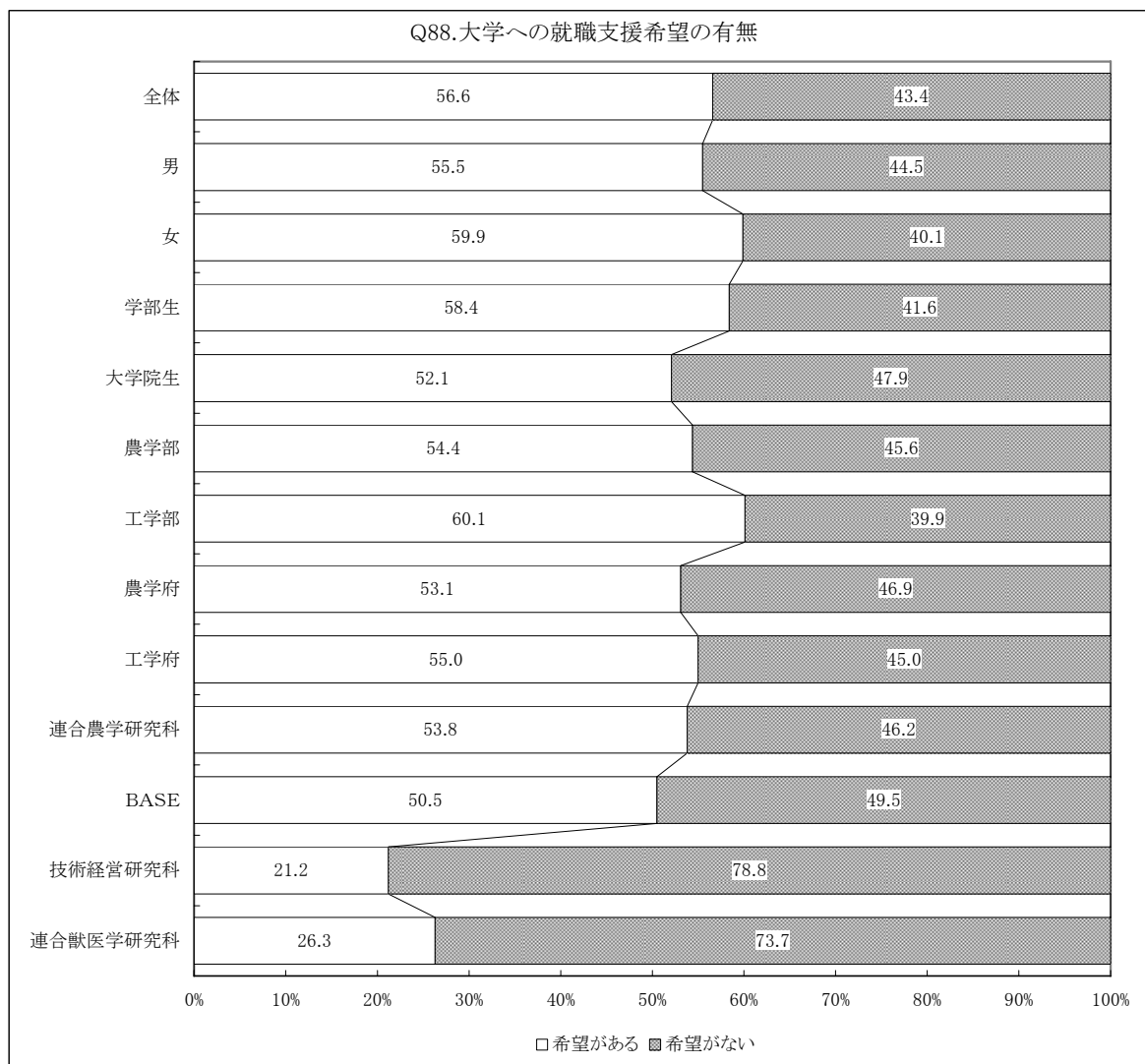
一方、工学系の学生の多くは民間企業の研究・技術職を目指している。



## 88. 大学への就職支援希望の有無

支援を希望する割合は前回より漸減であるが、いまだに半数以上の学生が更なる支援を希望している。

連合獣医学研究科、MOTを除くと、男女、学部、大学院、農工の差は小さい。Q89の回答を見ながら適切な支援をすることが必要だと考えられる。

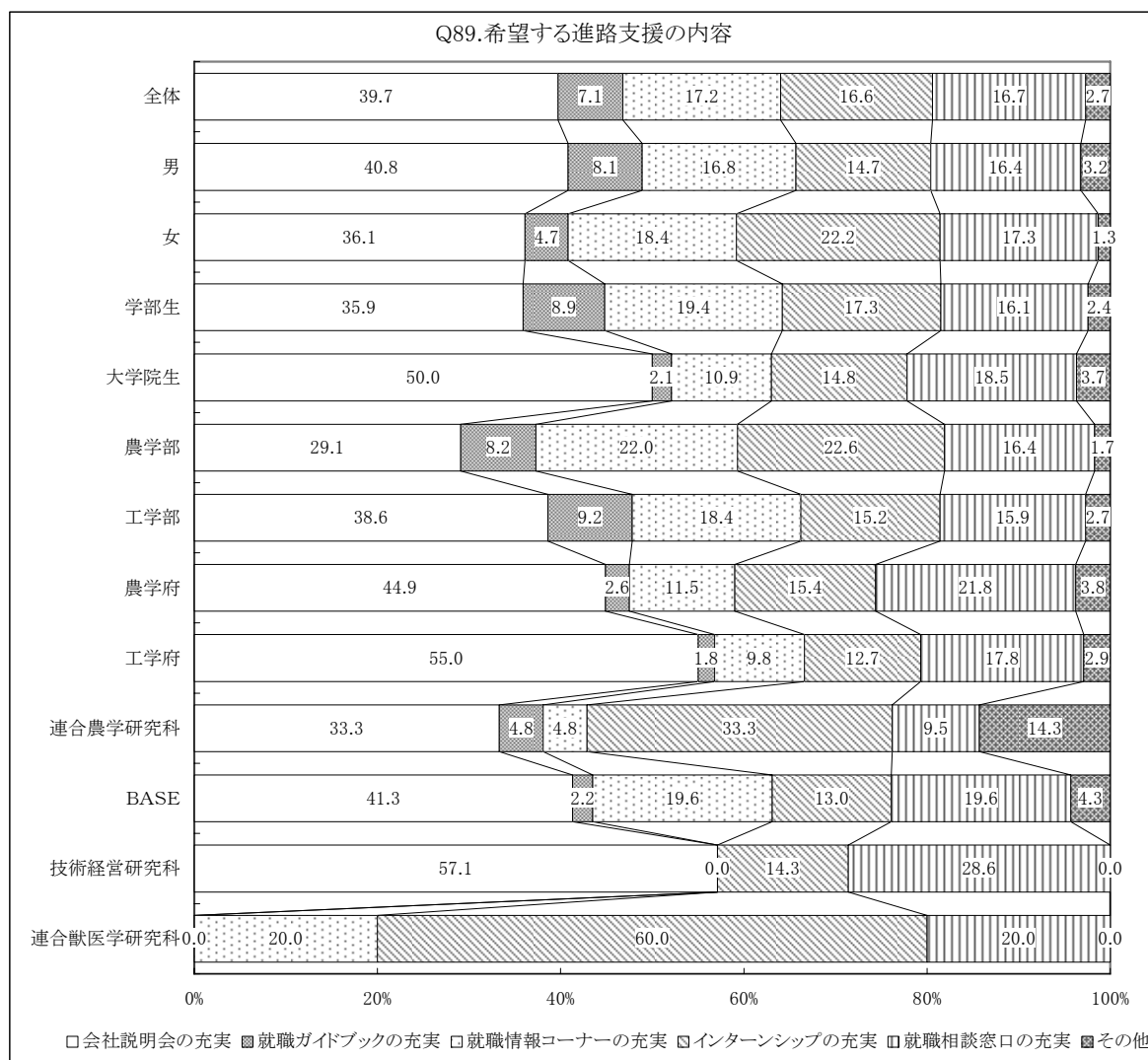


## 89. 希望する進路支援の内容

農学系、工学系とも会社説明会の充実を望む声が多い。現状では、大学側からの働きかけで実施される説明会はほとんどなく、企業側からの申し入れがあった場合に説明会を開催するケースが大部分だと考えられる。説明会の充実が実現可能かどうかの検討が必要である。

農学系、工学系とも「就職情報コーナーの充実」や「就職相談窓口の充実」の希望も少なくない。具体的にどのような情報や相談窓口を望んでいるのかを調査して可能な限り充実させることを考える必要があると考えられる。

「インターンシップの充実」についても希望が多く、とくに農学系での希望が多い。農学系ではまだインターンシップはわずかしかな行なわれていないので、実施の拡大を検討する必要があると考えられる。



## 第X章 要望・意見等

### 90. 学生から多く寄せられた、大学に対する意見・要望等

主としてキャンパスごと、また必要に応じ、性別、学科ごとに、自由意見を箇条書きにまとめ、件数とともに示した。

区分	(複数回答)	合計	府中 キャンパス	小金井 キャンパス	不明
Ⅲ 住居 寮 20件	寮費が高い(樺)	5	-	-	-
	個室化に反対(樺)	5	-	-	-
	両キャンパスに男女とも寮があるべき	2	-	-	-
	老朽化、セキュリティ対策が必要(楓)	3	-	-	-
	収容人員が少ない	2	-	-	-
	新寮開設にあたって学生の意見を取り入れてほしかった(樺)	2	-	-	-
	居住可能期間を延ばしてほしい(留学生)	2	-	-	-
	その他(寮の情報がない、経済的支援がほしい等)	7	-	-	-
	合計	20	(男子9、女子5、不明6)		
Ⅴ 学習環境 図書館 311件	開館時間・日を延長してほしい	91	26	62	3
	- 書庫・雑誌室を土・日・夜間も開けてほしい		2	15	0
	- 月末休館日をなくしてほしい		3	14	2
	- その他(土日祝、24時間、夜間・早朝、夏季休暇中の開館等)		21	33	1
	蔵書に問題がある	84	26	54	4
	- 一般書・雑誌がほしい		10	11	1
	- 学術雑誌を増やしてほしい		2	22	0
	- 蔵書が古い		4	5	0
	- その他(電子ジャーナル数を増やして欲しい、学術雑誌の 途中が抜けている、ACSの雑誌を入れてほしい等)		10	16	3
	騒々しい	30	5	23	2
	狭い・席数が不足している	28	10	18	0
	エアコンの温度が適正でない	27	13	14	0
	PCを増やしてほしい	17	2	15	0
	その他(無線LANが繋がらない、暗い、コピーカードの館内販売等)	34	15	19	0
	合計	311	97	205	9
講義室・ 実験室 192件	冷暖房に関して不満がある	52	25	25	2
	- 冬寒く夏暑い		17	9	1
	- エアコンスイッチは部屋に常備してほしい		0	12	0
	- その他(建物により設備の差がある、効きすぎる、等)		8	4	1
	椅子・机が古い、小さい、硬い、体に合わず腰痛になった	34	12	22	0
	教室が縦長で段差がないため黒板が見づらい	21	0	21	0
	学生実験器具が古い、数が不足している	20	9	11	0
	部屋が狭い	18	5	13	0
	建物が古い、ほろい、地震で崩壊する危険を感じる	10	6	4	0
	その他(時計がない(府中)、自習スペースがない、研究室が狭い等)	37	21	11	5
合計	192	78	107	7	
事務・ 運営 153件	セキュリティで不便を感じている	29	1	28	0
	- 正門以外の門を夜間・日曜日開けてほしい		0	25	0
	昼休みも窓口を開けてほしい	17	1	16	0
	事務職員の態度が良くない	14	5	9	0
	本アンケートについての意見	14	3	11	0
	- 無駄、設問が多い・悪い、webアンケートにせよ		2	7	-
	- 結果をフィードバックしてほしい		1	4	-
	その他(学費が高い、課外活動団体への資金援助がほしい、ロゴが良くない等)	79	22	55	2
合計	153	32	119	2	

講義・ カリキュラム 208件	教員に問題がある	23	6	17	0	
	-やる気がない、講義が下手		2	10	0	
	-その他(講義内容について教員同士で意思統一されていない等)		4	7	0	
	講義の選択肢が狭いので自由度がほしい	16	2	14	0	
	英語のレベルが低い、英語に力を入れるべき	9	1	7	1	
	その他(科目間での内容重複がある、実学を重視するべき、休講の連絡を素早く等)	160	58	100	2	
	合計	208	67	138	3	
	○ 学科に特異的な意見					
	生物生産学科: 科目が多い、課題に時間がとられる、厳しすぎる	4	-	-	-	-
	地域生態システム学科: プログラムパッケージ制度に疑問を感じる	3	-	-	-	-
獣医学科: 基礎より前に専門を履修する講義順序に疑問	4	-	-	-	-	
工学部化学系3学科: 科目選択の幅を広げてほしい、他コースの講義が	-	-	6	-	-	
電気電子工学科: 学籍番号によるクラス分けなのにクラスごとの成績評価基準が異なり不平等	-	-	4	-	-	
工学部情報系2学科: 講義数が、2年次が暇、3年次が密でバランスが悪	-	-	6	-	-	
VI VII サークル・部 活 238件	サークル棟・部室が狭い、部室がほしい	78	-	-	78	
	体育施設・サークル棟の利用時間を長くしてほしい	43	-	-	43	
	サークル棟の汚損、故障、改装・建替え希望	30	-	-	30	
	グラウンドに照明がほしい	22	14	8	0	
	体育施設が狭い、少ない	17	0	6	11	
	その他(課外活動に資金援助が欲しい、メンテナンスが必要等)	48	-	-	48	
	合計	238	14	14	210	
設備 155件	トイレを改善してほしい(汚い、臭う、和式のみなど)	24	13	11	0	
	PC・モバイル環境について、共通のPCがMACなので使いにくい、SPICAを自宅からでも使いたい、携帯電話の電波が入らない等	23	5	18	0	
	駐車・駐輪に関する意見	20	4	16	0	
	-駐輪するために(生協に)お金を払うことに納得がいかない		0	6	0	
	-駐輪場を増やしてほしい、整備してほしい		0	9	0	
	ロッカーがほしい	19	0	19	0	
	授業がないときに過ごせる場所がほしい	17	11	6	0	
	水飲み場、リサイクル箱、広場が欲しい、ピオトープの改善	15	6	9	0	
	掲示板増設・携帯電話で見られるようにしてほしい	13	0	13	0	
	その他(故障、修繕箇所の指摘、設備要求等)	24	7	17	0	
合計	155	46	109	0		
VIII 学生生活 マナー 196件	喫煙に関する意見	106	22	84	0	
	-喫煙場所を守らない人がいる(歩きたばこ含め)		14	46	0	
	-喫煙場所で吸われても副流煙が来る。困る、 移転、密室化してほしい		6	12	0	
	-13号館下の喫煙所が汚い、副流煙が来る、移転してほしい		-	9	0	
	-全面禁煙にすべきである		0	7	0	
	-ポイ捨てを見かける		0	6	0	
	-喫煙所を増設すべき。全面禁煙するべきではない。		0	5	0	
	ゴミの捨て方が悪い	38	16	22	0	
	駐輪のマナーが悪い	21	3	18	0	
	その他(傘・自転車盗、騒音、酔って器物損壊等)	31	19	9	3	
合計	196	60	133	3		
IX 進路 23件	食堂・喫茶室に対する自由意見	369	143	216	10	
	-量・値段・味が見合っていない		29	91	5	
	-開店時間が短い		43	12	0	
	-狭い、混雑している、座席がない		41	51	4	
	-メニューに不満(増やして、復活して)		14	34	0	
	-カフェがほしい		0	10	0	
	-その他(効率が悪い、接客が良くない、電子マネー導入、宗教的理由により肉なしのメニューがあるとよい等)		16	18	1	
	売店に対する自由意見	93	29	60	4	
	-品ぞろえが悪い		9	23	1	
	-開店時間が短い(特に府中は周囲に店が少ないので)		13	11	1	
	-混雑		4	12	1	
	-値段が高い		3	8	1	
	-その他(手際が良くない等)		0	6	0	
合計	462	172	276	14		
もっと支援してほしい(相談や卒業生の就職先情報等)	16	2	14	0		
就職相談窓口の有効性に疑問(開設時間が短いなど)	4	2	2	0		
その他(学卒就職者への支援が手薄、等)	3	0	3	0		
合計	23	4	19	0		

# 巻末資料

## 1. 委員会等の構成メンバー

### 学生生活実態調査ワーキンググループ 委員

主査	服部 順昭	農学府教授	評議員
	高橋 信弘	農学府教授	平成21年度農学府・農学部学生生活委員長
	高柳 正夫	農学府教授	平成21年度農学府・農学部学生生活副委員長
	仁藤 修	工学府教授	平成21年度工学府・工学部学生生活委員長
	金子 敬一	工学府准教授	平成21年度工学府・工学部学生生活副委員長
	津川 若子	工学府・技術経営研究科准教授	
			平成21年度技術経営研究科学生生活委員長
	田崎 敦子	国際センター准教授	
	調 麻佐志	大学教育センター准教授	
	早川 東作	保健管理センター教授	

### 事務

総括チームリーダー（学生担当）	大滝 正史
学生支援チームリーダー	田川 恵二
学生支援副チームリーダー	吉村 正幸
学生支援係長	米沢谷 英俊

# 第6回 学生生活実態調査

2009年度

..... お 願 い .....

この調査は、本学の学生の生活実態を把握し、今後の学生生活に役立てるための基礎資料を得ることを目的に、全学生を対象として実施するもので、1994年度に初回を実施し、定期的に行っているものです。これまでの調査結果を基に検討を行い、様々な改善を行ってきました。

趣旨をご理解の上、是非、本年11月2日現在の状況について回答くださるようお願いいたします。

この調査により、知り得た情報は他の目的に流用したり、調査内容を他に提供することは一切ありません。

また、調査結果については、分析をした上で2010年に公表いたします。

調査票は、回答欄に記入後、11月20日（金）までに各所属学科等の担当者へ提出してください。

平成21年11月2日

東京農工大学 学生生活委員会

# 第6回 学生生活実態調査

2009年度

調査票



## 記 入 上 の 注 意

1. 平成21年11月2日現在で記入してください。

2. 設問には、可能な範囲でできるだけ正確に回答をしてください。

なお、設問中の〈 〉内の見出し表示はその設問の調査対象者を示します。

3. 回答方法は、設問事項の回答欄に該当する事項の番号又は数値等を記入してください。

なお、複数回答欄を用意してある場合を除いて、一問一答です。

4. 満足度を4択で回答する質問で、「03：やや不満」又は「04：不満」と回答した方は、その具体的な内容を最終ページの「X 要望・意見等」欄にご記入ください。

# I 基本的事項

質問事項	選択肢欄	回答欄
1. 所属学科・専攻等	<p><b>【農学部】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>: 01. 生物生産学科</li> <li>: 02. 応用生物科学科</li> <li>: 03. 環境資源科学科</li> <li>: 04. 地域生態システム学科</li> <li>: 05. 獣医学科</li> </ul> <p><b>【農学府修士課程】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>: 15. 生物生産科学専攻</li> <li>: 16. 共生持続社会学専攻</li> <li>: 17. 応用生命化学専攻</li> <li>: 18. 生物制御科学専攻</li> <li>: 19. 環境資源物質科学専攻</li> <li>: 20. 物質循環環境科学専攻</li> <li>: 21. 自然環境保全学専攻</li> <li>: 22. 農業環境工学専攻</li> <li>: 23. 国際環境農学専攻</li> </ul> <p><b>【連合農学研究科博士課程】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>: 30. 生物生産科学専攻</li> <li>: 31. 応用生命科学専攻</li> <li>: 32. 環境資源共生科学専攻</li> <li>: 33. 農業環境工学専攻</li> <li>: 34. 農林共生社会科学専攻</li> <li>: 35. 生物生産学専攻</li> <li>: 36. 生物工学専攻</li> <li>: 37. 資源・環境学専攻</li> </ul> <p><b>【連合獣医学研究科博士課程】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>: 42. 獣医学専攻</li> </ul> <p><b>【技術経営研究科専門職学位課程】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>: 44. 技術リスクマネジメント専攻</li> </ul> <p><b>【工学部】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>: 06. 生命工学科</li> <li>: 07. 応用分子化学科</li> <li>: 08. 有機材料化学科</li> <li>: 09. 化学システム工学科</li> <li>: 10. 機械システム工学科</li> <li>: 11. 物理システム工学科</li> <li>: 12. 電気電子工学科</li> <li>: 13. 情報工学科</li> <li>: 14. 情報コミュニケーション工学科</li> </ul> <p><b>【工学府博士前期課程】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>: 24. 生命工学専攻</li> <li>: 25. 応用化学専攻</li> <li>: 26. 機械システム工学専攻</li> <li>: 27. 物理システム工学専攻</li> <li>: 28. 電気電子工学専攻</li> <li>: 29. 情報工学専攻</li> </ul> <p><b>【工学府博士後期課程】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>: 38. 生命工学専攻</li> <li>: 39. 応用化学専攻</li> <li>: 40. 機械システム工学専攻</li> <li>: 41. 電子情報工学専攻</li> </ul> <p><b>【BASE博士前期課程】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>: 43. 生物システム応用科学専攻</li> </ul> <p><b>【BASE博士後期課程】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>: 45. 生物システム応用科学専攻</li> </ul>	1. <input type="text"/> <input type="text"/>
2. 在籍年次 ・「05」と「06」は、獣医学科のみ該当します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>: 01. 学部 1年次</li> <li>: 02. 学部 2年次</li> <li>: 03. 学部 3年次</li> <li>: 04. 学部 4年次以上</li> <li>: 05. 学部 獣医学科5年次</li> <li>: 06. 学部 獣医学科6年次以上</li> <li>: 07. 大学院修士 1年次</li> <li>: 08. 大学院修士 2年次以上</li> <li>: 09. 大学院博士 1年次</li> <li>: 10. 大学院博士 2年次</li> <li>: 11. 大学院博士 3年次以上</li> </ul>	2. <input type="text"/> <input type="text"/>
3. 性別	<ul style="list-style-type: none"> <li>: 01. 男</li> <li>: 02. 女</li> </ul>	3. <input type="text"/> 0 <input type="text"/>
4. 結婚していますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>: 01. している</li> <li>: 02. していない</li> </ul>	4. <input type="text"/> 0 <input type="text"/>
5. あなたは外国人留学生ですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>: 01. はい</li> <li>: 02. いいえ</li> </ul>	5. <input type="text"/> 0 <input type="text"/>

## II 経済的状况

質問事項	選択肢欄	回答欄										
6. あなたの1ヶ月の平均収入額は、およそいくらですか。	: 平均収入額 内訳 : 01. 家庭(家計支持者)から  : 02. 奨学金(外国人留学生の奨学金・奨励費等を含む)  : 03. 本学における Teaching Assistant(TA)、Research Assistant(RA)  : 04. アルバイト  : 05. その他(                    ) (注)主な費目を記入してください。	(単位:千円) 6. <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> 6.-01 <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> 6.-02 <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> 6.-03 <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> 6.-04 <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> 6.-05 <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/>										
7. あなたの1ヶ月の平均支出額(授業料を除く)は、およそいくらですか。	: 平均支出額 内訳 : 01. 住居費  : 02. 食費  : 03. 光熱水費(通信費を含む)  : 04. 研究・勉強費・書籍費(授業料を除く)  : 05. 通学費  : 06. その他(                    ) (注)主な費目を記入してください。	(単位:千円) 7. <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> 7.-01 <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> 7.-02 <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> 7.-03 <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> 7.-04 <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> 7.-05 <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> 7.-06 <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/>										
8. 授業料の主たる支払い者は、どなたですか。	: 01. 父   : 05. 兄弟姉妹 : 02. 母   : 06. 祖父母 : 03. 配偶者                                   : 07. 知人 : 04. 本人                                      : 08. その他(                    )	8. <input style="width: 30px; height: 15px; text-align: center;"/> 0 <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/>										
9. 現在、アルバイトをしていますか。	: 01. している                               : 02. していない	9. <input style="width: 30px; height: 15px; text-align: center;"/> 0 <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/>										
10. 9で「01」と答えた方に伺います。 アルバイトの主たる目的・理由は、何ですか。	: 01. 生活費を得るため                     : 04. 大学生活をエンジョイするため : 02. 授業料を得るため                     : 05. 社会経験・自己成長のため : 03. 研究・勉強費・書籍等を得るため   : 06. その他(                    )	10. <input style="width: 30px; height: 15px; text-align: center;"/> 0 <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/>										
11. 9で「01」と答えた方に伺います。 アルバイトの職種は、何ですか。 (複数回答可)	: 01. 家庭教師                               : 06. 特技技能(翻訳・コンピュータ等) : 02. 学習塾教師                             : 07. ウェイター・ウェイトレス : 03. 事務                                      : 08. 軽作業・軽労働 : 04. 調査員                                   : 09. 重労働 : 05. 販売・店員                              : 10. その他(                    )	11. <table border="1" style="width: 100%; height: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr> </table>										
12. 9で「01」と答えた方に伺います。 アルバイトに従事している時間(通勤時間を含め1週間の総時間)は、どれですか。	: 01. 5時間未満                              : 04. 15時間～20時間未満 : 02. 5時間～10時間未満                   : 05. 20時間以上 : 03. 10時間～15時間未満	12. <input style="width: 30px; height: 15px; text-align: center;"/> 0 <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/>										
13. 経済的理由から学業の継続に困難を感じたことがありますか。	: 01. ある                                     : 02. ない	13. <input style="width: 30px; height: 15px; text-align: center;"/> 0 <input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/>										
14. 13で「01」と答えた方に伺います。 経済的困難をどのように解決していますか。 (複数回答可)	: 01. 授業料免除                              : 05. 奨学金 : 02. 入学料免除                              : 06. 家庭などからの援助 : 03. 本学におけるTA、RA                   : 07. その他(                    ) : 04. アルバイト                               : 08. 未解決	14. <table border="1" style="width: 100%; height: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr> <tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr> </table>	0		0		0		0			
0												
0												
0												
0												

### Ⅲ 住 居

質 問 事 項	選 択 肢 欄	回 答 欄
15. 住居等について 現在の生活形態は、どちらですか。	: 01. 単身生活 : 02. 同居生活	15. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>
16. 15で「01」と答えた方に伺います。 住居はどのタイプですか。	: 01. 集合住宅(アパート・マンション) : 05. 国際交流会館 (本学・一橋大学国際学生宿舎) : 02. 一戸建ての貸家・貸間(食事なし) : 03. 食事付下宿(親戚・知人宅を含む) : 06. その他の学生寮又は会館 : 04. 本学学生寮(櫻寮、楓寮) : 07. その他( )	16. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>
17. 15で「02」と答えた方に伺います。 同居相手はどなたですか。	: 01. 家族 : 03. 友人・知人 : 02. 親戚 : 04. その他	17. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>
18. <本学学生寮に入寮している方>に伺います。 学生寮にどの程度満足していますか。 「03」又は「04」と回答した方は、その内容を 「X 要望・意見等」欄にご記入ください。	: 01. 満足 : 03. やや不満 : 02. やや満足 : 04. 不満	18. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>
19. <本学学生寮に入寮していない方>に伺います。 本年度改修中の新寮、または楓寮に入居を 希望しますか。	: 01. 希望する : 02. 希望しない	19. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>
20. <外国人留学生の方>に伺います。 国際交流会館への入居を希望しますか。	: 01. 希望する : 02. 希望しない	20. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>
21. <国際交流会館に入居している又は入居した ことのある留学生の方>に伺います。 国際交流会館にどの程度満足していますか。 「03」又は「04」と回答した方は、その内容を 「X 要望・意見等」欄にご記入ください。	: 01. 満足 : 03. やや不満 : 02. やや満足 : 04. 不満	21. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>
22. 民間のアパート等に入居した経験のある <外国人留学生の方>に伺います。 アパート等をどこで探しましたか。	: 01. 大学(学生生活係・国際セン ター)の窓口 : 04. 知人・友人 : 02. 不動産屋 : 05. その他( ) : 03. 日本学生支援機構(JASSO)	22. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>
23. 「22」に答えた方に伺います。 アパート等の入居の際に、連帯保証人は 必要でしたか。	: 01. 必要 : 02. 不必要	23. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>
24. 23で「01」と答えた方に伺います。 連帯保証人を誰にお願いしましたか。	: 01. 機関保証人(留学生担当責任者) : 03. 知人・友人 : 02. 指導教員 : 04. その他( )	24. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>

### Ⅳ 通 学

質 問 事 項	選 択 肢 欄	回 答 欄
25. 主な通学手段・方法は、何ですか。	: 01. 徒歩 : 04. 自動車 : 02. 自転車 : 05. 公的交通機関 : 03. オートバイ (電車、バスなど)	25. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>
26. 通学の片道の所要時間は、どのくらいですか。	: 01. 30分未満 : 04. 90～120分未満 : 02. 30～60分未満 : 05. 120分以上(約 分) : 03. 60～90分未満	26. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>

## V 学業、学習環境

質 問 事 項	選 択 肢 欄	回 答 欄										
27. 本学に入學してどの程度満足していますか。 「03」又は「04」と回答した方は、その内容を「X 要望・意見等」欄にご記入ください。	: 01. 満足 : 02. やや満足 : 03. やや不満 : 04. 不満	27. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;"></td></tr></table>	0									
0												
28. カリキュラムにどの程度満足していますか。 「03」又は「04」と回答した方は、その内容を「X 要望・意見等」欄にご記入ください。	: 01. 満足 : 02. やや満足 : 03. やや不満 : 04. 不満	28. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;"></td></tr></table>	0									
0												
29. 教養科目(共通科目)を選択する際に重視した事柄は何ですか。 (複数回答可)	: 01. 科目が属する学問分野 : 02. 個々の科目の内容 : 03. 成績評価の方法 : 04. 担当教員 : 05. 先輩や同級生から得た うわさや評判 : 06. 初回に出席した際の説明や 印象 : 07. その他( )	29. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;"></td></tr></table>	0		0		0		0		0	
0												
0												
0												
0												
0												
30. 学期中は予習・復習、レポート作成などを含めた授業時間外の学習を週何時間程度行っていますか。	: 01. 全くやっていない : 02. 週2時間未満 : 03. 週2時間から4時間 : 04. 週4時間から6時間 : 05. 週6時間から8時間 : 06. 週8時間から10時間 : 07. 週10時間から15時間 : 08. 週15時間から20時間 : 09. 週20時間以上	30. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;"></td></tr></table>	0									
0												
31. 授業時間外の学習を行うのに必要な施設・設備や対策は何だと思いますか。 (複数回答可)	: 01. 図書館の開館時間の延長 (休日開館含む) : 02. 授業時間外の学習スペース : 03. 利用可能なPCの台数 : 04. 無線LANの充実 : 05. 学習課題の提示 : 06. 特に不足はない : 07. その他( )	31. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;"></td></tr></table>	0		0		0		0			
0												
0												
0												
0												
32. 授業がよく理解できなかったときや授業に関連して疑問を抱いたときには、どのように対処しましたか。 (複数回答可)	: 01. 担当教員に授業中に質問等 をする : 02. 担当教員に授業時間外に質問 等をする : 03. 先輩や同級生に相談や質問等 をする : 04. 自分で調べる : 05. その他の対処 ( ) : 06. 何もしない	32. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;"></td></tr></table>	0		0		0		0		0	
0												
0												
0												
0												
0												
33. 成績評価に疑問を持ったことがありますか。	: 01. ある : 02. ない	33. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;"></td></tr></table>	0									
0												
34. 講義室、実験室にどの程度満足していますか。 「03」又は「04」と回答した方は、その内容を「X 要望・意見等」欄にご記入ください。	: 01. 満足 : 02. やや満足 : 03. やや不満 : 04. 不満	34. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;"></td></tr></table>	0									
0												
35. 実験・実習の際に危険を感じたことがありましたか。	: 01. なかった : 02. あった (内容 )	35. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;"></td></tr></table>	0									
0												
36. 図書館の利用頻度は、どのくらいですか。	: 01. よく利用する : 02. ときどき利用する : 03. 全く利用しない (理由 )	36. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;"></td></tr></table>	0									
0												
37. 図書館の主な用途は何ですか。 (複数回答可)	: 01. 学習や研究に必要な文献 (専門書・資料、学術雑誌、 電子ジャーナルなど)を閲覧 ・借用する : 02. 「01」以外の一般的な文献 (新聞や一般雑誌などを含 む)を閲覧・借用する。 : 03. 情報端末を利用して文献 検索を行う : 04. 「03」以外の目的で情報 端末を(パソコン)として 利用する : 05. 自習室として使う : 06. その他( )	37. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px;"></td></tr></table>	0		0		0		0		0	
0												
0												
0												
0												
0												



## VI 課外活動

質 問 事 項	選 択 肢 欄	回 答 欄										
43. 課外活動団体(サークル)に加入していますか。 ※回答が02と03の方は終わり	: 01. 加入している : 02. 以前は加入していた : 03. 加入したことがない	43. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table>	0									
0												
44. 43で「01」と答えた方に伺います。 加入している課外活動は、どれですか。 (複数回答可)	: 01. 文化系サークル : 02. 音楽系サークル : 03. 体育系サークル : 04. その他( )	44. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table>	0				0					
0												
0												
45. 1週間の平均活動時間は、どれくらいですか。	: 01. 1時間未満 : 02. 1時間～5時間未満 : 03. 5時間～10時間未満 : 04. 10時間以上	45. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table>	0									
0												
46. 課外活動に不満がありますか。	: 01. ある : 02. ない	46. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table>	0									
0												
47. 46で「01」と答えた方に伺います。 課外活動にどんな不満がありますか。 (複数回答可)	: 01. 人間関係 : 02. 学業との両立 : 03. 健康上の理由 : 04. サークル活動の内容 : 05. アルバイトができない : 06. 指導者 : 07. 練習施設・設備等 : 08. 経済的負担 : 09. 運営方針 : 10. その他( )	47. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px;"></td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table>										
48. 課外活動施設・設備にどの程度満足していますか。 「03」又は「04」と回答した方は、その内容を「X 要望・意見等」欄にご記入ください。	: 01. 満足 : 02. やや満足 : 03. やや不満 : 04. 不満	48. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table>	0									
0												
49. 部室・設備の遵守事項を定めた使用心得などにどの程度満足していますか。 「03」又は「04」と回答した方は、その内容を「X 要望・意見等」欄にご記入ください。	: 01. 満足 : 02. やや満足 : 03. やや不満 : 04. 不満	49. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table>	0									
0												
50. 学生活動支援センターを知っていますか。	: 01. 知っている : 02. 知らない	50. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table>	0									
0												
51. 50で「01」と回答した方に伺います。 学生活動支援センターを活用したことがありますか。	: 01. はい : 02. いいえ	51. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table>	0									
0												
52. 施設・設備以外で大学の課外活動支援で希望するものは何ですか。 (複数回答可)	: 01. 看板・掲示場所 : 02. 補助金 : 03. ホームページなどの支援 : 04. 課外活動広報の充実 : 05. 指導者(顧問教員含む) : 06. その他( )	52. <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr><tr><td style="width: 20px; height: 20px; text-align: center;">0</td><td style="width: 20px; height: 20px;"></td></tr></table>	0		0		0					
0												
0												
0												

## VII ボランティア活動

質 問 事 項	選 択 肢 欄	回 答 欄																						
53. 本学に入学後、ボランティア活動の経験 がありますか。	: 01. ある    : 02. ない	53. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>																						
54. 53で「01」と答えた方に伺います。 内容は何か。                          (複数回答可)	: 01. 公共施設での活動(公民館・博物館で の説明員等)    : 07. 社会福祉に関する活動(老人や障害者 等に対する介護、身のまわりの世話、 給食、保育等) : 02. 青少年健全育成に関する活動(ボーイ・ ガールスカウト活動、子供会等)                : 08. 保健・医療・衛生に関する活動(病院ボ ランティア等) : 03. 体育・スポーツ・文化に関する活動(ス ポーツ・リクレーション指導、まつり、 学校でのクラブ活動における指導等) : 04. 人々の学習活動に関する指導、助言、 運営協力などの活動(料理、英語、書道 等)    : 10. 自主防災活動や災害援助活動 : 05. 自然・環境保護に関する活動(環境美 化、自然解説、リサイクル活動等)                : 11. 募金活動、チャリティーバザー : 06. 国際交流(協力)に関する活動(通訳・ 難民援助・技術援助・留学生援助等)                : 12. その他(    )	54. <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr><tr><td> </td><td> </td></tr></table>																						
55. 53で「01」と答えた方に伺います。 従事している頻度は、どれくらいですか。	: 01. ほとんど毎日    : 04. 年に数回 : 02. 週に数日程度    : 05. その他(    ) : 03. 月に数日程度	55. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>																						
56. 53で「01」と答えた方に伺います。 ボランティア活動への何らかの支援を 希望しますか。	: 01. はい (具体的に    )    : 02. いいえ	56. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>																						
57. 53で「02」と答えた方に伺います。 ボランティア活動をしてみたいですか？	: 01. はい (具体的に    )    : 02. いいえ	57. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>																						



## Ⅷ 学生生活

質 問 事 項	選 択 肢 欄	回 答 欄
58. 次の各項目に関して悩みがありますか。 悩みの強い順に回答してください。 (複数回答可)	: 01. 学業・研究 : 02. 学内の課外活動(サークル等) : 03. 学外の活動(アルバイト等) : 04. 進路・就職 : 05. 経済事情 : 06. 対人関係(友人、家族、教員等) : 07. 身体健康(体調不調、不眠等) : 08. 精神健康(不安、憂うつ等) : 09. その他( ) : 10. 何も悩みがない	58. 第1位 <input type="checkbox"/> 第2位 <input type="checkbox"/> 第3位 <input type="checkbox"/> 第4位 <input type="checkbox"/>
59. 58で「06」と答えた方に伺います。 その相手は誰ですか。(複数回答可)	: 01. 友人 : 02. 異性 : 03. 教員 : 04. 家族 : 05. その他( )	59. <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
60. 59で「03」と答えた方に伺います。 それはどんな悩みですか。(複数回答可)	: 01. 意思の疎通が取れない : 02. 指導が適切でない : 03. 暴言を受ける : 04. 他の学生と差別される : 05. 課題や期待に答えられない : 06. その他( )	60. <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
61. 大学生生活の中で困ったことがありましたか。	: 01. ある : 02. ない	61. <input type="checkbox"/>
62. 61で「01」と答えた方に伺います。 どこに又は誰に相談しましたか。 (複数回答可)	: 01. 学生サポートセンター(教務係・ 学生生活係) : 02. 学生相談室 : 03. 保健管理センター : 04. 国際センター : 05. 学科・専攻教員 : 06. チューター(留学生の場合) : 07. 先輩・友人等 : 08. 家族 : 09. その他( ) : 10. 相談しなかった	62. <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
63. 授業以外で教員と話をしますか。	: 01. 積極的に話をしている : 02. とくどき話をする : 03. たまに話すこともある : 04. ほとんど話すことはない	63. <input type="checkbox"/>
64. 各キャンパスに学業・進路・就職などの相談に応じる学生相談室が開設されているのを知っていますか。	: 01. 知っている : 02. 知らない	64. <input type="checkbox"/>
65. 各キャンパスの保健管理センターでカウンセラーが学生生活やメンタルヘルスの相談に応じていることを知っていますか。	: 01. 知っている : 02. 知らない	65. <input type="checkbox"/>
66. 飲み会・コンパなどで次のような経験はありますか。 (複数回答可)	: 01. 飲酒を強要された : 02. 一気飲みをさせられた : 03. からまれたり、暴言や暴力を受けた : 04. セクハラを受けた : 05. 酔ってけがをしたり 事故を起こした	66. <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
67. 毎週1回、各キャンパスのハラスメント相談室で、ハラスメント相談員がハラスメントについての相談や申立て受付をしているのを知っていますか。	: 01. 知っている : 02. 知らない	67. <input type="checkbox"/>
68. セクシュアル・ハラスメントを受けたことがありますか。	: 01. ある : 02. ない : 03. わからない	68. <input type="checkbox"/>
69. 68で「01」と回答した方に伺います。 誰から受けましたか。 (複数回答可)	: 01. 教職員 : 02. 先輩 : 03. 同級生 : 04. 研究室・サークルの仲間 : 05. その他( )	69. <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
70. セクシュアル・ハラスメント以外のハラスメントを受けたことがありますか。	: 01. ある : 02. ない : 03. わからない	70. <input type="checkbox"/>
71. 70で「01」と回答した方に伺います。 誰から受けましたか。 (複数回答可)	: 01. 教職員 : 02. 先輩 : 03. 同級生 : 04. 研究室・サークルの仲間 : 05. その他( )	71. <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
72. タバコを吸いますか。	: 01. 吸う : 02. かつて吸っていた : 03. 吸わない	72. <input type="checkbox"/>

73. タバコの受動喫煙(副流煙)についてどう 思いますか。	: 01. どうとも思わない : 02. 迷惑している	: 03. 自分の周りでは吸ってほしくない : 04. その他( )	73. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>
74. キャンパス内の指定場所以外での禁煙に ついてどう思いますか。	: 01. 今のままでよい : 02. キャンパス全体を禁煙してほしい	: 03. その他( )	74. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>
75. キャンパス内のマナーについてどの程度満足 していますか。 「03」又は「04」と回答した方は、その内容を 「X 要望・意見等」欄にご記入ください。	: 01. 満足 : 02. やや満足	: 03. やや不満 : 04. 不満	75. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>
76. 農学部福利厚生センター及び工学部総合会館 をどれくらいの頻度で利用していますか。 (主に活動しているキャンパスの施設について 答えてください。)	A. 生協食堂 : 01. よく利用する : 02. ときどき利用する : 03. 全く利用しない B. 喫茶室 : 01. よく利用する : 02. ときどき利用する : 03. 全く利用しない C. 売店 : 01. よく利用する : 02. ときどき利用する : 03. 全く利用しない		76. -A <input type="text" value="0"/> <input type="text"/> 76. -B <input type="text" value="0"/> <input type="text"/> 76. -C <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>
77. 食堂・喫茶室にどの程度満足していますか。 「03」又は「04」と回答した方は、その内容を 「X 要望・意見等」欄にご記入ください。	: 01. 満足 : 02. やや満足	: 03. やや不満 : 04. 不満	77. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>
78. 売店にどの程度満足していますか。 「03」又は「04」と回答した方は、その内容を 「X 要望・意見等」欄にご記入ください。	: 01. 満足 : 02. やや満足	: 03. やや不満 : 04. 不満	78. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>
79. キャンパスの施設・設備環境(講義室を除く)で 改善を希望するところはどこですか。 (複数回答可)	: 01. トイレ (具体的に ) : 02. 駐車場 (具体的に ) : 03. 駐輪場 (具体的に ) : 04. リフレッシュ空間 (具体的に )	: 05. PC環境(無線LAN等を含む) (具体的に ) : 06. 自動販売機 (具体的に ) : 07. ロッカー (具体的に ) : 08. その他 (具体的に )	79. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>
80. 本学の合宿研修施設である館山荘を知って いますか。	: 01. 知っている	: 02. 知らない	80. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>
81. <館山荘を利用したことのある方に伺います。> 利用してどの程度満足しましたか。 「03」又は「04」と回答した方は、その内容を 「X 要望・意見等」欄にご記入ください。	: 01. 満足 : 02. やや満足	: 03. やや不満 : 04. 不満	81. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>
82. 大学祭に参加しましたか。	: 01. 積極的に参加した : 02. 普通に参加した	: 03. 参加しなかった (理由 )	82. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>
83. 週一回以上確認しているメールアドレスは どれですか。 (複数回答可)	: 01. 大学のメールアドレス : 02. 個人のメールアドレス (携帯を除く)	: 03. 携帯のメールアドレス : 04. その他( ) : 05. 一つもない	83. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>
84. <外国人留学生の方にお伺いします。> 留学生活に必要な情報はどこから得ていま すか。 (複数回答可)	: 01. 留学生の手引き : 02. 留学生センターの教職員 : 03. 担任教員や指導教員 : 04. 他の留学生 : 05. チューター	: 06. チューター以外の日本人学生 : 07. インターネット : 08. その他( ) : 09. 情報が得られない	84. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text"/> <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>

## Ⅷ 進路(就職・進学)

質 問 事 項	選 択 肢 欄	回 答 欄
85. 将来の希望進路はどちらですか。	: 01. 就職 : 02. 進学 : 03. 未定 : 04. その他( )	85. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>
86. 進路を考える上での情報入手手段は、何ですか。	: 01. 指導教員 : 02. 就職担当教員 : 03. 先輩・知人 : 04. 新聞・マスコミ・就職情報誌 : 05. インターネット : 06. 親・親戚等 : 07. 大学内資料 : 08. その他( )	86. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>
87. 将来の希望職種は、何ですか。	: 01. 公務員(研究・技術職) : 02. 公務員(行政職) : 03. 民間企業(研究・技術職) : 04. 民間企業(事務職) : 05. 教育職 : 06. 自営業 : 07. 起業 : 08. その他( )	87. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>
88. 大学の就職支援について、希望がありますか。	: 01. 希望がある : 02. 希望がない	88. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>
89. 88で「01」と答えた方に伺います。どのような支援を希望しますか。	: 01. 会社説明会の充実 : 02. 就職ガイドブックの充実 : 03. 就職情報コーナーの充実 : 04. インターンシップの充実 : 05. 就職相談窓口の充実 : 06. その他( )	89. <input type="text" value="0"/> <input type="text"/>

X 要望・意見等

質問事項1. の所属学科・専攻等の番号を記入してください。

--	--

学生生活全般について、大学に対する意見・要望等がありましたら、該当する質問番号と意見・要望等をできるだけ具体的に記入してください。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

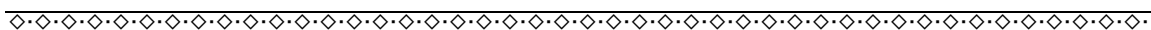
---

---

---

---

---



ご協力ありがとうございました。

この調査は、来る11月20日(金)までに記入漏れや誤りがないことをお確かめの上、各所属学科等の担当者へ提出してください。